

---

# つくば市生涯学習に関するアンケート調査結果報告書

---

令和7年  
つくば市

# 目 次

---

I. 調査の概要 .....	1
1. つくば市生涯学習に関する市民意識アンケート .....	1
(1) 調査の目的等 .....	1
2. 児童生徒 WEB アンケート .....	4
(1) 調査の目的等 .....	4
II. 調査結果 .....	6
1. つくば市生涯学習に関する市民意識アンケート .....	6
(1) まとめ .....	6
(2) 単純集計 .....	8
(3) 自由回答 .....	50
2. 児童生徒 WEB アンケート .....	74
(1) まとめ .....	74
(2) 単純集計 .....	75
(3) 自由回答 .....	91
III. 資料 .....	109
1. 市民意識アンケート調査票 .....	109
2. 児童生徒 WEB アンケート調査票(WEB 回答画面) .....	121

# I. 調査の概要

## 1. つくば市生涯学習に関する市民意識アンケート

### (1) 調査の目的等

#### 調査の目的

(仮称)「第4次つくば市生涯学習推進基本計画」の策定にあたり、市民の皆様の生涯学習の現状、生涯学習に対する考えや御意向等を把握し、計画策定や施策の推進に役立てることを目的としてアンケート調査を実施しました。

#### 調査方法等

##### 1) 調査対象者

- 市内在住の18歳以上の市民 3,000人

##### 2) 調査方法

- 調査票を郵送配布のうえ、郵送回答またはWEB回答(回答者が選択)

##### 3) 調査期間

令和6年11月8日(金)～令和6年11月25日(月)

※郵送回答については12月25日(水)回答到着分まで反映

※WEB回答については12月1日(日)回答送信分まで反映

#### 配布・回収状況

調査ごとの配布・回収状況は下記のとおりです。

調査対象	調査方法	調査期間	回収結果
市民 (無作為抽出した 18歳以上市民)	郵送/WEB (選択式)	令和6年(2024年) 11月8日～25日 ※12/25分まで反映	配付: 3,000票
			回収: 769票(紙:451/web:318)
			有効回収率: 25.6%

#### 調査の分析にあたっての注意事項

- グラフや表中の回答選択肢は、短縮や補足をして表記している場合があります。
- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問については、母数を有効回答者数としているため、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- 有効回答者数は各設問に(n=●●)で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択しているものや、対象者限定の設問で非対象者が選択したものはカウントしていません。
- 回答が少数である設問の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- クロス集計表については、最も多い選択肢の割合に着色をしています。

## 調査項目

回答形式中、SA は単数回答、MA は複数回答、NA は数量測定（感覚の尺度を測定）、FA は自由回答を示します。

設問番号	調査内容	回答形式
あなた御自身のことについて		
(1)	性別	SA
(2)	年齢	SA
(3)	職業	SA
(4)	お子さん（末子）の年齢層	SA
(5)	つくば市の在住期間	SA
(6)	居住中学校区	SA
この1年間のあなた御自身の「学び」について		
問1	この1年間に何かを学んだり、身につけたり、技能を高めたりしたことがあるか	SA
問1-①	学習しなかった理由	MA
問1-②	どうしたら学習をしようと思うか	MA
問1-1	学んだことはどのようなことか（3つまで）	MA
問1-2	どのような方法で学んだか	SA
問1-3	どこで学んだか	SA
問1-4	学びの成果のいかし方	MA
問2	「学び」に関する情報として知りたいこと（3つまで）	MA
問3	市が行う講座や講習会の情報を知る機会（3つまで）	MA
あなた御自身のこれからの「学び」について		
問4	何かを学んだり、身につけたり、技能を高めたいと思うか	SA
問4-1	学んでみたいことはどのようなことか（3つまで）	MA
問4-2	どのような方法で学びたいか	SA
問4-3	どこで学びたいか	SA
問4-4	何のために学びたいか	SA
問4-5	学習成果をつくば市のまちづくりに役立てたいか	SA
問4-5①	役立てたいと思わない理由	MA
問4-6	学習の成果を地域や社会でどのような形でいかしたいか	MA

あなたの日頃の生活や、地域のことについて		
問5	普段の生活で、下記のことをどのように感じているか ①御自身のこと ②地域のこと	NA
問6	地域団体・クラブ・サークルなどに入って活動をしているか	SA
問6-①	どのようなグループか	MA
問6-②	なぜ入っていないのか	MA
問7	「コミュニティ・スクール」の取組の認知度	SA
問8	学校と地域が連携・協働した活動（地域学校協働活動）に参加したいと思うか	SA
問8-①	参加したいが難しい、参加したいと思わない理由はなにか	MA
問8-1	具体的に活動に参加したいものはなにか	MA
つくば市の生涯学習について		
問9	「社会力」の認知度	SA
問10	「社会力」がいかされた地域になっていると思うか	SA
問11	市民の「社会力」を高めるためにしたらよいと思うこと	FA
問12	つくば市に力をいれて欲しいと思う取組はどれか（3つまで）	MA
問13	ライフステージ（性別・年齢・職業等）の観点からの生涯学習全般についての意見	FA

## 2. 児童生徒 WEB アンケート

### (1) 調査の目的等

#### 調査の目的

(仮称)「第4次つくば市生涯学習推進基本計画」の策定にあたり、児童生徒の生涯にわたる学びに対する意識や、地域との関わりの状況を把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

#### 調査方法等

##### 1) 調査対象者

- 市内の小学校5年生・中学校2年生・義務教育学校5年生・8年生（特別支援含む）

##### 2) 調査方法

- WEB 回答

##### 3) 調査期間

令和6年11月22日(金)～令和6年12月24日(火)

#### 配布・回収状況

調査ごとの配布・回収状況は下記のとおりです。

調査対象	調査方法	調査期間	回収結果
児童生徒 (小学5年生・ 中学2年生・義 務教育学校2年 生・義務教育学 校8年生)	WEB	令和6年 (2024年) 11月22日～ 12月24日	配付：4,796票（児童2,637/生徒2,159）
			回収：3,484票（児童:1,822/生徒:1,662）
			回収率：72.6%（児童:69.1%/生徒:77.0%）

#### 調査の分析にあたっての注意事項

- グラフや表中の回答選択肢は、短縮や補足をして表記している場合があります。
- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問については、母数を有効回答者数としているため、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- 有効回答者数は各設問に（n=●●）で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択しているものや、対象者限定の設問で非対象者が選択したものはカウントしていません。
- 回答が少数である設問の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- クロス集計結果は、最も多い割合に着色をしています。

## 調査項目

回答形式中、SAは単数回答、MAは複数回答、FAは自由回答を示します。

設問番号	調査内容	回答形式
あなた自身のことについて		
問1	学年	SA
問2	性別	SA
問3	中学校区 ※回答時は通学校を選択	SA
授業の時間以外の学びについて		
問4	現在、学校の授業・部活動以外で学んでいること、取り組んでいることはあるか	SA
問5	問4で「ある」と回答した方 どのようなことか	MA
問6	学校の授業以外でこれから学んでみたいこと、取り組んでみたいことはあるか	MA
問7	問6で選んだことを気軽に学んだりすることができる機会があったら参加したいか	SA
問8	問6で「ない・わからない」と回答した方 その理由はなにか	MA
問9	つくば市は、大人になっても自分が学びたいことが学べるまちだと思うか	SA
地域のことについて		
問10	地域の人たちとよくあいさつしたり、話をしたりするか	SA
問11	地域の行事やボランティアに参加したことはあるか	MA
問12	地域の人から何かを教わったり、一緒に取り組んだことはあるか	MA
問13	地域の人からこれから教わってみたいことや、地域でやってみたいことはあるか	FA

## II. 調査結果

---

### 1. つくば市生涯学習に関する市民意識アンケート

#### (1) まとめ

##### 属性等について

- 回答者の年代は40歳代が最も多く、次いで30歳代となっています。
- 現在お子さんは「いない」が約4割で最も多く、いる方は社会人以上が1割以上、次いで乳幼児が1割以上となっています。
- 市在住期間は20年以上が5割で最も多く、次いで20年未満（10年以上）が約2割となっています。

##### 1年間の御自身の「学び」について

- この1年で学んだことがある方が6割で、仕事などに関する学びを自宅で行った方が多い。
- 現在忙しくて学んでいない方が多く、簡単にできる学習方法が求められている。
- 学びの情報としては「講座・イベント」、「施設」の情報が求められている。
- この1年で何かを学んだり、技能を高めたりしたことが「ある」方が6割以上となっており、手法は「自宅での学習」が最も多くなっています。
- 学んだ分野は多岐に渡りますが、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育」が最も多くなっています。
- 学びの成果については、「自分の人生を豊かにしている」や「仕事や就職の上でいかしている」が多くなっています。
- 現在学んでいない方の理由としては、「忙しくて時間がない」が最も多くなっています。
- 忙しくて時間がない方がどうしたら学習意欲がわくかについては、「簡単にできる学習方法があったら」が最も多く、次いで「仕事等に必要な学習内容があったら」となっています。
- 知りたい学びの情報は「催しもの・講座情報」や「利用可能な施設内容や利用方法」が多く、情報入手の手段としては「広報つくば」が5割以上で多くなっています。

##### 御自身のこれからの「学び」について

- 今後学びたいと思う方が8割以上で、「市の講座」や「自宅」で学びたい方が多い。
- 個人の楽しみが目的であり、学習成果をまちづくりに生かしたいと思わない方が多い。
- 今後何かを学んだり、身につけたり、技能を高めたいと「思う」方が8割以上となっています。
- 学びたい方法としては、「市が行う講座や講習会」、「自宅での学習活動」が多くなっています。
- 学習成果をつくば市のまちづくりに役立てたいかについては、「いいえ」が5割以上で多くなっています。
- 役立てたいと思わない理由については、「自己の楽しみや自主学習が目的だから」が最も多く、次いで「自身の知識・技術が未熟だと思うから」となっています。
- 役立てたい方の生かし方については、「個人の資格等を活用し、職業を通しての社会貢献」と、「ボランティア活動や地域活動等の実践や指導」が多くなっています。

## 日頃の生活や、地域のことについて

- 自身が知識を得たり、役に立つことに幸せを感じる方は8割以上と多いが、地域との関わりが広がることに幸せを感じる方については6割とやや少ない。
- コミュニティ・スクールの認知度は低くなっている。
- 御自身が、a.知識を得たり技能が磨かれることへの充実感（幸せ）を感じている方（「感じている」＋「やや感じている」の合計）が8割以上で、b.誰かの役に立つことへの満足感（幸せ）を感じている方も8割以上となっています。一方、c.人や地域と関わり、関係性が広がる・深まることへの充実感（幸せ）を感じている方は6割以上となっています。
- 地域については、a.地域で解決したり、改善しなければならない問題が多いと感じている方（「多い」＋「やや多い」の合計）は4割以上となっています。b.地域の行事や活動への参加が多いと感じている方は2割となっており、c.地域のリーダーとして活動している人を多いと感じている方は1割以上となっています。
- コミュニティ・スクールの取組の認知度は「知らない」が約7割となっています。
- 地域学校協働活動への参加については、「活動内容によっては参加したい」が最も多く、次いで「参加したいが難しい」となっています。（参加意向を示している方は3割以上）
- 参加したい方が、具体的に参加したい活動については、「学校行事の手伝い」、「学校周辺の美化活動」が多くなっています。

## つくば市の生涯学習について

- 「社会力」の認知度は低い。社会力を高めるには「交流機会」の創出が重要との意見が多い。
- 世代ごとのニーズに合った講座等を求める意見が多く、高齢世代では成果を生かす場や仕組みづくり等の環境についての意見も多い。
- 「社会力」の考え方の認知度は、「知らない」が6割となっています。
- 「社会力」がいかされた地域かについては、「わからない」が5割以上で最も多く、次いで「どちらかと言えばなっていない」が1割以上となっています。
- 「社会力」を高めるアイデアとして、主に地域や多世代間の「交流機会」の創出、市民が「学ぶ機会」や「成果を生かす機会」を増やすといった意見が多くなっています。
- つくば市に力をいれて欲しいと思う取組については、「子育てにいかせる学習機会づくり」と「仕事にいかせる学習機会づくり」が多くなっています。
- 自由意見について、若者世代・大人世代（10～50代）では、主に「講座・イベント」、「今後取り組みたいこと」についての意見が多く、特に土日開催の講座等を望む声が多くなっています。子育て世代（乳幼児～小学生までのお子さんを持つ方）では、主に「講座・イベント」、「子育て世代のサポート」についての意見が多く、いずれも共通して、託児サービスや親子で参加できる機会を望む声が多くなっています。高齢者世代（60～80代）では、主に「今後取り組みたいこと」、「情報発信」、「環境づくり」についての意見が多く、情報発信については、発信方法に工夫を求める意見、環境づくりとしては、つながり・高齢者が外出する機会づくりや、知識・成果を生かす場・仕組みを求める声が多くなっています。

## (2) 単純集計

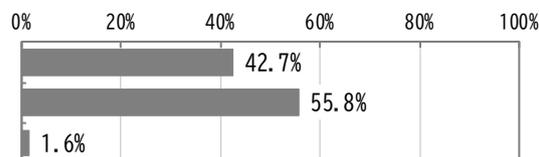
あなた御自身のことについてお伺いします

### (1) 性別 (SA)

回答者の性別は、「女性」が 55.8%、「男性」が 42.7%となっています。過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	男性	328	42.7%
2	女性	429	55.8%
3	無回答・無効	12	1.6%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

(参照) 過去の結果との推移

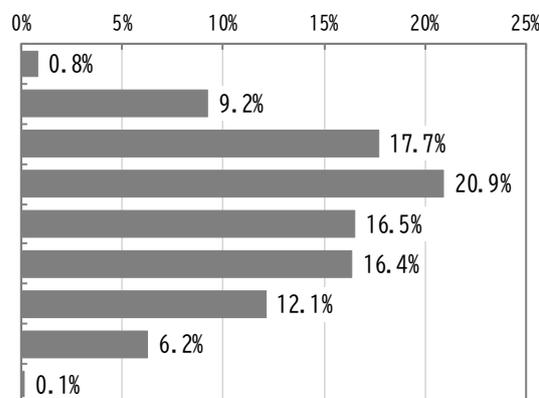
	2024	2019	2012	2004	1993
男性	42.7	46.1	41.7	44.6	45.5
女性	55.8	53.0	57.7	55.0	52.7
無回答・無効	1.6	0.9	0.4	0.4	1.9

### (2) 年齢 (SA)

回答者の年齢は、「40 歳代」が 20.9%、次いで「30 歳代」が 17.7%、「50 歳代」が 16.5%となっています。過去の結果と比較すると、前回と最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	10歳代	6	0.8%
2	20歳代	71	9.2%
3	30歳代	136	17.7%
4	40歳代	161	20.9%
5	50歳代	127	16.5%
6	60歳代	126	16.4%
7	70歳代	93	12.1%
8	80歳以上	48	6.2%
	無回答・無効	1	0.1%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019	2012
10歳代	0.8	0.9	9.7
20歳代	9.2	8.7	-
30歳代	17.7	14.7	17.7
40歳代	20.9	19.7	16.2
50歳代	16.5	18.5	17.1
60歳代	16.4	16.2	24.3
70歳代	12.1	13.9	14.1
80歳以上	6.2	7.1	-
無回答・無効	0.1	0.3	0.9

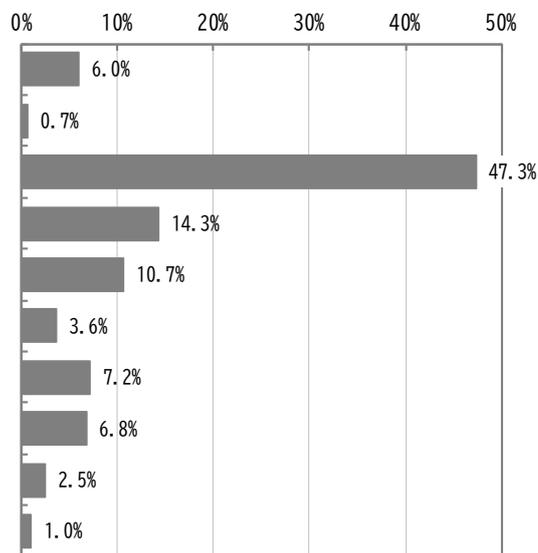
### (3) 職業 (SA)

回答者の職業は、「会社員・公務員」が 47.3%、「アルバイト・パートタイマー」が 14.3%、「専業主婦（主夫）」が 10.7%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	今回	前回
1	自営業主・自由業（商店や会社の経営等）	46	6.0%	6.5%
2	農林水産業	5	0.7%	1.9%
3	会社員・公務員	364	47.3%	37.9%
4	アルバイト・パートタイマー	110	14.3%	15.4%
5	専業主婦（主夫）	82	10.7%	14.3%
6	学生	28	3.6%	3.4%
7	無職（定年退職等）	55	7.2%	17.2%
8	無職	52	6.8%	
9	その他	19	2.5%	3.1%
	無回答・無効	8	1.0%	0.3%
	合計	769	100.0%	100.0%

n = 769 890



回答対象者：全員

その他：専門・技術サービス業、教員（私立）、大学教員、医療従事者、研究職、派遣会社員、就労支援施設通所者 など

#### (参照) 過去の結果との推移

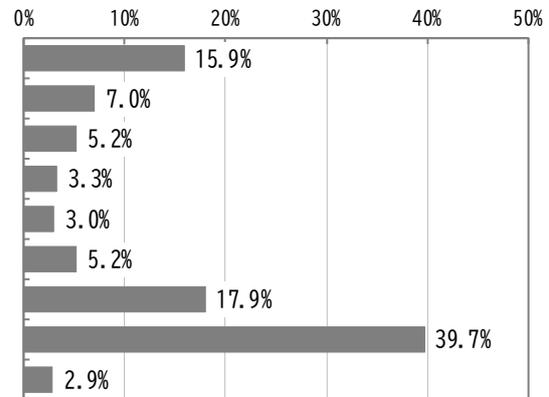
	2024	2019	2012	2004	1993
自営業主・自由業（商店や会社の経営等）	6.0	6.5	7.5	9.3	9.3
農林水産業	0.7	1.9	4.3	4.0	11.5
会社員・公務員	47.3	37.9	33.7	35.0	39.4
アルバイト・パートタイマー	14.3	15.4	6.3	2.4	6.0
専業主婦（主夫）	10.7	14.3	18.7	12.8	16.6
学生	3.6	3.4	2.6	4.3	4.0
無職（定年退職等）	7.2	17.2	11.4	6.0	8.7
無職	6.8				
その他	2.5	3.1	14.1	12.5	16.0
無回答・無効	1.0	0.3	1.3	2.0	0.5

**(4) お子さん(末子)の年齢層(SA)**

回答者の家庭にいるお子さん(末子)の年齢層は、「いない」が39.7%、「社会人以上」が17.9%、「乳幼児」が15.9%となっています。

		票数	%
1	乳幼児	122	15.9%
2	小学生低学年	54	7.0%
3	小学生高学年	40	5.2%
4	中学生	25	3.3%
5	高校生	23	3.0%
6	専門学生・大学生	40	5.2%
7	社会人以上	138	17.9%
8	いない	305	39.7%
	無回答・無効	22	2.9%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

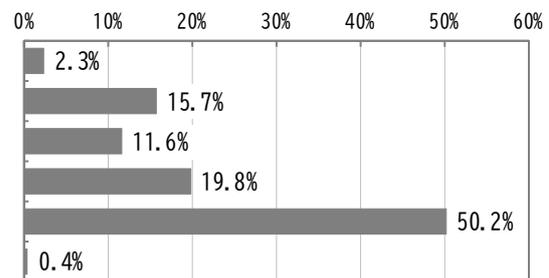
**(5) つくば市の在住期間(SA)**

回答者の市在住期間は、「20年以上」が50.2%、「20年未満」が19.8%、「5年未満」が15.7%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	1年未満	18	2.3%
2	5年未満	121	15.7%
3	10年未満	89	11.6%
4	20年未満	152	19.8%
5	20年以上	386	50.2%
	無回答・無効	3	0.4%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

(参照) 過去の結果との推移

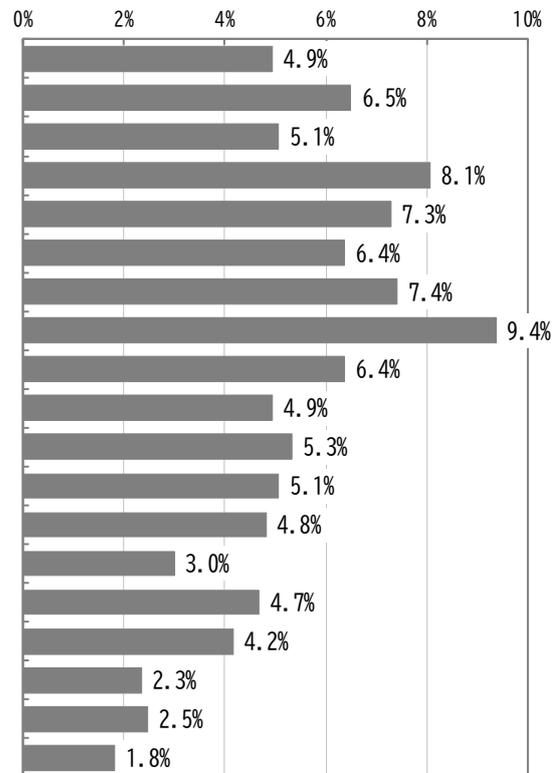
	2024	2019
1年未満	2.3	0.4
5年未満 (前回：4年未満)	15.7	8.3
10年未満	11.6	16.0
20年未満	19.8	18.1
20年以上	50.2	56.7
- 前回：20年以上 (他から転入してきた)	-	31.5
- 前回：20年以上 (生まれてからずっと住んでいる)	-	25.2
無回答・無効	0.4	0.6

(6) 居住中学校区 (SA)

回答者の居住中学校区は、「桜」が9.4%、「谷田部」が8.1%、「谷田部東」が7.4%となっています。過去の結果と比較すると、「桜」の回答者が「谷田部東」より多くなっています。

		票数	%
1	秀峰筑波	38	4.9%
2	大穂	50	6.5%
3	豊里	39	5.1%
4	谷田部	62	8.1%
5	手代木	56	7.3%
6	高山	49	6.4%
7	谷田部東	57	7.4%
8	桜	72	9.4%
9	竹園東	49	6.4%
10	吾妻	38	4.9%
11	並木	41	5.3%
12	春日	39	5.1%
13	荃崎	37	4.8%
14	高崎	23	3.0%
15	みどりの	36	4.7%
16	学園の森	32	4.2%
17	研究学園	18	2.3%
18	みどりの南	19	2.5%
	無回答・無効	14	1.8%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019
秀峰筑波	4.9	7.1
- 前回：秀峰筑波 (筑波東)	-	5.3
- 前回：秀峰筑波 (筑波西)	-	1.8
大穂	6.5	8.5
豊里	5.1	6.4
谷田部	8.1	7.6
手代木	7.3	6.6
高山	6.4	4.6
谷田部東	7.4	8.7
桜	9.4	6.6
竹園東	6.4	6.2
吾妻	4.9	2.9
並木	5.3	4.7
春日	5.1	3.9
荃崎	4.8	7.2
高崎	3.0	2.9
みどりの	4.7	4.8
学園の森	4.2	4.3
研究学園	2.3	-
みどりの南	2.5	-
無回答・無効	1.8	6.9

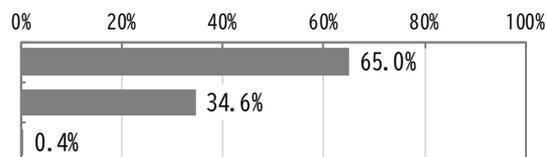
この1年間のあなた御自身の「学び」についてお伺いします

**問1** あなたはこの1年間に何かを学んだり、身につけたり、技能を高めたりしたことがありますか。(SA)

1年間の生涯学習経験は、「ある」が65.0%、「ない」が34.6%となっています。  
過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	ある	500	65.0%
2	ない	266	34.6%
	無回答・無効	3	0.4%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019	2012
ある	65.0	57.9	52.6
ない	34.6	39.8	47.4
無回答・無効	0.4	2.4	-

年齢別にみると、全ての年齢層で「ある」が最も多く、特に20歳代が約8割となっています。

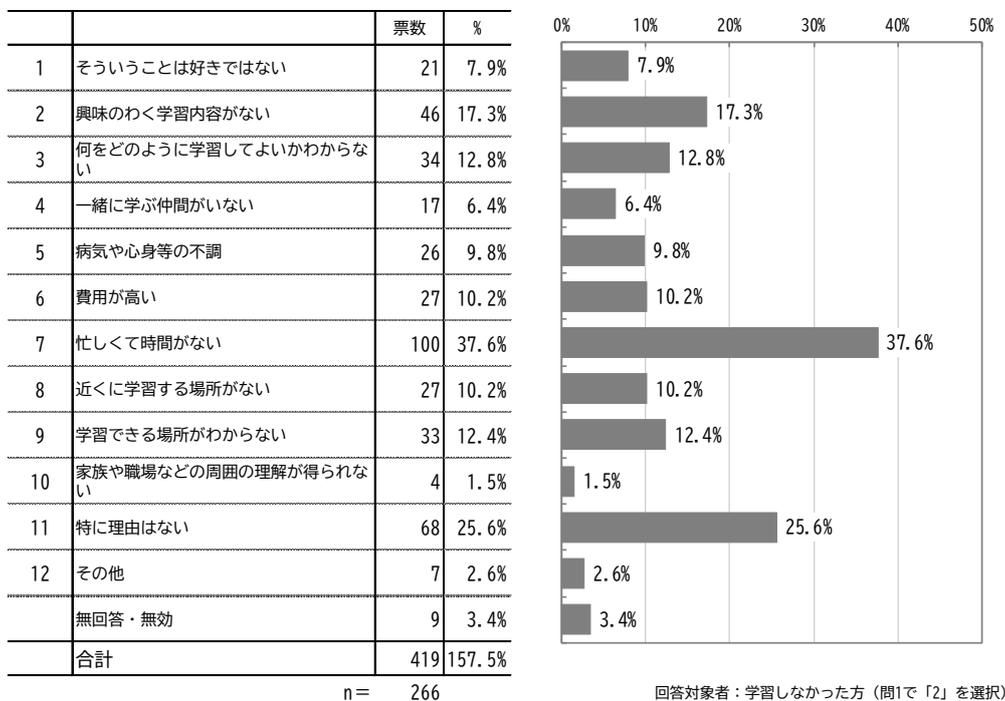
問1 × 年齢別クロス集計

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
ある	66.7	78.9	66.2	67.1	65.4	64.3	55.9	54.2	0.0
ない	33.3	21.1	33.8	32.3	34.6	34.9	44.1	43.8	100.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.8	0.0	2.1	0.0

**問1-① 【問1で「2. ない」を選んだ方のみ】学習しなかった理由は何ですか。(MA)**

学習しなかった理由は、「忙しくて時間がない」が37.6%、「特に理由はない」が25.6%、「興味のわく学習内容がない」が17.3%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。



その他：交通手段がない、家族の介護がある、学習への一歩が踏み出せなかった など

**(参照) 過去の結果との推移**

	2024	2019	2012
そういうことは好きではない	7.9	6.2	8.7
興味のわく学習内容がない	17.3	-	-
何をどのように学習してよいかわからない	12.8	11.9	13.2
一緒に学ぶ仲間がない	6.4	9.9	8.7
病気や心身等の不調	9.8	-	-
費用が高い	10.2	10.2	10.1
忙しくて時間がない	37.6	45.2	47.1
近くに学習する場所がない	10.2	13.3	15.7
学習できる場所がわからない	12.4	14.7	12.6
家族や職場などの周囲の理解が得られない	1.5	2.0	2.8
特に理由はない	25.6	20.3	20.7
その他	2.6	6.8	10.9
無回答・無効	3.4	10.7	6.4

年齢別にみると、20～60歳代は「忙しくて時間がない」、70歳代は「特に理由はない」が最も多く、10歳代は「そういうことは好きではない」、「興味のわく学習内容がない」、「一緒に学ぶ仲間がいない」、「忙しくて時間がない」が同率、80歳以上は「病気や心身等の不調」、「特に理由はない」が同率になっています。

問1-①×年齢別クロス集計

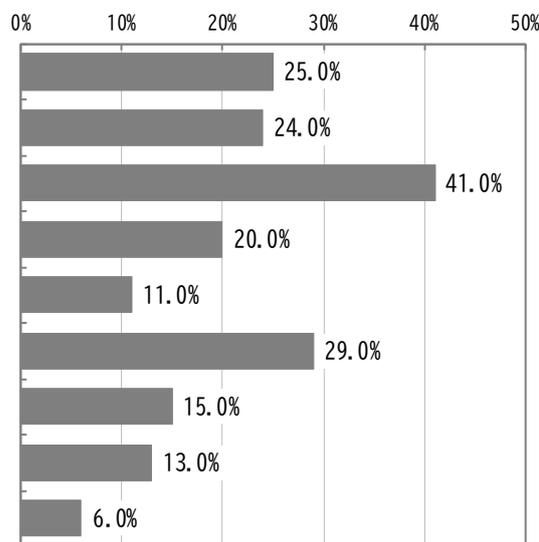
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	2	15	46	52	44	44	41	21	1
そういうことは好きではない	50.0	6.7	10.9	0.0	6.8	9.1	9.8	14.3	0.0
興味のわく学習内容がない	50.0	13.3	15.2	23.1	13.6	25.0	17.1	0.0	0.0
何をどのように学習してよいかわからない	0.0	20.0	13.0	23.1	9.1	6.8	12.2	4.8	0.0
一緒に学ぶ仲間がいない	50.0	6.7	4.3	7.7	2.3	9.1	4.9	9.5	0.0
病気や心身等の不調	0.0	0.0	2.2	7.7	9.1	4.5	19.5	33.3	0.0
費用が高い	0.0	20.0	21.7	15.4	9.1	0.0	2.4	4.8	0.0
忙しくて時間がない	50.0	33.3	56.5	50.0	36.4	34.1	22.0	9.5	0.0
近くに学習する場所がない	0.0	0.0	8.7	9.6	9.1	9.1	19.5	9.5	0.0
学習できる場所がわからない	0.0	13.3	10.9	23.1	6.8	13.6	7.3	9.5	0.0
家族や職場などの周囲の理解が得られない	0.0	0.0	4.3	1.9	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
特に理由はない	0.0	26.7	17.4	19.2	34.1	25.0	29.3	33.3	100.0
その他	0.0	0.0	0.0	1.9	6.8	0.0	2.4	9.5	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	2.2	1.9	2.3	4.5	4.9	9.5	0.0

**問1-② 【問1-①で「7. 忙しくて時間がない」を選んだ方のみ】 どうしたら学習をしようと思えますか。(MA)**

多忙な人がどうしたら学習をしようと思うかについては、「簡単にできる学習方法があったら」が 41.0%、「仕事等に必要な学習内容があったら」が 29.0%、「いつでも学習できる方法があったら」が 25.0%となっています。

		票数	%
1	いつでも学習できる方法があったら	25	25.0%
2	どこでも学習できる方法があったら	24	24.0%
3	簡単にできる学習方法があったら	41	41.0%
4	親子で一緒に学習できる方法があったら	20	20.0%
5	子育て等に必要な学習内容があったら	11	11.0%
6	仕事等に必要な学習内容があったら	29	29.0%
7	詳しい情報があったら	15	15.0%
8	その他	13	13.0%
	無回答・無効	6	6.0%
	合計	184	184.0%

n = 100



回答対象者：忙しくて時間がなかった方（問1①で「7」を選択）

その他：時間に余裕が出来れば、興味や学習意欲が出るものがあれば、家族が健康になれば など

年齢別にみると、20歳代、40～60歳代は「簡単にできる学習方法があったら」が特に多くなっています。また、30歳代は「親子で一緒に学習できる方法があったら」、70歳代は「いつでも学習できる方法があったら」、80歳代は「仕事等に必要な学習内容があったら」と「詳しい情報があったら」が最も多くなっています。

**問1-②×年齢別クロス集計**

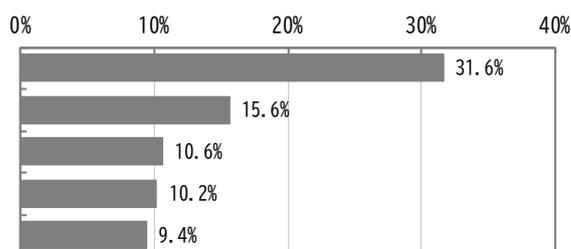
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	1	5	26	26	16	15	9	2	0
いつでも学習できる方法があったら	0.0	0.0	26.9	30.8	18.8	20.0	44.4	0.0	0.0
どこでも学習できる方法があったら	0.0	0.0	34.6	30.8	6.3	20.0	33.3	0.0	0.0
簡単にできる学習方法があったら	0.0	40.0	42.3	53.8	37.5	33.3	33.3	0.0	0.0
親子で一緒に学習できる方法があったら	0.0	0.0	46.2	23.1	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
子育て等に必要な学習内容があったら	0.0	0.0	26.9	11.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
仕事等に必要な学習内容があったら	0.0	40.0	34.6	34.6	25.0	26.7	0.0	50.0	0.0
詳しい情報があったら	0.0	0.0	7.7	15.4	12.5	20.0	33.3	50.0	0.0
その他	0.0	0.0	11.5	7.7	18.8	26.7	11.1	0.0	0.0
無回答・無効	100.0	20.0	7.7	0.0	0.0	6.7	0.0	50.0	0.0

**問1-1**【問1で「1. ある」を選んだ方のみ】あなたが学んだことはどのようなことですか。  
3つ選び力を入れたものの順に番号を記入してください。(1つや2つだけでもかまいません)  
(MA)

この1年間で1番学んだことは、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育(コンピュータなどの技能習得も含む)」が31.6%、「外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発」が15.6%、「健康の維持・増進や医療」が10.6%となっています。

<1番学んだこと 上位5分野>

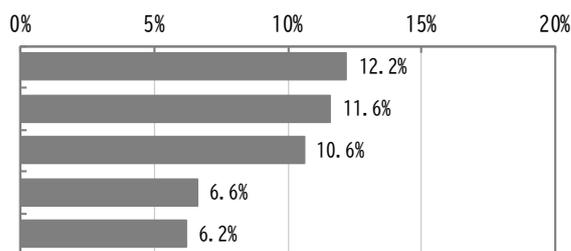
	票数	%
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育 (コンピュータなどの技能習得も含む)	158	31.6%
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの 知識・教養の向上や自己啓発	78	15.6%
健康の維持・増進や医療	53	10.6%
文化芸術・芸能	51	10.2%
スポーツ・レクリエーション活動	47	9.4%



2番目に学んだことは、「健康の維持・増進や医療」が12.2%、「外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発」が11.6%、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育(コンピュータなどの技能習得も含む)」が10.6%となっています。

<2番目に学んだこと 上位5分野>

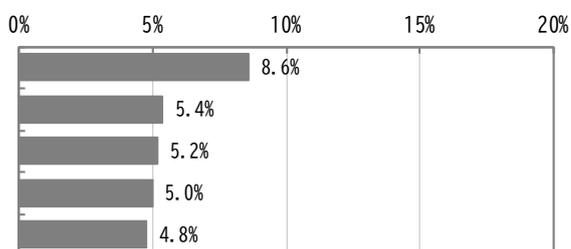
	票数	%
健康の維持・増進や医療	61	12.2%
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの 知識・教養の向上や自己啓発	58	11.6%
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育 (コンピュータなどの技能習得も含む)	53	10.6%
文化芸術・芸能	33	6.6%
生活設計や金融教育	31	6.2%



3番目に学んだことは、「健康の維持・増進や医療」が8.6%、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育(コンピュータなどの技能習得も含む)」が5.4%、「生活設計や金融教育」が5.2%となっています。

<3番目に学んだこと 上位5分野>

	票数	%
健康の維持・増進や医療	43	8.6%
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育 (コンピュータなどの技能習得も含む)	27	5.4%
生活設計や金融教育	26	5.2%
文化芸術・芸能	25	5.0%
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの 知識・教養の向上や自己啓発	24	4.8%



全体<sup>※1</sup> でみると、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）」が最も多くなっています。

過去の結果と比較すると、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）」が「健康の維持・増進や医療」より多くなっています。

（参照）過去の結果との推移（％）

	2024	2019
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）	47.6	26.8
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発	32.0	22.1
健康の維持・増進や医療	31.4	32.4
文化芸術・芸能	21.8	16.7
スポーツ・レクリエーション活動	17.0	17.9
子どものしつけや教育の在り方	14.8	8.5
生活設計や金融教育	14.8	8.3
消費・食生活など家庭生活の在り方	10.6	12.2
自然体験や生活体験など	7.8	2.1
カウンセリングなど心の悩みを解決すること	6.0	2.5
高齢者や障害者などの福祉分野	5.0	6.0
ボランティア活動	4.8	3.9
防災	4.2	-
自治会・区会などの地域活動	4.2	4.5
ゴミ処理・リサイクル・自然保護などの環境分野	3.2	6.4
文化財の理解・保護や活用	2.4	2.1
外国籍の人たちとの交流	2.4	5.2
子ども会やスポーツ少年団などの青少年の育成活動	1.6	1.7
その他	1.4	5.8
人権	1.2	1.7
男女共同参画・ジェンダー平等	0.8	0.4
無回答・無効	1.4	26.6

（※1 全体については、過去の結果に合わせて1～3位（力を入れたもの）の順位に関わらず、選択した票の合計が多い順に掲載しています。）

年齢別にみると、10～50歳代は「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）」、60歳代と80歳以上は「健康の維持・増進や医療」が多くなっています。また、70歳代は「文化芸術・芸能」と「スポーツ・レクリエーション活動」が最も多くなっています。

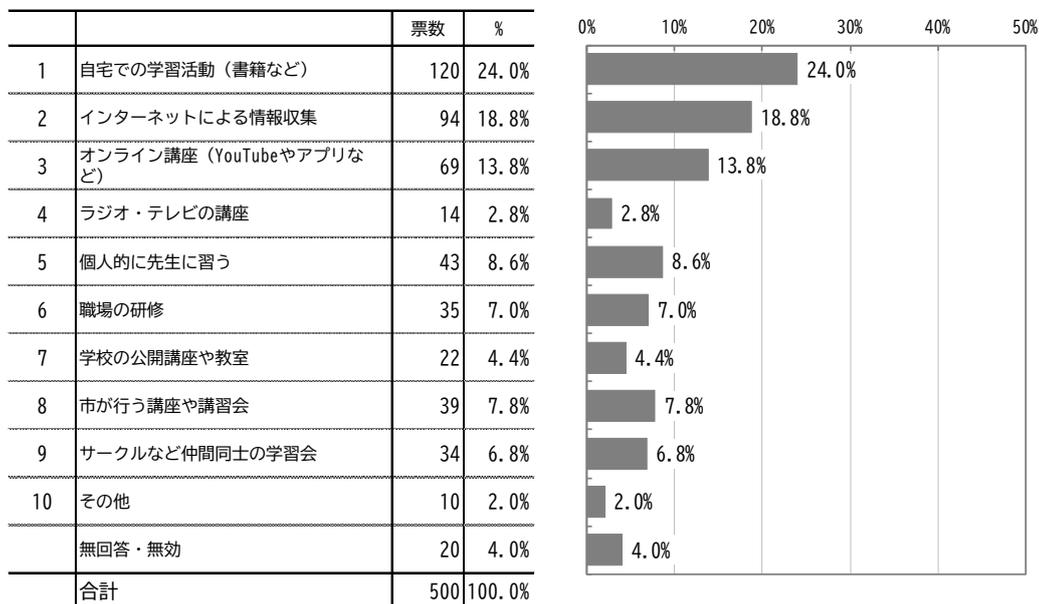
問1-1（総数）×年齢別クロス集計（％）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数（n）	4	56	90	108	83	81	52	26
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）	100.0	66.1	55.6	59.3	60.2	33.3	9.6	3.8
健康の維持・増進や医療	0.0	14.3	23.3	25.0	42.2	40.7	36.5	53.8
消費・食生活など家庭生活の在り方	0.0	5.4	12.2	9.3	6.0	17.3	13.5	11.5
子どものしつけや教育の在り方	0.0	23.2	32.2	19.4	9.6	2.5	1.9	0.0
カウンセリングなど心の悩みを解決すること	0.0	8.9	6.7	8.3	7.2	3.7	0.0	3.8
生活設計や金融教育	25.0	16.1	17.8	17.6	13.3	18.5	5.8	0.0
高齢者や障害者などの福祉分野	0.0	1.8	3.3	4.6	3.6	11.1	3.8	7.7
防災	0.0	1.8	6.7	4.6	2.4	6.2	3.8	0.0
ゴミ処理・リサイクル・自然保護などの環境分野	0.0	0.0	0.0	3.7	4.8	3.7	7.7	3.8
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発	0.0	35.7	33.3	31.5	27.7	38.3	28.8	26.9
人権	0.0	1.8	0.0	1.9	1.2	1.2	1.9	0.0
男女共同参画・ジェンダー平等	0.0	5.4	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
文化財の理解・保護や活用	0.0	1.8	3.3	0.9	3.6	2.5	3.8	0.0
文化芸術・芸能	25.0	8.9	16.7	15.7	20.5	30.9	38.5	34.6
スポーツ・レクリエーション活動	0.0	10.7	7.8	11.1	16.9	23.5	38.5	26.9
自治会・区会などの地域活動	0.0	0.0	2.2	0.0	4.8	2.5	21.2	7.7
子ども会やスポーツ少年団などの青少年の育成活動	0.0	0.0	1.1	2.8	4.8	0.0	0.0	0.0
ボランティア活動	25.0	1.8	2.2	4.6	4.8	3.7	13.5	3.8
外国籍の人たちとの交流	0.0	7.1	1.1	1.9	3.6	1.2	0.0	3.8
自然体験や生活体験など	0.0	5.4	10.0	11.1	7.2	6.2	5.8	3.8
その他	0.0	0.0	1.1	0.9	2.4	1.2	1.9	3.8
無回答・無効	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	2.5	1.9	11.5

**問1-2** あなたはそれをどのような方法で学びましたか。(SA)

学んだ方法は、「自宅での学習活動(書籍など)」が24.0%、「インターネットによる情報収集」が18.8%、「オンライン講座(YouTubeやアプリなど)」が13.8%となっています。

過去の結果と比較すると、前回から最も多い回答に変化はありません。



n = 500

回答対象者：学習した方(問1で「1」を選択)

その他：語学留学、展覧会鑑賞、講習会(市以外)、研究所、デイサービス など

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019	2012	2004	1993
自宅での学習活動(書籍など)	24.0	23.9	23.7	25.4	22.7
インターネットによる情報収集	18.8	11.7			
オンライン講座(YouTubeやアプリなど)	13.8	3.7	13.4	10.1	14.3
ラジオ・テレビの講座	2.8	4.7			
個人的に先生に習う	8.6	12.4	10.6	13.0	12.3
職場の研修	7.0	9.5	-	-	-
学校の公開講座や教室	4.4	4.3	1.0	1.6	1.4
市が行う講座や講習会	7.8	8.2	25.5	26.1	21.5
サークルなど仲間同士の学習会	6.8	10.3	15.2	18.0	16.3
その他	2.0	7.0	6.6	4.3	6.8
無回答・無効	4.0	4.5	2.8	1.3	4.8

年齢別にみると、10歳代は「学校の公開講座や教室」、20~40歳代、60歳代は「自宅での学習活動(書籍など)」、50歳代は「インターネットによる情報収集」、70歳代は「サークルなど仲間同士の学習会」、80歳以上は「ラジオ・テレビの講座」が最も多くなっています。

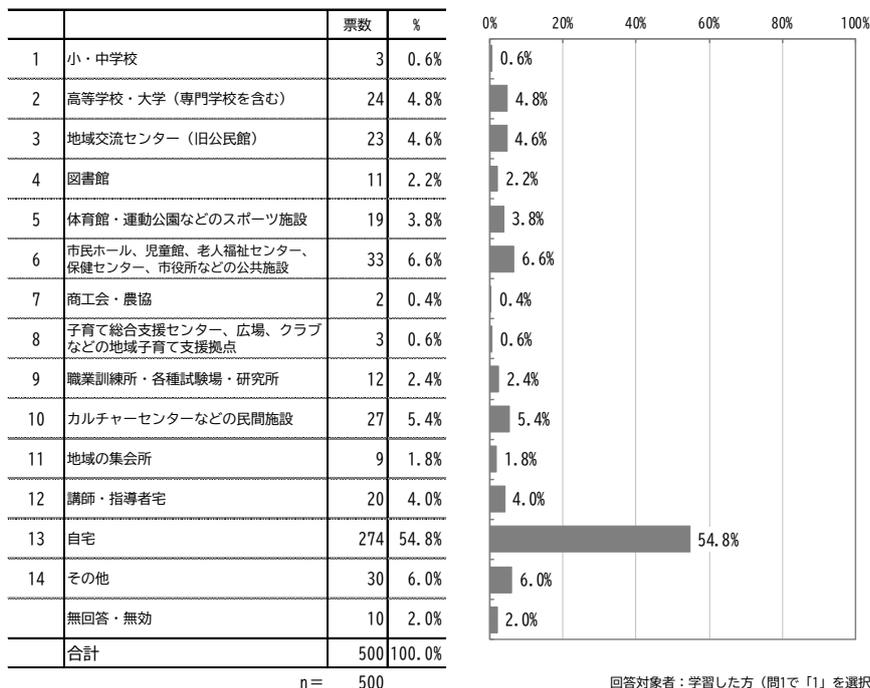
問1-2×年齢別クロス集計(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数(n)	4	56	90	108	83	81	52	26
自宅での学習活動(書籍など)	0.0	25.0	36.7	30.6	15.7	21.0	11.5	15.4
インターネットによる情報収集	25.0	16.1	17.8	25.0	25.3	16.0	13.5	0.0
オンライン講座(YouTubeやアプリなど)	25.0	10.7	15.6	20.4	20.5	11.1	0.0	0.0
ラジオ・テレビの講座	0.0	0.0	1.1	0.9	0.0	6.2	3.8	19.2
個人的に先生に習う	0.0	3.6	4.4	6.5	7.2	16.0	17.3	7.7
職場の研修	0.0	14.3	12.2	2.8	10.8	4.9	0.0	0.0
学校の公開講座や教室	50.0	19.6	3.3	0.0	3.6	2.5	1.9	0.0
市が行う講座や講習会	0.0	1.8	5.6	6.5	6.0	8.6	19.2	15.4
サークルなど仲間同士の学習会	0.0	3.6	1.1	4.6	3.6	7.4	25.0	15.4
その他	0.0	5.4	0.0	0.9	3.6	2.5	0.0	3.8
無回答・無効	0.0	0.0	2.2	1.9	3.6	3.7	7.7	23.1

**問1-3** あなたはそれをどこで学びましたか。(SA)

学んだ場所は、「自宅」が54.8%と最も多くなっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。



その他：職場、美術館、博物館、海外、通勤通学中 など

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019	2012
小・中学校	0.6	-	-
高等学校・大学（専門学校を含む）	4.8	-	-
- 前回：小・中学校、高等学校	-	1.7	0.5
- 前回：大学（専門学校を含む）	-	6.0	4.3
地域交流センター（旧公民館）	4.6	6.8	12.1
図書館	2.2	3.9	-
体育館・運動公園などのスポーツ施設	3.8	4.5	5.6
市民ホール、児童館、老人福祉センター、保健センター、市役所などの公共施設	6.6	6.6	10.1
商工会・農協	0.4	0.4	-
子育て総合支援センター、広場、クラブなどの地域子育て支援拠点	0.6	0.8	0.8
職業訓練所・各種試験場・研究所	2.4	3.9	2.3
カルチャーセンターなどの民間施設	5.4	8.2	10.9
地域の集会所	1.8	2.9	1.8
講師・指導者宅	4.0	4.9	6.8
自宅（- 前回：自宅または知人宅）	54.8	34.4	33.8
その他	6.0	10.7	7.6
無回答・無効	2.0	4.5	2.8

年齢別にみると、全ての年齢層で「自宅」が最も多く、10歳代は「高等学校・大学（専門学校を含む）」も同率になっています。

問1-3 × 年齢別クロス集計 (%)

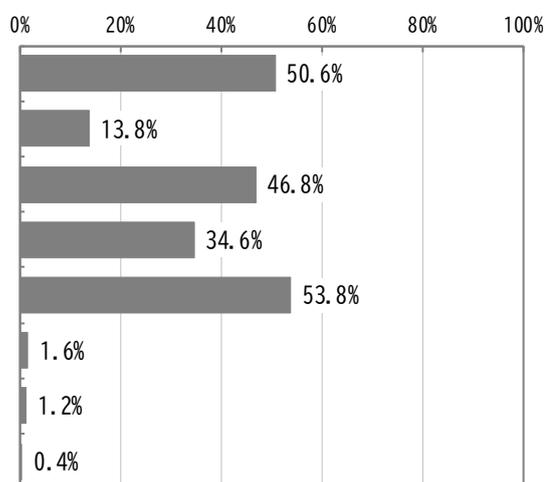
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	4	56	90	108	83	81	52	26
小・中学校	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.2	1.9	0.0
高等学校・大学（専門学校を含む）	50.0	25.0	1.1	0.9	3.6	2.5	1.9	0.0
地域交流センター（旧公民館）	0.0	0.0	1.1	3.7	2.4	2.5	19.2	15.4
図書館	0.0	1.8	2.2	4.6	1.2	1.2	1.9	0.0
体育館・運動公園などのスポーツ施設	0.0	3.6	3.3	0.9	6.0	4.9	5.8	3.8
市民ホール、児童館、老人福祉センター、保健センター、市役所などの公共施設	0.0	5.4	3.3	4.6	7.2	7.4	11.5	15.4
商工会・農協	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
子育て総合支援センター、広場、クラブなどの地域子育て支援拠点	0.0	1.8	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業訓練所・各種試験場・研究所	0.0	7.1	2.2	1.9	3.6	0.0	1.9	0.0
カルチャーセンターなどの民間施設	0.0	1.8	2.2	6.5	4.8	11.1	7.7	0.0
地域の集会所	0.0	0.0	0.0	0.9	1.2	2.5	5.8	7.7
講師・指導者宅	0.0	0.0	3.3	1.9	1.2	9.9	7.7	7.7
自宅	50.0	41.1	68.9	66.7	59.0	51.9	26.9	38.5
その他	0.0	10.7	6.7	7.4	8.4	2.5	1.9	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	2.2	0.0	1.2	1.2	5.8	11.5

**問1-4** あなたは、その学びの成果をどのようにいかしていますか。あるいはいかせると思いませんか。(MA)

学びの成果のいかし方は、「自分の人生を豊かにしている(豊かにできる)」が53.8%、「仕事や就職の上でいかしている(いかせる)」が50.6%、「家庭・日常の生活にいかしている(いかせる)」が46.8%となっています。

		票数	%
1	仕事や就職の上でいかしている(いかせる)	253	50.6%
2	地域や社会での活動にいかしている(いかせる)	69	13.8%
3	家庭・日常の生活にいかしている(いかせる)	234	46.8%
4	健康の維持・増進に役立っている(役立てられる)	173	34.6%
5	自分の人生を豊かにしている(豊かにできる)	269	53.8%
6	いかしていない(いかせない)	8	1.6%
7	その他	6	1.2%
	無回答・無効	2	0.4%
	合計	1,014	202.8%

n = 500



回答対象者：学習した方(問1で「1」を選択)

その他：交流の輪を広げる、子どもの学習のため など

年齢別にみると、10~50歳代は「仕事や就職の上でいかしている(いかせる)」、60~80歳以上は「自分の人生を豊かにしている(豊かにできる)」が最も多くなっています。

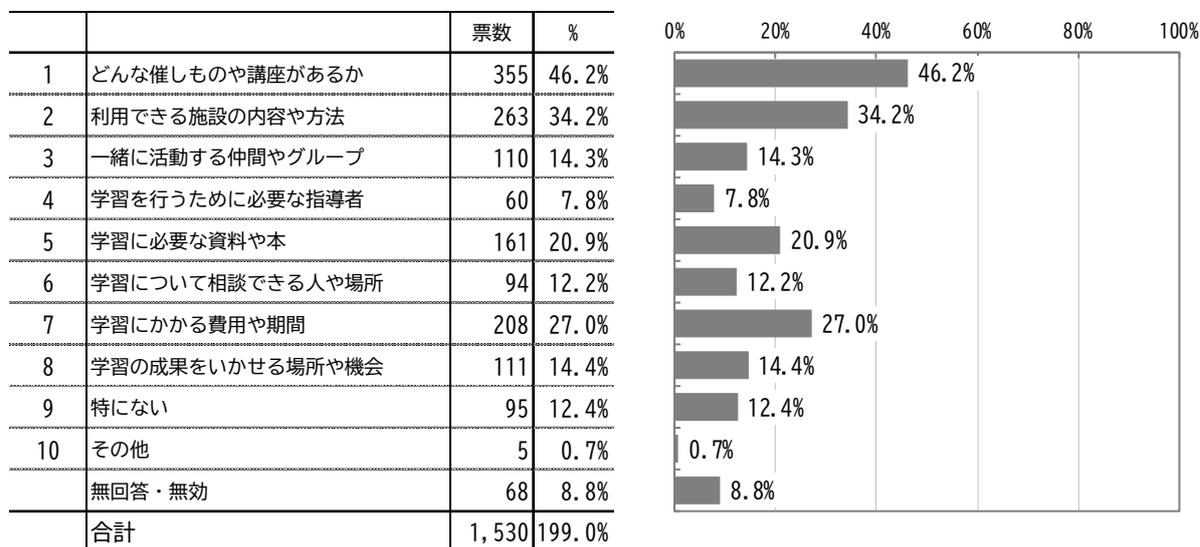
問1-4×年齢別クロス集計(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数(n)	4	56	90	108	83	81	52	26
仕事や就職の上でいかしている(いかせる)	75.0	75.0	60.0	62.0	60.2	37.0	11.5	3.8
地域や社会での活動にいかしている(いかせる)	25.0	7.1	14.4	10.2	12.0	17.3	21.2	19.2
家庭・日常の生活にいかしている(いかせる)	25.0	33.9	58.9	56.5	42.2	43.2	36.5	42.3
健康の維持・増進に役立っている(役立てられる)	0.0	16.1	32.2	21.3	36.1	44.4	55.8	65.4
自分の人生を豊かにしている(豊かにできる)	25.0	51.8	50.0	43.5	49.4	63.0	67.3	76.9
いかしていない(いかせない)	25.0	1.8	1.1	2.8	2.4	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	1.8	1.1	0.9	2.4	1.2	0.0	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8

**問2** あなたは、「学び」に関する情報として、今どのようなことを知りたいですか。主なものを3つまで選んで、その番号に○をつけてください。(MA)

知りたい情報は、「どんな催しものや講座があるか」が46.2%、「利用できる施設の内容や方法」が34.2%、「学習にかかる費用や期間」が27.0%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。



n = 769

回答対象者：全員

その他：学習に必要な道具の保管場所について、乳幼児と共に参加が可能か、仕事に役立てることができるか など

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019	2012	2004
どんな催しものや講座があるか	46.2	45.5	47.8	53.7
利用できる施設の内容や方法	34.2	35.3	36.3	45.7
一緒に活動する仲間やグループ	14.3	15.4	15.2	17.1
学習を行うために必要な指導者	7.8	9.0	9.9	17.4
学習に必要な資料や本	20.9	14.8	16.6	11.3
学習について相談できる人や場所	12.2	10.9	10.8	16.5
学習にかかる費用や期間	27.0	25.5	29.0	12.6
学習の成果をいかせる場所や機会	14.4	15.2	13.9	28.4
特にない	12.4	14.8	15.2	12.6
その他	0.7	1.0	0.9	0.8
無回答・無効	8.8	8.7	5.0	0.0

年齢別にみると、20歳代は「利用できる施設の内容や方法」、その他の年齢層では「どんな催しものや講座があるか」が最も多くなっています。

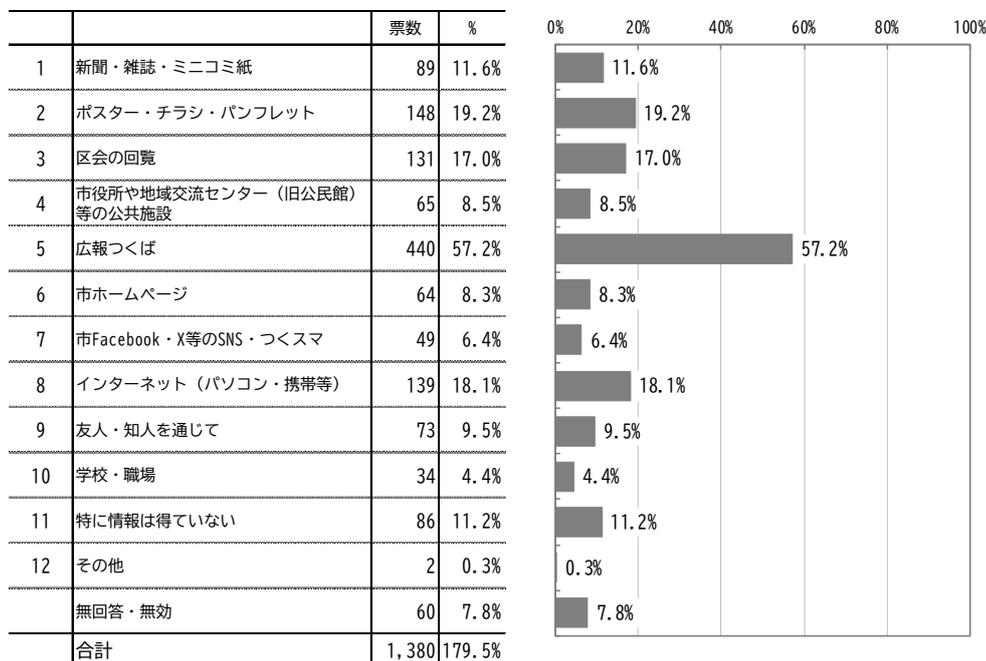
問2×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
どんな催しものや講座があるか	50.0	38.0	46.3	47.2	48.8	50.0	47.3	35.4	0.0
利用できる施設の内容や方法	16.7	46.5	36.8	28.6	33.1	38.9	34.4	20.8	0.0
一緒に活動する仲間やグループ	16.7	25.4	19.9	11.8	11.0	10.3	9.7	18.8	0.0
学習を行うために必要な指導者	16.7	11.3	6.6	8.7	9.4	6.3	7.5	2.1	0.0
学習に必要な資料や本	33.3	25.4	29.4	24.2	16.5	21.4	9.7	10.4	0.0
学習について相談できる人や場所	0.0	11.3	15.4	12.4	11.0	14.3	9.7	8.3	0.0
学習にかかる費用や期間	16.7	25.4	34.6	32.3	34.6	22.2	14.0	10.4	0.0
学習の成果をいかせる場所や機会	33.3	28.2	19.1	19.3	12.6	10.3	2.2	2.1	0.0
特にない	16.7	12.7	7.4	13.7	7.1	14.3	20.4	14.6	0.0
その他	0.0	2.8	0.7	0.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
無回答・無効	0.0	2.8	3.7	7.5	9.4	7.1	16.1	25.0	100.0

**問3** あなたは、市が行う講座や講習会の情報をどのようにして知ることが多いですか。主なものを3つまで選んで、その番号に○をつけてください。(MA)

情報媒体は、「広報つくば」が57.2%と最も多くなっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。



n = 769

回答対象者：全員

その他：本屋、ACCS

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019	2012	2004
新聞・雑誌・ミニコミ紙	11.6	22.6	27.4	28.5
ポスター・チラシ・パンフレット	19.2	18.3	17.5	14.6
区会の回覧	17.0	27.1	-	-
市役所や地域交流センター（旧公民館）等の公共施設	8.5	9.0	4.7	4.8
広報つくば	57.2	61.9	71.1	75.4
市ホームページ	8.3	5.6	-	-
市Facebook・X等のSNS・つくスマ	6.4	2.5	-	-
インターネット（パソコン・携帯等）	18.1	11.8	13.5	8.6
友人・知人を通じて	9.5	11.0	14.8	18.5
学校・職場	4.4	4.5	-	-
特に情報は得ていない	11.2	9.0	11.3	10.3
その他	0.3	1.1	1.2	1.0
無回答・無効	7.8	5.7	3.0	0.0

年齢別にみると、30～80歳以上は「広報つくば」が最も多く、10歳代は「新聞・雑誌・ミニコミ紙」、「ポスター・チラシ・パンフレット」、「学校・職場」、20歳代は「ポスター・チラシ・パンフレット」、「特に情報は得ていない」が同率になっています。

問3×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
新聞・雑誌・ミニコミ紙	33.3	7.0	11.8	10.6	15.0	10.3	10.8	14.6	0.0
ポスター・チラシ・パンフレット	33.3	26.8	21.3	24.2	15.7	19.0	14.0	4.2	0.0
区会の回覧	0.0	5.6	9.6	12.4	12.6	25.4	32.3	33.3	0.0
市役所や地域交流センター（旧公民館）等の公共施設	0.0	7.0	8.8	6.8	5.5	11.9	8.6	14.6	0.0
広報つくば	16.7	21.1	60.3	59.0	60.6	65.9	66.7	52.1	0.0
市ホームページ	0.0	8.5	10.3	8.7	6.3	9.5	6.5	8.3	0.0
市Facebook・X等のSNS・つくスマ	0.0	15.5	11.0	6.8	3.1	0.8	7.5	0.0	0.0
インターネット（パソコン・携帯等）	16.7	25.4	21.3	24.2	21.3	10.3	10.8	4.2	0.0
友人・知人を通じて	0.0	14.1	6.6	9.3	10.2	5.6	10.8	18.8	0.0
学校・職場	33.3	11.3	9.6	3.1	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0
特に情報は得ていない	16.7	26.8	11.0	11.2	9.4	12.7	4.3	2.1	0.0
その他	0.0	0.0	0.7	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答・無効	0.0	1.4	3.7	6.2	7.9	7.9	12.9	22.9	100.0

あなた御自身のこれからの「学び」についてお伺いします

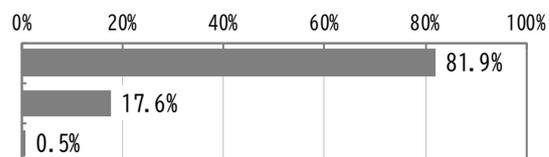
**問4** あなたは、何かを学んだり、身につけたり、技能を高めたりしたいと思っていますか。(現在していることで、今後も続けたいと思っていることも含みます。)(SA)

今後生涯学習を行いたいかについて、「思っている」が 81.9%、「思っていない」が 17.6%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	思っている	630	81.9%
2	思っていない	135	17.6%
	無回答・無効	4	0.5%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

(参照) 過去の結果との推移

	2024	2019	2012	2004	1993
思っている	81.9	78.1	79.5	84.0	81.9
思っていない	17.6	20.9	20.5	16.0	18.1
無回答・無効	0.5	1.0	-	-	-

年齢別にみると、全ての年齢層で「思っている」が最も多くなっています。

問4 × 年齢別クロス集計 (%)

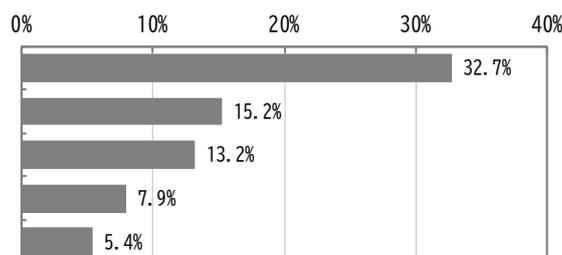
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
思っている	83.3	85.9	87.5	89.4	90.6	79.4	62.4	58.3	0.0
思っていない	16.7	12.7	12.5	9.9	9.4	20.6	36.6	39.6	100.0
無回答・無効	0.0	1.4	0.0	0.6	0.0	0.0	1.1	2.1	0.0

**問4-1** 【問4で「1. 思っている」を選んだ方のみ】あなたが学んでみたいことは次のうちどれですか。3つ選びやってみたい順に番号を記入してください。(1つや2つでもかまいません。)(MA)

1番学んでみたいことは、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育(コンピュータなどの技能習得も含む)」が32.7%、「外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発」が15.2%、「健康の維持・増進や医療」が13.2%となっています。

<1番学んでみたいこと 上位5分野>

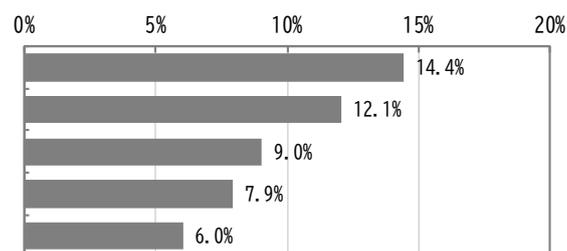
	票数	%
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育(コンピュータなどの技能習得も含む)	206	32.7%
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発	96	15.2%
健康の維持・増進や医療	83	13.2%
文化芸術・芸能	50	7.9%
スポーツ・レクリエーション活動	34	5.4%



2番目に学んでみたいことは、「健康の維持・増進や医療」が14.4%、「外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発」が12.1%、「生活設計や金融教育」が9.0%となっています。

<2番目に学んでみたいこと 上位5分野>

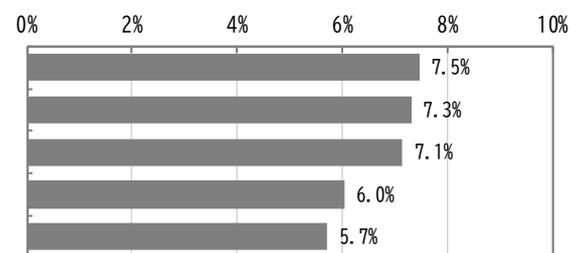
	票数	%
健康の維持・増進や医療	91	14.4%
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発	76	12.1%
生活設計や金融教育	57	9.0%
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育(コンピュータなどの技能習得も含む)	50	7.9%
消費・食生活など家庭生活の在り方	38	6.0%



3番目に学んでみたいことは、「外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発」が7.5%、「生活設計や金融教育」が7.3%、「健康の維持・増進や医療」が7.1%となっています。

<3番目に学んでみたいこと 上位5分野>

	票数	%
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発	47	7.5%
生活設計や金融教育	46	7.3%
健康の維持・増進や医療	45	7.1%
文化芸術・芸能	38	6.0%
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育(コンピュータなどの技能習得も含む)	36	5.7%



全体※1 でみると、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）」が最も多くなっています。

過去の結果と比較すると、「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）」が「健康の維持・増進や医療」より多くなっています。

（参照）過去の結果との推移（％）

	2024	2019	2012
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）	46.3	38.4	40.0
健康の維持・増進や医療	34.8	41.0	41.6
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発	34.8	32.7	31.8
生活設計や金融教育	21.6	18.7	14.8
文化芸術・芸能	18.4	19.3	38.7
スポーツ・レクリエーション活動	15.9	22.3	30.3
子どものしつけや教育の在り方	14.9	12.7	0.6
消費・食生活など家庭生活の在り方	12.2	13.5	16.8
自然体験や生活体験など	9.8	8.3	6.2
高齢者や障害者などの福祉分野	7.8	7.3	7.8
外国籍の人たちとの交流	7.0	7.6	4.7
カウンセリングなど心の悩みを解決すること	6.3	4.6	5.7
ボランティア活動	5.9	7.6	9.4
防災	5.4	-	-
ゴミ処理・リサイクル・自然保護などの環境分野	4.3	9.6	6.7
文化財の理解・保護や活用	3.3	4.6	3.2
その他	2.5	4.9	1.2
子ども会やスポーツ少年団などの青少年の育成活動	2.2	3.0	2.5
自治会・区会などの地域活動	1.9	4.5	2.9
男女共同参画・ジェンダー平等	1.3	0.6	0.7
人権	0.6	1.0	1.0
無回答・無効	0.5	7.6	-

（※1 全体については、過去の結果に合わせて1～3位（やってみたいものの順位に関わらず、選択した票の合計が多い順に掲載しています。）

年齢別にみると、10～50歳代は「仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）」、60～80歳以上は「健康の維持・増進や医療」が最も多くなっています。

問4-1（総数）×年齢別クロス集計（％）

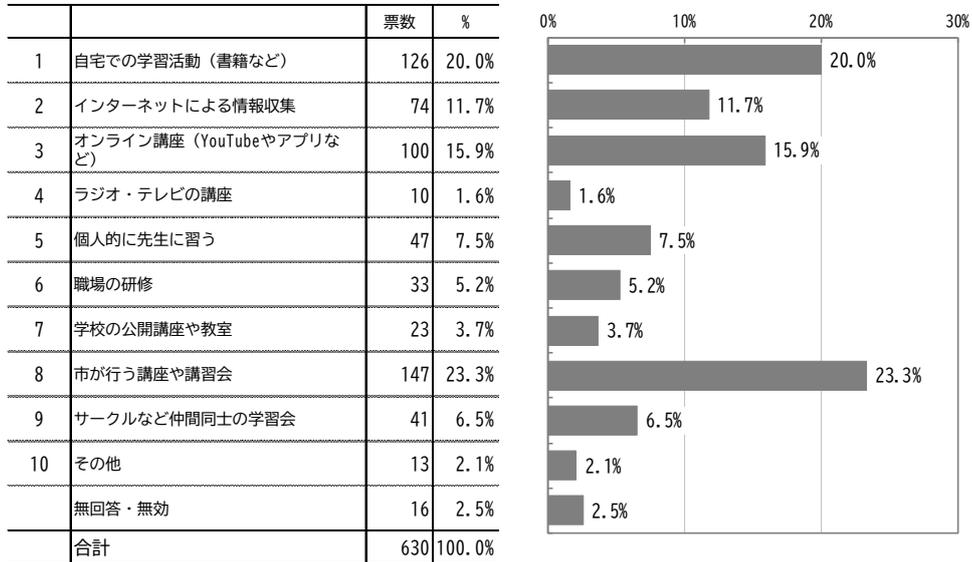
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数（n）	5	61	119	144	115	100	58	28
仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育（コンピュータなどの技能習得も含む）	80.0	63.9	58.0	57.6	50.4	34.0	5.2	7.1
健康の維持・増進や医療	20.0	18.0	22.7	24.3	34.8	47.0	63.8	75.0
消費・食生活など家庭生活の在り方	0.0	9.8	9.2	16.0	8.7	13.0	19.0	10.7
子どものしつけや教育の在り方	0.0	13.1	29.4	22.9	10.4	4.0	3.4	0.0
カウンセリングなど心の悩みを解決すること	20.0	11.5	10.9	6.3	4.3	3.0	1.7	3.6
生活設計や金融教育	40.0	31.1	26.9	25.0	20.9	16.0	8.6	7.1
高齢者や障害者などの福祉分野	0.0	1.6	5.0	6.3	6.1	13.0	12.1	21.4
防災	0.0	1.6	4.2	4.2	7.8	9.0	3.4	7.1
ゴミ処理・リサイクル・自然保護などの環境分野	0.0	1.6	4.2	0.7	2.6	7.0	13.8	7.1
外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発	20.0	29.5	39.5	41.0	33.9	29.0	31.0	28.6
人権	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	3.6
男女共同参画・ジェンダー平等	20.0	0.0	0.0	2.1	1.7	1.0	1.7	0.0
文化財の理解・保護や活用	0.0	3.3	3.4	2.1	1.7	5.0	3.4	10.7
文化芸術・芸能	20.0	16.4	12.6	14.6	19.1	28.0	24.1	17.9
スポーツ・レクリエーション活動	0.0	11.5	9.2	16.0	13.9	19.0	34.5	14.3
自治会・区会などの地域活動	0.0	1.6	1.7	1.4	0.9	1.0	6.9	3.6
子ども会やスポーツ少年団などの青少年の育成活動	0.0	1.6	3.4	2.1	3.5	2.0	0.0	0.0
ボランティア活動	0.0	3.3	1.7	2.8	5.2	12.0	19.0	0.0
外国籍の人たちとの交流	0.0	11.5	6.7	7.6	11.3	0.0	5.2	7.1
自然体験や生活体験など	0.0	4.9	16.0	9.7	7.8	11.0	8.6	3.6
その他	0.0	1.6	1.7	1.4	4.3	1.0	3.4	10.7
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.7	0.9	1.0	0.0	0.0

**問4-2** あなたは問4-1で「1位」にあげたものをどのような方法で学びたいと思いますか。

(SA)

学びたい方法は、「市が行う講座や講習会」が23.3%、「自宅での学習活動(書籍など)」が20.0%、「オンライン講座 (YouTube やアプリなど)」が15.9%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。



n = 630 回答対象者：具体的に学んでみたいことがある方(問4-1で1位にいずれかを選択)

その他：留学、ボランティア活動、NPO活動、美術館や博物館での鑑賞・公演、講座(市が主催でないもの)、方法がわからない など

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019
自宅での学習活動(書籍など)	20.0	18.8
インターネットによる情報収集	11.7	13.5
オンライン講座 (YouTubeやアプリなど)	15.9	3.2
ラジオ・テレビの講座	1.6	2.9
個人的に先生に習う	7.5	9.8
職場の研修	5.2	5.3
学校の公開講座や教室	3.7	4.9
市が行う講座や講習会	23.3	26.8
サークルなど仲間同士の学習会	6.5	11.1
その他	2.1	2.7
無回答・無効	2.5	1.0

年齢別にみると、10歳代は「学校の公開講座や教室」、20~30歳代は「自宅での学習活動」、40歳代は「オンライン講座」、50歳以上は「市が行う講座や講習会」が最も多くなっています。

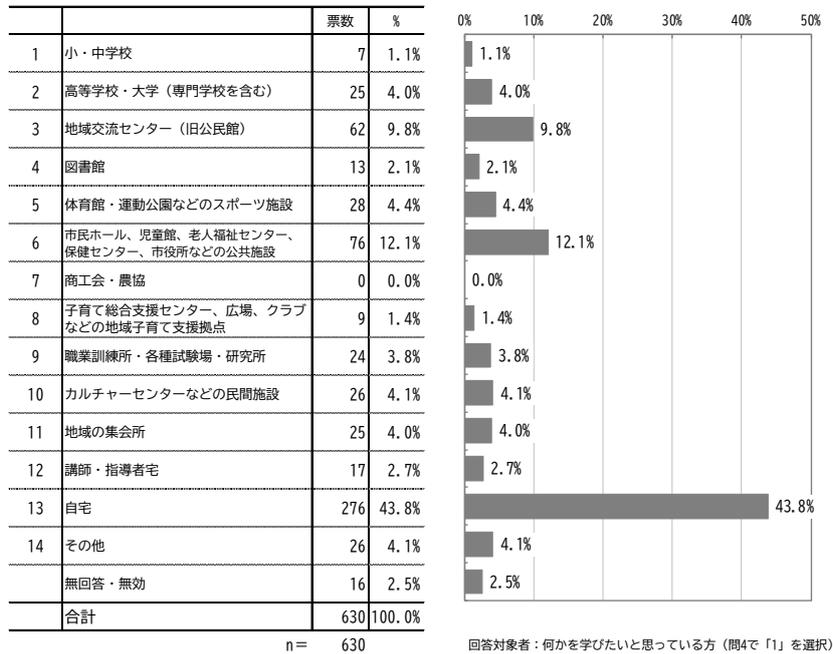
問4-2 × 年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	5	61	119	144	115	100	58	28
自宅での学習活動(書籍など)	0.0	26.2	28.6	22.2	14.8	14.0	15.5	14.3
インターネットによる情報収集	20.0	4.9	10.9	11.8	18.3	14.0	5.2	7.1
オンライン講座 (YouTubeやアプリなど)	20.0	21.3	16.8	22.9	18.3	8.0	5.2	3.6
ラジオ・テレビの講座	0.0	0.0	1.7	0.0	0.9	3.0	3.4	7.1
個人的に先生に習う	20.0	3.3	9.2	6.9	7.0	11.0	6.9	0.0
職場の研修	0.0	16.4	10.9	4.2	1.7	2.0	0.0	0.0
学校の公開講座や教室	40.0	8.2	1.7	2.1	4.3	5.0	1.7	0.0
市が行う講座や講習会	0.0	9.8	15.1	19.4	24.3	30.0	46.6	35.7
サークルなど仲間同士の学習会	0.0	4.9	2.5	5.6	5.2	8.0	15.5	14.3
その他	0.0	3.3	0.8	2.1	2.6	2.0	0.0	7.1
無回答・無効	0.0	1.6	1.7	2.8	2.6	3.0	0.0	10.7

**問4-3** あなたはそれをどこで学びたいと思いますか。(SA)

学びたい場所は、「自宅」が43.8%と最も多くなっています。

過去の結果と比較すると、「自宅」が「地域交流センター(旧公民館)」より多くなっています。



その他：美術館、博物館、職場、市役所の窓口、海外留学、民間施設、国立教育政策研究所 など

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019	2012
小・中学校	1.1	-	-
高等学校・大学(専門学校を含む)	4.0	-	-
- 前回：小・中学校、高等学校	-	2.7	0.5
- 前回：大学(専門学校を含む)	-	6.9	7.0
地域交流センター(旧公民館)	9.8	19.9	22.1
図書館	2.1	8.8	-
体育館・運動公園などのスポーツ施設	4.4	6.9	10.1
市民ホール、児童館、老人福祉センター、保健センター、市役所などの公共施設	12.1	13.1	18.1
商工会・農協	0.0	0.0	0.7
子育て総合支援センター、広場、クラブなどの地域子育て支援拠点	1.4	1.3	-
職業訓練所・各種試験場・研究所	3.8	3.7	2.7
カルチャーセンターなどの民間施設	4.1	7.9	-
地域の集会所	4.0	3.5	2.5
講師・指導者宅	2.7	3.0	3.4
自宅(- 前回：自宅または知人宅)	43.8	18.7	20.1
その他	4.1	2.7	3.0
無回答・無効	2.5	0.9	1.8

年齢別にみると、10歳代は「高等学校・大学(専門学校を含む)」、20~60歳代は「自宅」、70歳以上は「地域交流センター(旧公民館)」が最も多くなっています。

問4-3 × 年齢別クロス集計 (%)

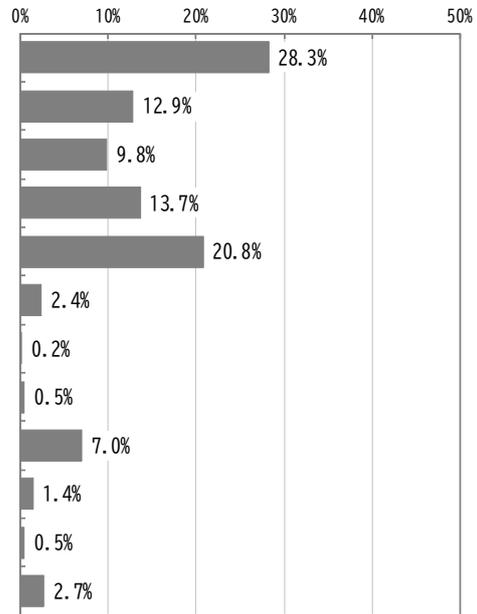
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数(n)	5	61	119	144	115	100	58	28
小・中学校	0.0	0.0	1.7	2.1	0.9	1.0	0.0	0.0
高等学校・大学(専門学校を含む)	40.0	8.2	5.9	1.4	3.5	4.0	1.7	0.0
地域交流センター(旧公民館)	0.0	1.6	4.2	9.0	7.8	10.0	25.9	32.1
図書館	0.0	6.6	1.7	2.1	1.7	1.0	1.7	0.0
体育館・運動公園などのスポーツ施設	0.0	3.3	1.7	3.5	7.8	5.0	6.9	3.6
市民ホール、児童館、老人福祉センター、保健センター、市役所などの公共施設	20.0	8.2	5.9	11.1	18.3	16.0	13.8	7.1
商工会・農協	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子育て総合支援センター、広場、クラブなどの地域子育て支援拠点	0.0	3.3	5.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
職業訓練所・各種試験場・研究所	20.0	8.2	4.2	2.1	7.8	1.0	0.0	0.0
カルチャーセンターなどの民間施設	0.0	0.0	4.2	6.3	1.7	8.0	3.4	0.0
地域の集会所	0.0	1.6	3.4	2.1	1.7	5.0	12.1	10.7
講師・指導者宅	0.0	1.6	3.4	0.7	2.6	7.0	0.0	3.6
自宅	20.0	47.5	50.4	54.9	42.6	37.0	24.1	25.0
その他	0.0	8.2	5.0	3.5	2.6	3.0	5.2	3.6
無回答・無効	0.0	1.6	3.4	0.7	0.9	2.0	5.2	14.3

**問4-4** あなたはそれを何のために学びたいと思いますか。(SA)

学習目的は、「趣味・教養を深めるため」が28.3%、「職業生活や就職・転職に役立てるため」が20.8%、「日常生活に必要な知識・技術を身につけるため」が13.7%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	趣味・教養を深めるため	178	28.3%
2	健康の維持や体力づくりのため	81	12.9%
3	生きがいづくりのため	62	9.8%
4	日常生活に必要な知識・技術を身につけるため	86	13.7%
5	職業生活や就職・転職に役立てるため	131	20.8%
6	ボランティア活動など、地域づくりに役立てるため	15	2.4%
7	展示会、発表会、試合などに役立てるため	1	0.2%
8	友人を作るため	3	0.5%
9	老後を豊かに過ごすため	44	7.0%
10	講師や指導者として他人に指導するため	9	1.4%
11	その他	3	0.5%
	無回答・無効	17	2.7%
	合計	630	100.0%



n = 630

回答対象者：何かを学びたいと思っている方（問4で「1」を選択）

その他：子どものため、社会を変えるため など

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019	2012
趣味・教養を深めるため	28.3	24.3	25.8
健康の維持や体力づくりのため	12.9	18.3	24.3
生きがいづくりのため	9.8	10.9	8.7
日常生活に必要な知識・技術を身につけるため	13.7	10.1	6.2
職業生活や就職・転職に役立てるため	20.8	16.7	14.8
ボランティア活動など、地域づくりに役立てるため	2.4	3.6	3.7
展示会、発表会、試合などに役立てるため	0.2	0.1	0.5
友人を作るため	0.5	1.4	0.7
老後を豊かに過ごすため	7.0	9.8	8.7
講師や指導者として他人に指導するため	1.4	1.4	1.3
その他	0.5	2.4	2.9
無回答・無効	2.7	0.9	2.3

年齢別にみると、10歳代、40～60歳代は「趣味・教養を深めるため」、20～30歳代は「職業生活や就職・転職に役立てるため」、70歳以上は「健康の維持や体力づくりのため」が最も多くなっています。

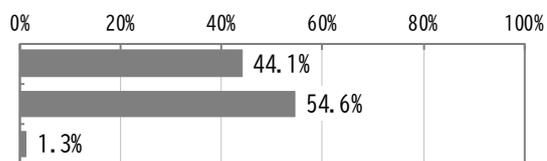
問4-4 × 年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	5	61	119	144	115	100	58	28
趣味・教養を深めるため	60.0	27.9	28.6	30.6	31.3	29.0	17.2	17.9
健康の維持や体力づくりのため	0.0	4.9	3.4	7.6	13.9	20.0	32.8	28.6
生きがいづくりのため	0.0	9.8	8.4	9.0	7.8	14.0	13.8	7.1
日常生活に必要な知識・技術を身につけるため	0.0	13.1	20.2	18.8	11.3	10.0	6.9	0.0
職業生活や就職・転職に役立てるため	40.0	37.7	31.9	27.8	19.1	6.0	0.0	0.0
ボランティア活動など、地域づくりに役立てるため	0.0	3.3	1.7	0.7	3.5	5.0	1.7	0.0
展示会、発表会、試合などに役立てるため	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
友人を作るため	0.0	1.6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	3.6
老後を豊かに過ごすため	0.0	1.6	0.0	1.4	9.6	9.0	24.1	25.0
講師や指導者として他人に指導するため	0.0	0.0	1.7	0.7	1.7	4.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	3.4	1.4	1.7	2.0	3.4	17.9

**問4-5** あなたは御自身の学習成果をつくば市のまちづくりに役立てたいと思いますか。(SA)  
 学習意向がある人の貢献意向は、「いいえ」が54.6%、「はい」が44.1%となっています。  
 過去の結果と比較すると、「はい」と回答した割合がこれまでより低くなっています。

		票数	%
1	はい	278	44.1%
2	いいえ	344	54.6%
	無回答・無効	8	1.3%
	合計	630	100.0%

n = 630



回答対象者：何かを学びたいと思っている方（問4で「1」を選択）

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019	2012
はい	44.1	49.6	54.7
いいえ	54.6	45.6	41.8
無回答・無効	1.3	4.7	3.5

年齢別にみると、全ての年齢層で「いいえ」が最も多くなっています。

問4-5 × 年齢別クロス集計 (%)

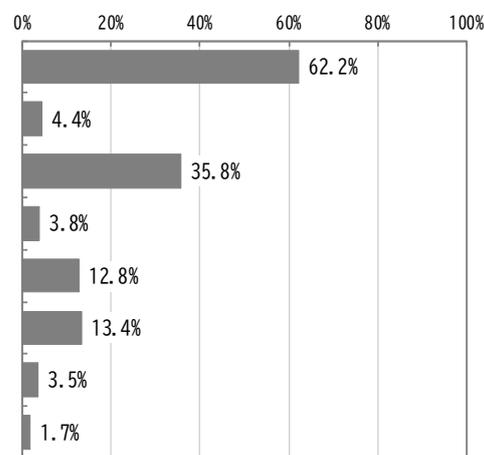
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	5	61	119	144	115	100	58	28
はい	40.0	47.5	44.5	41.7	47.8	47.0	43.1	25.0
いいえ	60.0	52.5	55.5	58.3	50.4	52.0	55.2	60.7
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.0	1.7	14.3

**問4-5① 【問4-5で「2. いいえ」を選んだ方のみ】役立てたいと思わない理由はなんですか。(MA)**

役立てたいと思わない理由は、「自己の楽しみや自主学習が目的だから」が62.2%、「自身の知識・技術が未熟だと思うから」が35.8%、「まちづくりには必要ないと思うから」が13.4%となっています。

		票数	%
1	自己の楽しみや自主学習が目的だから	214	62.2%
2	一緒に取り組む仲間がないから	15	4.4%
3	自身の知識・技術が未熟だと思うから	123	35.8%
4	役立てるために必要な情報が手に入らないから	13	3.8%
5	きっかけや機会、場がないから	44	12.8%
6	まちづくりには必要ないと思うから	46	13.4%
7	その他	12	3.5%
	無回答・無効	6	1.7%
	合計	473	137.5%

n = 344



回答対象者：役立てたいと思わない方（問4-5で「2」を選択）

その他：交通手段がない、心身等の不調がある、つくば市だけでなく全国的に役立てたい、引っ越しの予定がある など

年齢別にみると、全ての年齢層で「自己の楽しみや自主学習が目的だから」が最も多くなっています。また、10歳代は「きっかけや機会、場がないから」と「その他」も同率になっています。

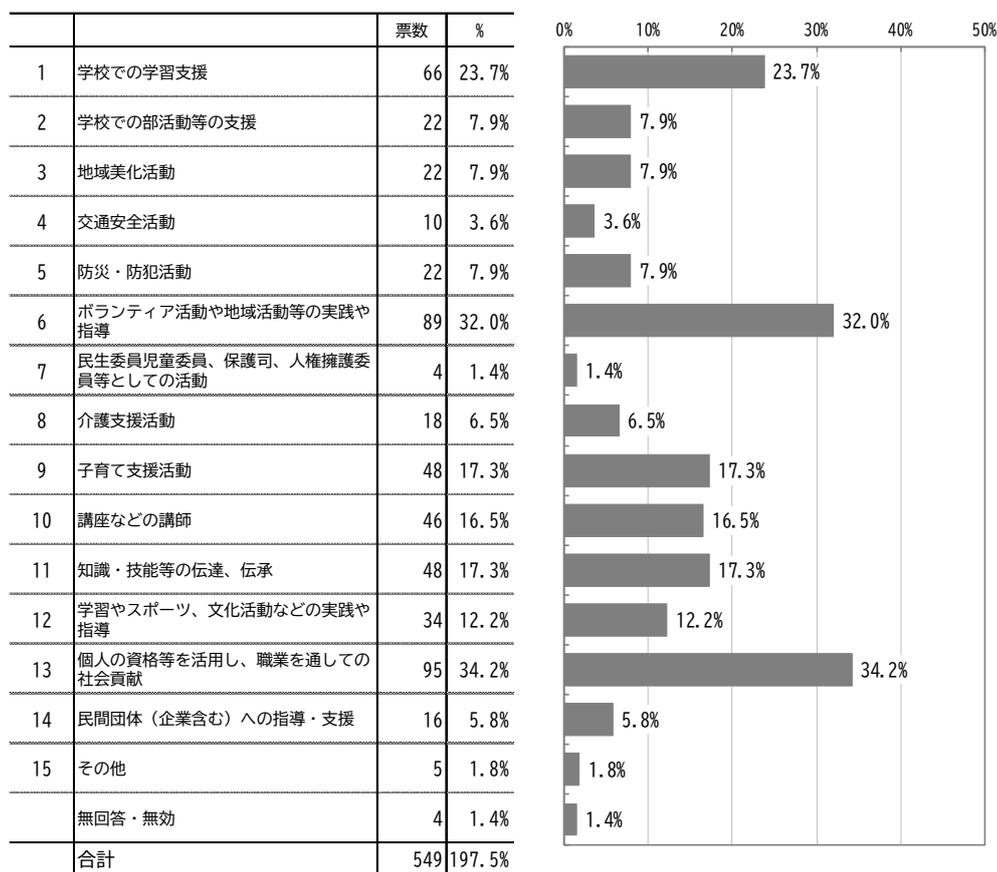
**問4-5①×年齢別クロス集計 (%)**

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	3	32	66	84	58	52	32	17
自己の楽しみや自主学習が目的だから	33.3	50.0	65.2	70.2	50.0	73.1	62.5	47.1
一緒に取り組む仲間がないから	0.0	9.4	4.5	2.4	8.6	0.0	0.0	11.8
自身の知識・技術が未熟だと思うから	0.0	43.8	45.5	32.1	41.4	30.8	25.0	23.5
役立てるために必要な情報が手に入らないから	0.0	6.3	4.5	4.8	0.0	3.8	6.3	0.0
きっかけや機会、場がないから	33.3	18.8	16.7	8.3	15.5	9.6	12.5	5.9
まちづくりには必要ないと思うから	0.0	15.6	15.2	16.7	19.0	5.8	9.4	0.0
その他	33.3	9.4	3.0	1.2	0.0	1.9	9.4	5.9
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.8	0.0	17.6

**問4-6** 【問4-5で「1. はい」を選んだ方のみ】あなたは学習の成果を地域や社会でどのような形でいかしたいと思いますか。(MA)

学習の成果をどのような形でいかしたいかという回答は「個人の資格等を活用し、職業を通しての社会貢献」が34.2%、「ボランティア活動や地域活動等の実践や指導」が32.0%、「学校での学習支援」が23.7%となっています。

過去の結果と比較すると、「個人の資格等を活用し、職業を通しての社会貢献」が「ボランティア活動や地域活動等の実践や指導」より多くなっています。



n = 278

回答対象者：役立てたい方（問4-5で「1」を選択）

その他：介護保険を使わない（健康面）、交流、国立教育政策研究所への参画、機会があればどんなことでも など

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019
学校での学習支援	23.7	22.0
学校での部活動等の支援	7.9	9.3
地域美化活動	7.9	9.3
交通安全活動	3.6	4.1
防災・防犯活動	7.9	11.9
ボランティア活動や地域活動等の実践や指導	32.0	33.3
民生委員児童委員、保護司、人権擁護委員等としての活動	1.4	4.1
介護支援活動	6.5	10.4
子育て支援活動	17.3	15.4
講座などの講師	16.5	14.8
知識・技能等の伝達、伝承	17.3	23.5
学習やスポーツ、文化活動などの実践や指導	12.2	15.7
個人の資格等を活用し、職業を通しての社会貢献	34.2	28.7
民間団体（企業含む）への指導・支援	5.8	8.4
その他	1.8	3.5
無回答・無効	1.4	0.6

年齢別にみると、10～50歳代は「個人の資格等を活用し、職業を通しての社会貢献」、60歳以上は「ボランティア活動や地域活動等の実践や指導」が最も多くなっています。また、30歳代は「子育て支援活動」、80歳以上は「地域美化活動」と「知識・技能等の伝達、伝承」も同率になっています。

問4-6×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	2	29	53	60	55	47	25	7
学校での学習支援	0.0	41.4	26.4	18.3	23.6	25.5	12.0	14.3
学校での部活動等の支援	0.0	20.7	7.5	10.0	7.3	4.3	0.0	0.0
地域美化活動	0.0	0.0	1.9	8.3	7.3	10.6	16.0	42.9
交通安全活動	0.0	0.0	0.0	3.3	9.1	6.4	0.0	0.0
防災・防犯活動	0.0	10.3	3.8	6.7	9.1	14.9	0.0	14.3
ボランティア活動や地域活動等の実践や指導	0.0	13.8	28.3	28.3	30.9	42.6	52.0	42.9
民生委員児童委員、保護司、人権擁護委員等としての活動	0.0	0.0	0.0	1.7	1.8	2.1	4.0	0.0
介護支援活動	0.0	3.4	7.5	6.7	7.3	4.3	8.0	14.3
子育て支援活動	0.0	17.2	34.0	20.0	14.5	6.4	8.0	0.0
講座などの講師	0.0	10.3	17.0	13.3	10.9	36.2	4.0	28.6
知識・技能等の伝達、伝承	0.0	20.7	15.1	20.0	12.7	19.1	12.0	42.9
学習やスポーツ、文化活動などの実践や指導	0.0	13.8	7.5	15.0	12.7	8.5	20.0	14.3
個人の資格等を活用し、職業を通しての社会貢献	100.0	44.8	34.0	38.3	45.5	19.1	12.0	28.6
民間団体（企業含む）への指導・支援	0.0	3.4	1.9	8.3	3.6	8.5	4.0	28.6
その他	0.0	3.4	1.9	1.7	0.0	2.1	4.0	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	2.1	8.0	0.0

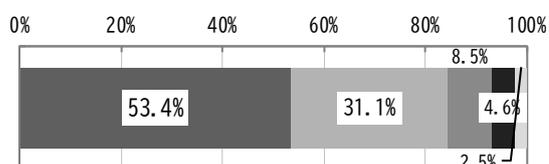
**問5** あなたは普段の生活で下記のようなことについて、どのように感じていますか。下記の質問について、4つの中から1つだけ選んで、その番号に○をつけてください。（「感じる」を1とし、「感じない」を4とします）（SA）

① 御自身のこと

御自身のことでの充実感や満足感を感じる（1～2の合計）意見は、「a. 知識を得たり技能が磨かれること」、「b. 誰かの役に立つこと」は8割以上、「c. 人や地域と関わり、関係性が広がる・深まること」は6割になっています。

a. 知識を得たり技能が磨かれることへの充実感（幸せ）

		票数	%
1	感じる	411	53.4%
2	やや感じる	239	31.1%
3	あまり感じない	65	8.5%
4	感じない	35	4.6%
	無回答・無効	19	2.5%
	合計	769	100.0%



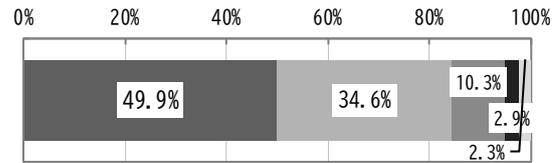
年齢別にみると、充実感（幸せ）を感じる割合（1～2の合計）は10歳代が最も多く、次いで20歳代、50歳代となっています。

問5①a × 年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
感じる	33.3	56.3	60.3	54.7	57.5	55.6	43.0	33.3	0.0
やや感じる	66.7	36.6	28.7	33.5	33.9	23.8	32.3	27.1	0.0
あまり感じない	0.0	5.6	4.4	7.5	7.1	12.7	11.8	14.6	0.0
感じない	0.0	0.0	6.6	4.3	0.8	7.1	4.3	8.3	100.0
無回答・無効	0.0	1.4	0.0	0.0	0.8	0.8	8.6	16.7	0.0

### b. 誰かの役に立つことへの満足感（幸せ）

		票数	%
1	感じる	384	49.9%
2	やや感じる	266	34.6%
3	あまり感じない	79	10.3%
4	感じない	22	2.9%
	無回答・無効	18	2.3%
	合計	769	100.0%



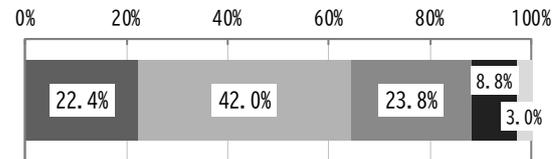
年齢別にみると、満足感（幸せ）を感じる割合（1～2の合計）は10歳代が最も多く、次いで20歳代、50歳代となっています。

問5①b×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
感じる	50.0	59.2	55.9	50.9	52.0	55.6	33.3	29.2	0.0
やや感じる	50.0	32.4	33.8	36.0	39.4	31.7	36.6	25.0	0.0
あまり感じない	0.0	5.6	5.9	9.9	7.9	10.3	22.6	14.6	0.0
感じない	0.0	0.0	4.4	3.1	0.0	1.6	2.2	12.5	100.0
無回答・無効	0.0	2.8	0.0	0.0	0.8	0.8	5.4	18.8	0.0

### c. 人や地域と関わり、関係性が広がる・深まることへの充実感（幸せ）

		票数	%
1	感じる	172	22.4%
2	やや感じる	323	42.0%
3	あまり感じない	183	23.8%
4	感じない	68	8.8%
	無回答・無効	23	3.0%
	合計	769	100.0%



年齢別にみると、充実感（幸せ）を感じる割合（1～2の合計）は20歳代が最も多く、次いで40歳代、10歳代となっています。

問5①c×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
感じる	50.0	26.8	19.9	19.3	20.5	25.4	21.5	29.2	0.0
やや感じる	16.7	43.7	46.3	47.8	40.9	37.3	40.9	29.2	0.0
あまり感じない	33.3	22.5	23.5	22.4	27.6	28.6	20.4	14.6	0.0
感じない	0.0	4.2	10.3	10.6	10.2	7.9	6.5	8.3	100.0
無回答・無効	0.0	2.8	0.0	0.0	0.8	0.8	10.8	18.8	0.0

## ② 地域のこと

地域のことが多いと感じる（1～2の合計）意見は、「a. 地域で解決したり、改善しなければならぬ問題」は4割以上、「b. 地域の行事や活動への参加」は2割、「c. 地域のリーダーとして活動している人」は1割となっています。

過去の結果と比較すると、前回と最も多い回答に変化はありません。

### a. 地域で解決したり、改善しなければならぬ問題

		票数	%
1	多い	129	16.8%
2	やや多い	225	29.3%
3	やや少ない	244	31.7%
4	少ない	143	18.6%
	無回答・無効	28	3.6%
	合計	769	100.0%



(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019	2012
多い	16.8	10.7	5.9
やや多い	29.3	21.5	20.5
やや少ない	31.7	39.9	47.0
少ない	18.6	24.9	21.7
無回答・無効	3.6	3.0	4.9

年齢別にみると、10～20歳代は「やや多い」、30歳代と60～70歳代は「やや少ない」、40～50歳代は「やや多い」と「やや少ない」が同率、80歳以上は「少ない」が最も多くなっています。

問5②a×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
多い	0.0	16.9	14.0	20.5	18.9	16.7	15.1	12.5	0.0
やや多い	83.3	36.6	30.1	30.4	32.3	28.6	20.4	16.7	0.0
やや少ない	16.7	35.2	38.2	30.4	32.3	29.4	34.4	14.6	0.0
少ない	0.0	7.0	16.2	18.6	15.7	23.8	22.6	29.2	100.0
無回答・無効	0.0	4.2	1.5	0.0	0.8	1.6	7.5	27.1	0.0

## b. 地域の行事や活動への参加

		票数	%
1	多い	39	5.1%
2	やや多い	123	16.0%
3	やや少ない	197	25.6%
4	少ない	382	49.7%
	無回答・無効	28	3.6%
	合計	769	100.0%



(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019	2012
多い	5.1	6.3	5.4
やや多い	16.0	17.0	22.1
やや少ない	25.6	29.8	34.4
少ない	49.7	44.9	34.8
無回答・無効	3.6	2.0	3.3

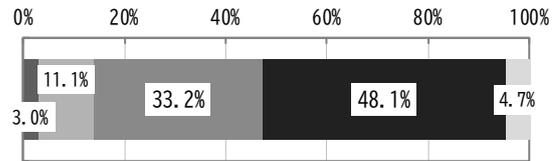
年齢別にみると、10歳代は「やや少ない」と「少ない」が同率、20～60歳代、80歳以上は「少ない」、70歳代は「やや少ない」が最も多くなっています。

問5②b×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
多い	0.0	4.2	3.7	2.5	2.4	6.3	10.8	12.5	0.0
やや多い	0.0	9.9	14.7	15.5	15.0	22.2	22.6	6.3	0.0
やや少ない	50.0	18.3	25.7	26.7	26.8	28.6	29.0	12.5	0.0
少ない	50.0	64.8	54.4	55.3	55.1	42.1	28.0	41.7	100.0
無回答・無効	0.0	2.8	1.5	0.0	0.8	0.8	9.7	27.1	0.0

### c. 地域のリーダーとして活動している人

		票数	%
1	多い	23	3.0%
2	やや多い	85	11.1%
3	やや少ない	255	33.2%
4	少ない	370	48.1%
	無回答・無効	36	4.7%
	合計	769	100.0%



(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019	2012
多い	3.0	3.4	2.6
やや多い	11.1	17.0	20.4
やや少ない	33.2	36.5	40.1
少ない	48.1	39.6	30.6
無回答・無効	4.7	3.6	6.3

年齢別にみると、10歳代、60歳代は「やや少ない」、20～50歳代、70～80歳以上は「少ない」が最も多くなっています。

問5②c × 年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
多い	0.0	2.8	1.5	1.9	3.1	5.6	2.2	6.3	0.0
やや多い	33.3	12.7	7.4	11.2	14.2	11.9	12.9	2.1	0.0
やや少ない	50.0	35.2	30.9	36.0	29.9	42.1	29.0	18.8	0.0
少ない	16.7	45.1	58.8	50.9	51.2	38.9	45.2	37.5	100.0
無回答・無効	0.0	4.2	1.5	0.0	1.6	1.6	10.8	35.4	0.0

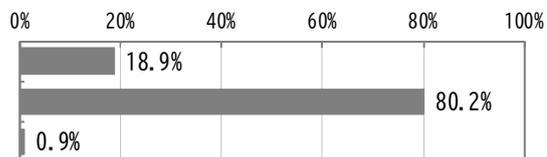
**問6** あなたは、日頃、地域団体・クラブ・サークルなどに入って活動していますか。(ただし、学校のクラブは除きます。)(SA)

日頃グループに所属して活動をしているかについては、「いいえ」が80.2%、「はい」が18.9%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	はい	145	18.9%
2	いいえ	617	80.2%
	無回答・無効	7	0.9%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019
はい	18.9	24.2
いいえ	80.2	70.7
無回答・無効	0.0	0.0

年齢別にみると、全ての年齢層で「いいえ」が最も多くなっています。

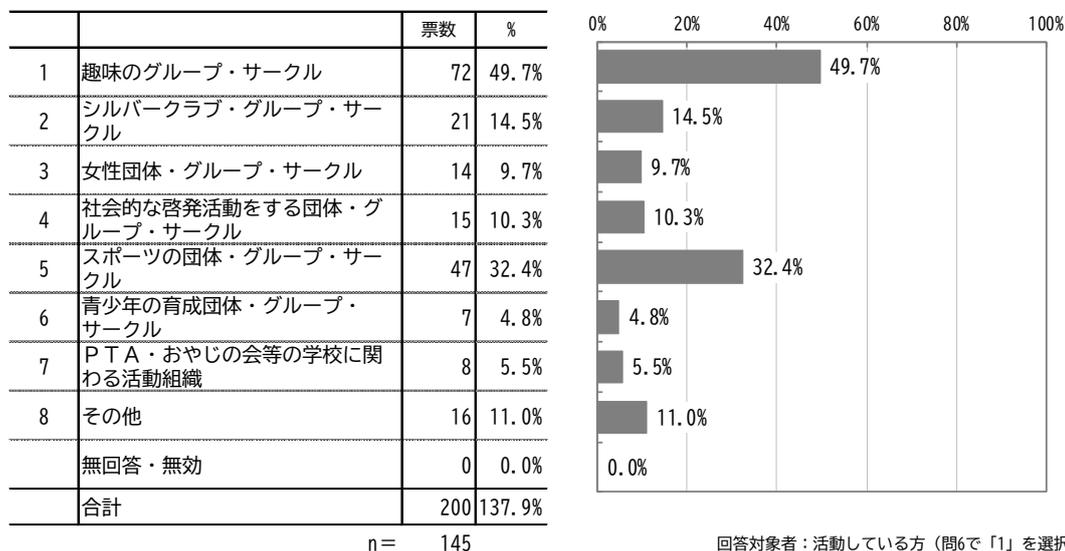
問6×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
はい	0.0	12.7	9.6	9.9	12.6	27.8	43.0	33.3	0.0
いいえ	100.0	85.9	90.4	89.4	87.4	72.2	54.8	60.4	100.0
無回答・無効	0.0	1.4	0.0	0.6	0.0	0.0	2.2	6.3	0.0

**問6-①** どのようなグループですか。(MA)

具体的に活動をしているグループは「趣味のグループ・サークル」が49.7%、「スポーツの団体・グループ・サークル」が32.4%、「シルバークラブ・グループ・サークル」が14.5%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。



その他：NPO法人、サークル（大学や企業）、骨髓バンク、団地の管理組合、区会、 など

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019
趣味のグループ・サークル	49.7	47.9
シルバークラブ・グループ・サークル	14.5	12.6
女性団体・グループ・サークル	9.7	3.7
社会的な啓発活動をする団体・グループ・サークル	10.3	12.6
スポーツの団体・グループ・サークル	32.4	35.8
青少年の育成団体・グループ・サークル	4.8	2.3
P T A・おやじの会等の学校に関わる活動組織	5.5	-
その他	11.0	7.4
無回答・無効	0.0	0.0

年齢別にみると、50歳代は「スポーツの団体・グループ・サークル」、その他の年齢層では「趣味のグループ・サークル」が最も多くなっています。

問6-①×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	0	9	13	16	16	35	40	16
趣味のグループ・サークル	0.0	55.6	69.2	50.0	31.3	42.9	47.5	68.8
シルバークラブ・グループ・サークル	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	5.7	32.5	31.3
女性団体・グループ・サークル	0.0	22.2	0.0	6.3	6.3	11.4	12.5	6.3
社会的な啓発活動をする団体・グループ・サークル	0.0	11.1	0.0	0.0	6.3	14.3	17.5	6.3
スポーツの団体・グループ・サークル	0.0	33.3	30.8	12.5	50.0	22.9	45.0	25.0
青少年の育成団体・グループ・サークル	0.0	11.1	0.0	6.3	12.5	5.7	0.0	6.3
P T A・おやじの会等の学校に関わる活動組織	0.0	0.0	15.4	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	7.7	12.5	12.5	20.0	10.0	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

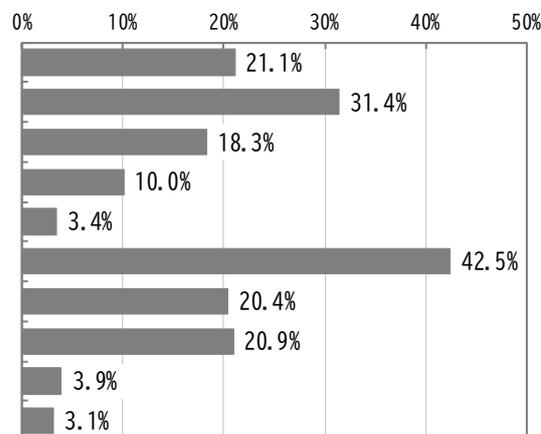
**問6-②** なぜ入っていないのですか。(MA)

グループに入らない理由については、「忙しくて入れない」が42.5%、「どんな活動があるか知らない」が31.4%、「そういうことが好きではない」が21.1%となっています。

過去の結果と比較すると、最も多い回答に変化はありません。

		票数	%
1	そういうことが好きではない	130	21.1%
2	どんな活動があるか知らない	194	31.4%
3	誘われたことがない	113	18.3%
4	病気や心身等の不調	62	10.0%
5	費用が高い	21	3.4%
6	忙しくて入れない	262	42.5%
7	近くに適切な活動がない	126	20.4%
8	そういうことを考えたことがない	129	20.9%
9	その他	24	3.9%
	無回答・無効	19	3.1%
	合計	1,080	175.0%

n = 617



回答対象者：活動していない方（問6で「2」を選択）

その他：家族の介護や子育てがあるため、移動手段がないため、個人で活動しているため、コロナでサークルがなくなったため、入る勇気がない

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019
そういうことが好きではない	21.1	14.6
どんな活動があるか知らない	31.4	-
誘われたことがない	18.3	10.3
病気や心身等の不調	10.0	-
費用が高い	3.4	-
忙しくて入れない	42.5	42.9
近くに適切な活動がない	20.4	24.0
そういうことを考えたことがない	20.9	20.2
その他	3.9	8.9
無回答・無効	3.1	7.6

年齢別にみると、10歳代、30～60歳代は「忙しくて入れない」、20歳代は「どんな活動があるか知らない」、70歳以上は「病気や心身等の不調」が最も多くなっています。

問6-②×年齢別クロス集計 (%)

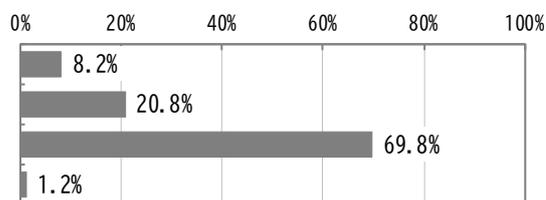
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	61	123	144	111	91	51	29	1
そういうことが好きではない	16.7	13.1	23.6	18.8	25.2	20.9	27.5	13.8	0.0
どんな活動があるか知らない	16.7	42.6	36.6	34.7	28.8	31.9	13.7	13.8	0.0
誘われたことがない	0.0	19.7	26.8	18.1	15.3	16.5	7.8	20.7	0.0
病気や心身等の不調	0.0	6.6	4.1	3.5	7.2	6.6	33.3	58.6	0.0
費用が高い	0.0	1.6	6.5	6.3	0.9	2.2	0.0	0.0	0.0
忙しくて入れない	66.7	41.0	50.4	54.9	44.1	33.0	21.6	6.9	0.0
近くに適切な活動がない	16.7	16.4	24.4	21.5	18.9	17.6	23.5	17.2	0.0
そういうことを考えたことがない	0.0	32.8	26.0	17.4	19.8	23.1	13.7	6.9	0.0
その他	16.7	6.6	1.6	1.4	9.9	2.2	2.0	3.4	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	2.1	6.3	3.3	5.9	6.9	100.0

**問7** 学校と地域が連携して学校運営を行う「コミュニティ・スクール<sup>※1</sup>」の取組を知っていますか。(SA)

コミュニティ・スクールは「知らない」が69.8%、「言葉のみ知っている」が20.8%、「言葉も取組内容も知っている」が8.2%となっています。

		票数	%
1	言葉も取組内容も知っている	63	8.2%
2	言葉のみ知っている	160	20.8%
3	知らない	537	69.8%
	無回答・無効	9	1.2%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

年齢別にみると、全ての年齢層で「知らない」が最も多くなっています。

問7×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
言葉も取組内容も知っている	0.0	8.5	5.1	9.9	11.8	6.3	9.7	4.2	0.0
言葉のみ知っている	16.7	14.1	20.6	17.4	20.5	23.0	30.1	20.8	0.0
知らない	83.3	76.1	74.3	72.0	67.7	69.8	57.0	68.8	100.0
無回答・無効	0.0	1.4	0.0	0.6	0.0	0.8	3.2	6.3	0.0

**※1 「コミュニティ・スクール」とは**

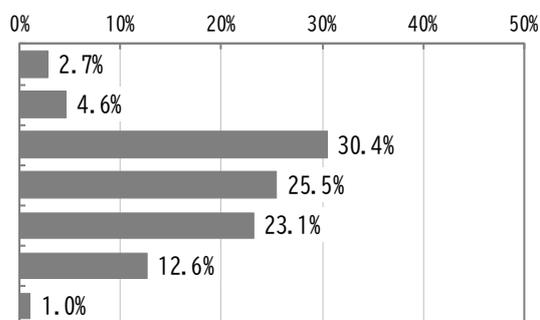
学校運営協議会（保護者や地域住民などが委員）を設置している学校のことです。学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みのことです。

本市では令和5年度までに9学園で導入しており、令和7年度までにすべての学園で導入予定です。

**問8** 学校と地域が連携・協働して、登下校の見守りやあいさつ運動、地域資源をいかした体験活動や校外学習のボランティア、職場体験の手伝いなど、様々な活動（地域学校協働活動※2）に取り組んでいます。あなたのお住まいの地域で、このような活動がある場合、参加したいと思いますか。（SA）

地域学校協働活動は「活動内容によっては参加したい」が30.4%、「参加したいが難しい」が25.5%、「参加したいとは思わない」が23.1%となっています。

		票数	%
1	現時点で参加したい	21	2.7%
2	今後参加したい	35	4.6%
3	活動内容によっては参加したい	234	30.4%
4	参加したいが難しい	196	25.5%
5	参加したいとは思わない	178	23.1%
6	わからない	97	12.6%
	無回答・無効	8	1.0%
	合計	769	100.0%



n = 769

回答対象者：全員

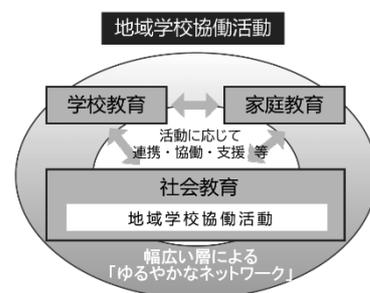
年齢別にみると、10～20歳代、40～50歳代は「活動内容によっては参加したい」、30歳代、70～80歳以上は「参加したいが難しい」が最も多く、60歳代は「活動内容によっては参加したい」と「参加したいが難しい」が同率になっています。

問8×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
現時点で参加したい	0.0	4.2	2.9	3.1	1.6	2.4	4.3	0.0	0.0
今後参加したい	0.0	5.6	4.4	2.5	3.9	8.7	3.2	4.2	0.0
活動内容によっては参加したい	50.0	33.8	26.5	36.6	34.6	27.8	26.9	16.7	0.0
参加したいが難しい	33.3	15.5	27.9	25.5	22.0	27.8	28.0	31.3	0.0
参加したいとは思わない	16.7	26.8	25.0	21.1	26.0	19.0	21.5	25.0	100.0
わからない	0.0	12.7	13.2	10.6	11.8	14.3	11.8	18.8	0.0
無回答・無効	0.0	1.4	0.0	0.6	0.0	0.0	4.3	4.2	0.0

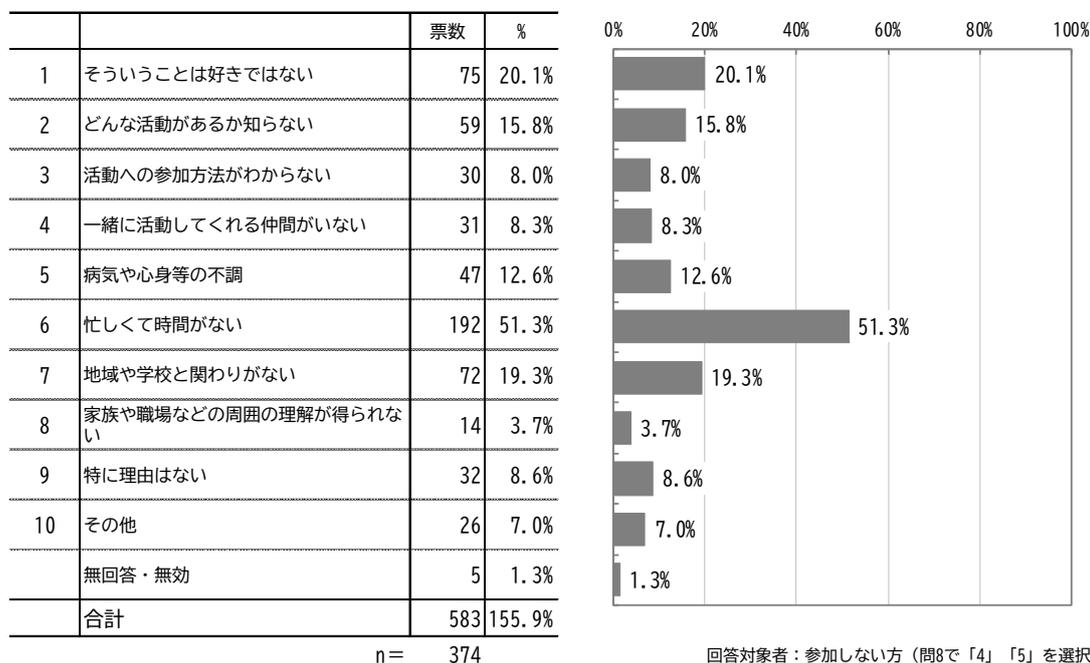
※2 「地域学校協働活動」とは

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等が参画して、「地域全体で子ども達の学びや成長」を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を進めるために、地域と学校がパートナーとなり、相互に連携・協働して行う様々な活動（ボランティア）のことで。本活動は原則、どなたでも参加可能です。コミュニティ・スクールと本活動は、一体的に推進されることが望ましいと考えられます。（もしくは一体的に推進されています。）



**問8-① 【問8で「4. 参加したいが難しい」、「5. 参加したいとは思わない」を選んだ方のみ】**  
**その理由は何ですか。(MA)**

参加をしない理由は「忙しくて時間がない」が 51.3%、「そういうことは好きではない」が 20.1%、「地域や学校と関わりがない」が 19.3%となっています。



その他：家族の介護や子どもの世話がある、日本語がうまく話せない、活動中に（事故等で）責任が発生するのが怖い、平日は動いている、住まいから遠い、一度参加したら一生やめられないと思うから、子供が苦手 など

年齢別にみると、20～60歳代は「忙しくて時間がない」、70歳以上は「病気や心身等の不調」が最も多く、10歳代は「活動への参加方法がわからない」、「一緒に活動してくれる仲間がいない」、「地域や学校と関わりがない」、「特に理由はない」、「その他」が同率になっています。

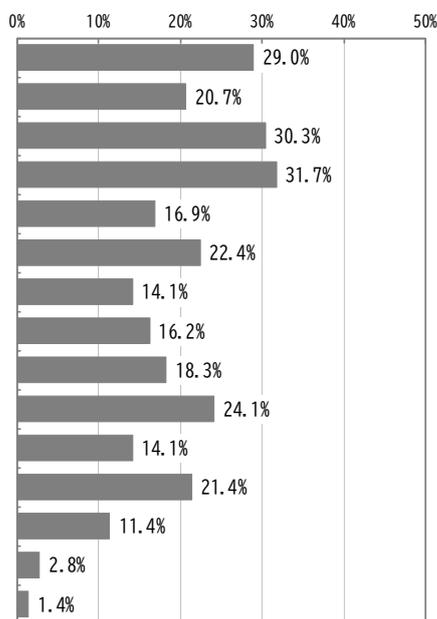
問8-①×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	3	30	72	75	61	59	46	27	1
そういうことは好きではない	0.0	26.7	22.2	20.0	26.2	22.0	10.9	7.4	0.0
どんな活動があるか知らない	0.0	20.0	22.2	17.3	11.5	15.3	8.7	14.8	0.0
活動への参加方法がわからない	33.3	6.7	9.7	10.7	4.9	6.8	10.9	0.0	0.0
一緒に活動してくれる仲間がいない	33.3	10.0	8.3	9.3	8.2	8.5	4.3	7.4	0.0
病気や心身等の不調	0.0	3.3	4.2	2.7	4.9	8.5	43.5	48.1	0.0
忙しくて時間がない	0.0	56.7	68.1	68.0	52.5	49.2	28.3	3.7	0.0
地域や学校と関わりがない	33.3	23.3	20.8	14.7	21.3	22.0	15.2	18.5	0.0
家族や職場などの周囲の理解が得られない	0.0	0.0	9.7	6.7	1.6	1.7	0.0	0.0	0.0
特に理由はない	33.3	6.7	5.6	2.7	9.8	8.5	8.7	25.9	100.0
その他	33.3	6.7	8.3	5.3	9.8	5.1	4.3	7.4	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	3.4	0.0	7.4	0.0

**問8-1** 【問8で「1. 現時点で参加したい」、「2. 今後参加したい」、「3. 活動内容によっては参加したい」を選んだ方のみ】具体的にどのような活動に参加したいと思いますか。(MA)  
 具体的に参加したい活動は「学校行事の手伝い」が31.7%、「学校周辺の美化活動」が30.3%、「登下校や休み時間の見守り活動」が29.0%となっています。

		票数	%
1	登下校や休み時間の見守り活動	84	29.0%
2	あいさつ運動	60	20.7%
3	学校周辺の美化活動	88	30.3%
4	学校行事の手伝い	92	31.7%
5	図書整備や読み聞かせボランティア	49	16.9%
6	学習支援ボランティア	65	22.4%
7	外国人児童への日本語学習ボランティア	41	14.1%
8	ゲストティーチャーとして授業等への協力	47	16.2%
9	地域・町探検の協力	53	18.3%
10	校外学習でのボランティア	70	24.1%
11	地域資源をいかした体験活動への協力	41	14.1%
12	職場見学・体験等のキャリア学習への協力	62	21.4%
13	家庭科の実習サポート（裁縫・調理）	33	11.4%
14	その他	8	2.8%
	無回答・無効	4	1.4%
	合計	797	274.8%

n = 290



回答対象者：参加したい方（問8で「1」「2」「3」を選択）

その他：つくばね学の講師、英語の読み聞かせ、昔ながらの遊び（竹馬、ペーゴマ、メンコ）、デザインやSNS運用のアドバイス など

年齢別にみると、10～40歳代、80歳以上は「学校行事の手伝い」、50歳代は「学校周辺の美化活動」、60歳代は「校外学習でのボランティア」、70歳代は「あいさつ運動」が最も多くなっています。

問8-1 × 年齢別クロス集計 (%)

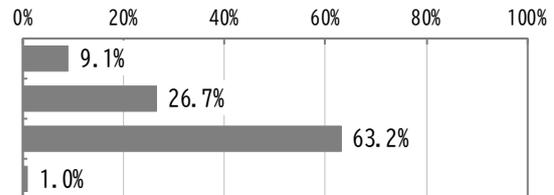
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数 (n)	3	31	46	68	51	49	32	10
登下校や休み時間の見守り活動	0.0	19.4	34.8	35.3	25.5	28.6	28.1	20.0
あいさつ運動	0.0	3.2	21.7	23.5	15.7	22.4	43.8	0.0
学校周辺の美化活動	33.3	12.9	34.8	41.2	27.5	30.6	28.1	10.0
学校行事の手伝い	66.7	38.7	43.5	42.6	23.5	20.4	12.5	30.0
図書整備や読み聞かせボランティア	0.0	12.9	19.6	13.2	23.5	20.4	12.5	10.0
学習支援ボランティア	0.0	32.3	28.3	22.1	21.6	22.4	12.5	10.0
外国人児童への日本語学習ボランティア	0.0	22.6	15.2	7.4	19.6	12.2	18.8	0.0
ゲストティーチャーとして授業等への協力	0.0	25.8	4.3	23.5	13.7	20.4	9.4	10.0
地域・町探検の協力	0.0	16.1	26.1	22.1	23.5	12.2	9.4	0.0
校外学習でのボランティア	0.0	25.8	26.1	23.5	23.5	36.7	12.5	0.0
地域資源をいかした体験活動への協力	0.0	12.9	28.3	13.2	7.8	16.3	6.3	10.0
職場見学・体験等のキャリア学習への協力	33.3	32.3	32.6	26.5	15.7	14.3	3.1	20.0
家庭科の実習サポート（裁縫・調理）	0.0	9.7	13.0	13.2	15.7	8.2	6.3	10.0
その他	0.0	0.0	4.3	2.9	3.9	2.0	0.0	10.0
無回答・無効	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	3.1	20.0

つくば市の生涯学習についてお伺いします

**問9** つくば市では、生涯学習や社会教育の充実により、市民一人ひとりの「社会力<sup>※3</sup>」を高めるよう取り組んでいます。あなたは「社会力」という考え方を知っていますか（見聞きしたことがありますか）。(SA)

「社会力」という考え方については「知らない」が63.2%、「言葉のみ知っている」が26.7%、「言葉も考え方も知っている」が9.1%となっています。

		票数	%
1	言葉も考え方も知っている	70	9.1%
2	言葉のみ知っている	205	26.7%
3	知らない	486	63.2%
	無回答・無効	8	1.0%
	合計	769	100.0%



n = 769

回答対象者：全員

年齢別にみると、全ての年齢層で「知らない」が最も多く、特に30歳代が7割以上となっています。

問9×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
言葉も考え方も知っている	0.0	5.6	6.6	6.8	15.0	7.1	14.0	10.4	0.0
言葉のみ知っている	33.3	26.8	18.4	23.6	27.6	32.5	31.2	33.3	0.0
知らない	66.7	64.8	75.0	68.9	57.5	59.5	52.7	52.1	100.0
無回答・無効	0.0	2.8	0.0	0.6	0.0	0.8	2.2	4.2	0.0

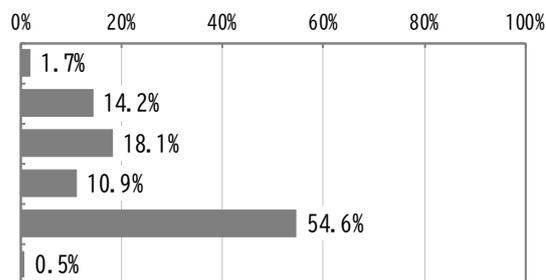
**※3 「社会力」とは**

これまで、色々な場所や機会に学んで身につけた知識や技能などを、自分の人生を豊かにするだけでなく、他の人の人生を豊かにするために、お互いを役立て、そうすることで住みよい地域や社会を作ろうとする意識やそれを実行する力のことです。

**問10** あなたのお住まいの地域は、「社会力」がいかされた地域になっていると思いますか。(SA)  
「わからない」が54.6%、「どちらかと言えばなっていない」18.1%、「どちらかと言えばなっている」が14.2%となっています。

		票数	%
1	なっている	13	1.7%
2	どちらかと言えばなっている	109	14.2%
3	どちらかと言えばなっていない	139	18.1%
4	なっていない	84	10.9%
5	わからない	420	54.6%
	無回答・無効	4	0.5%
	合計	769	100.0%

n = 769



回答対象者：全員

年齢別にみると、全ての年齢層で「わからない」が最も多くなっています。

問10×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
なっている	0.0	2.8	2.9	1.9	0.8	0.8	0.0	4.2	0.0
どちらかと言えばなっている	33.3	19.7	19.1	13.7	15.7	10.3	9.7	6.3	0.0
どちらかと言えばなっていない	16.7	18.3	11.8	15.5	21.3	19.8	25.8	16.7	0.0
なっていない	0.0	11.3	12.5	14.3	10.2	7.1	8.6	12.5	0.0
わからない	50.0	45.1	53.7	54.7	52.0	61.9	53.8	60.4	100.0
無回答・無効	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0

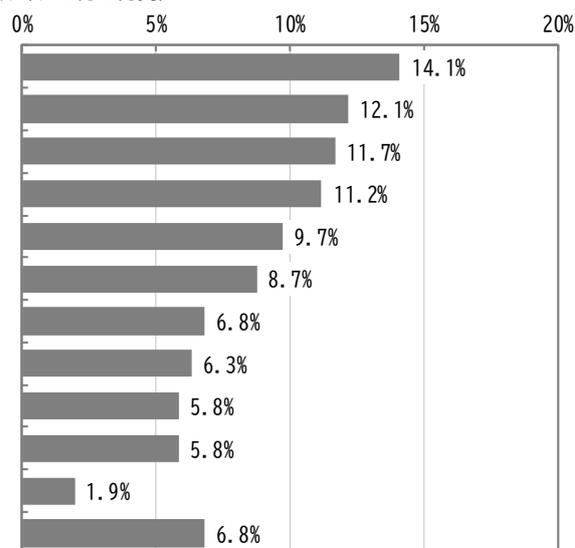
**問11** あなたは、市民の「社会力」を高めるために、どのようなことをしたらよいと思いますか。  
提案やアイデアなどを、御自由にお書きください。(FA)

御意見を分類別にしたところ、「交流」に関する意見が14.1%、「学ぶ機会を増やす」ことに関する意見が12.1%、「情報発信」に関する意見が11.7%となっています。

分類別上位順 (自由回答記述をカテゴリー別にして算出。複数の分類に該当する物は再掲)

	票数	%
交流	29	14.1%
学ぶ機会を増やす	25	12.1%
情報発信	24	11.7%
学んだことを生かす場・機会	23	11.2%
地域・地区	20	9.7%
サポート	18	8.7%
場の提供	14	6.8%
社会力の認知度向上	13	6.3%
具体的な活動内容の提案	12	5.8%
活動ができない理由	12	5.8%
産官学連携	4	1.9%
その他	14	6.8%
合計	194	-

n = 206



回答対象者：全員

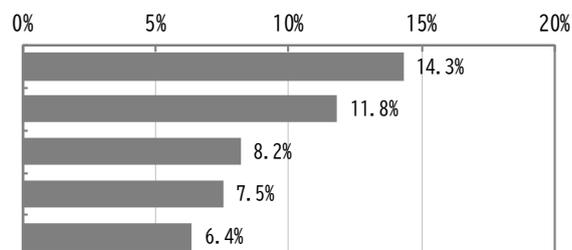
詳細は 50 ページに記載

**問12** あなたが、下記の選択項目で、今後つくば市に力をいれて欲しいと思う取組はどれですか。  
3つ選んで力をいれて欲しい順に番号を御記入してください。(1つや2つでもかまいません) (MA)

1番力をいれて欲しい取組は、「子育てにいかせる学習の機会をつくる」が14.3%、「仕事にいかせる学習の機会をつくる」が11.8%、「地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する」が8.2%となっています。

<1番力をいれて欲しい取組 上位5分野>

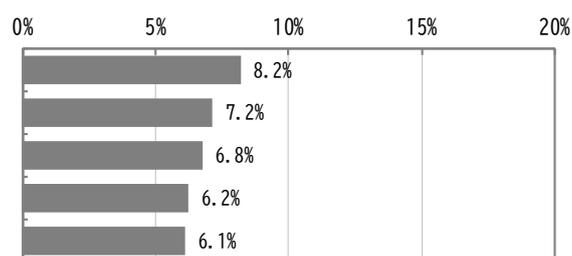
		票数	%
2	子育てにいかせる学習の機会をつくる	110	14.3%
1	仕事にいかせる学習の機会をつくる	91	11.8%
8	地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する	63	8.2%
16	公共施設をより手軽に利用できるようにする	58	7.5%
4	自然環境の保全への理解と関心を深める機会をつくる	49	6.4%



2番目に力をいれて欲しい取組は、「防災のことを学習できる機会をつくる」が8.2%、「地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する」が7.2%、「学習や文化・趣味・スポーツなど多くの情報を市民に知らせる」が6.8%となっています。

<2番目に力をいれて欲しい取組 上位5分野>

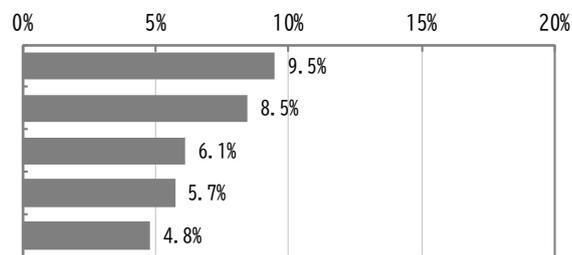
		票数	%
7	防災のことを学習できる機会をつくる	63	8.2%
8	地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する	55	7.2%
15	学習や文化・趣味・スポーツなど多くの情報を市民に知らせる	52	6.8%
4	自然環境の保全への理解と関心を深める機会をつくる	48	6.2%
16	公共施設をより手軽に利用できるようにする	47	6.1%



3番目に力をいれて欲しい取組は、「公共施設をより手軽に利用できるようにする」が9.5%、「学習や文化・趣味・スポーツなど多くの情報を市民に知らせる」が8.5%、「地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する」が6.1%となっています。

<3番目に力をいれて欲しい取組 上位5分野>

		票数	%
16	公共施設をより手軽に利用できるようにする	73	9.5%
15	学習や文化・趣味・スポーツなど多くの情報を市民に知らせる	65	8.5%
8	地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する	47	6.1%
13	資格や免許が取得できる講習会を開催・充実する	44	5.7%
4	自然環境の保全への理解と関心を深める機会をつくる	37	4.8%



全体※1でみると、「子育てにいかせる学習の機会をつくる」が最も多くなっています。

過去の結果と比較すると、今回の追加項目である「子育てにいかせる学習の機会をつくる」が「公共施設をより手軽に利用できるようにする」より多くなっています。

(参照) 過去の結果との推移 (%)

	2024	2019
仕事にいかせる学習の機会をつくる	18.9	21.9
子育てにいかせる学習の機会をつくる	23.8	-
市民と外国人の交流の機会をつくる	11.6	12.5
自然環境の保全への理解と関心を深める機会をつくる	17.4	21.6
科学技術について市民の理解と関心を深める機会をつくる	13.7	12.9
地域のことを学習できる機会をつくる	14.2	-
防災のことを学習できる機会をつくる	16.9	-
地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する	21.5	32.1
市内の大学・研究機関との連携を進める	13.8	20.7
文化財の保存・保護を進める	17.4	11.1
地域の祭り・伝統行事の継承を進める	12.1	
個人の学習成果や技能を活かせる場や機会をつくる	7.5	-
資格や免許が取得できる講習会を開催・充実する	15.3	23.5
指導者やボランティアの育成・支援を進める	7.2	11.7
学習や文化・趣味・スポーツなど多くの情報を市民に知らせる	21.5	40.7
公共施設をより手軽に利用できるようにする	23.1	43.7
その他	3.9	6.3
無回答・無効	6.5	8.3

(※1 全体については、過去の結果に合わせて1～3位（力をいれてほしいもの）の順位に関わらず、選択した票の合計が多い順に掲載しています。)

年齢別にみると、10歳代は「資格や免許が取得できる講習会を開催・充実する」、30～40歳代は「子育てにいかせる学習の機会をつくる」、20歳代は「子育てにいかせる学習の機会をつくる」と「公共施設をより手軽に利用できるようにする」が同率、50歳代は「仕事にいかせる学習の機会をつくる」、60歳代以上は「地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する」が最も多くなっています。

問12（総数）×年齢別クロス集計 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答・無効
回答数 (n)	6	71	136	161	127	126	93	48	1
仕事にいかせる学習の機会をつくる	33.3	22.5	30.9	23.0	23.6	10.3	2.2	6.3	0.0
子育てにいかせる学習の機会をつくる	0.0	31.0	50.0	33.5	11.8	8.7	9.7	8.3	0.0
市民と外国人の交流の機会をつくる	33.3	16.9	14.0	15.5	10.2	7.1	7.5	4.2	0.0
自然環境の保全への理解と関心を深める機会をつくる	16.7	8.5	9.6	13.0	16.5	27.0	25.8	29.2	0.0
科学技術について市民の理解と関心を深める機会をつくる	0.0	18.3	15.4	18.6	12.6	11.1	7.5	8.3	0.0
地域のことを学習できる機会をつくる	0.0	9.9	11.0	14.9	10.2	19.8	16.1	20.8	0.0
防災のことを学習できる機会をつくる	0.0	12.7	11.8	12.4	21.3	23.0	25.8	10.4	0.0
地域交流センター（旧公民館）などの公共施設で行う講座・講習会を開催・充実する	0.0	8.5	13.2	13.0	20.5	30.2	40.9	37.5	0.0
市内の大学・研究機関との連携を進める	16.7	14.1	16.2	13.0	15.7	17.5	5.4	10.4	0.0
文化財の保存・保護を進める	16.7	0.0	2.2	3.1	8.7	5.6	6.5	6.3	0.0
地域の祭り・伝統行事の継承を進める	0.0	9.9	12.5	13.0	13.4	10.3	16.1	6.3	0.0
個人の学習成果や技能を活かせる場や機会をつくる	0.0	15.5	8.8	8.1	6.3	4.0	7.5	4.2	0.0
資格や免許が取得できる講習会を開催・充実する	66.7	19.7	19.1	17.4	20.5	11.9	4.3	2.1	0.0
指導者やボランティアの育成・支援を進める	0.0	7.0	4.4	8.1	7.9	9.5	8.6	2.1	0.0
学習や文化・趣味・スポーツなど多くの情報を市民に知らせる	16.7	12.7	24.3	27.3	19.7	21.4	21.5	12.5	0.0
公共施設をより手軽に利用できるようにする	33.3	31.0	23.5	26.1	22.0	20.6	21.5	12.5	0.0
その他	0.0	1.4	5.1	4.3	3.9	4.0	4.3	2.1	0.0
無回答・無効	0.0	4.2	1.5	1.9	6.3	5.6	11.8	31.3	100.0

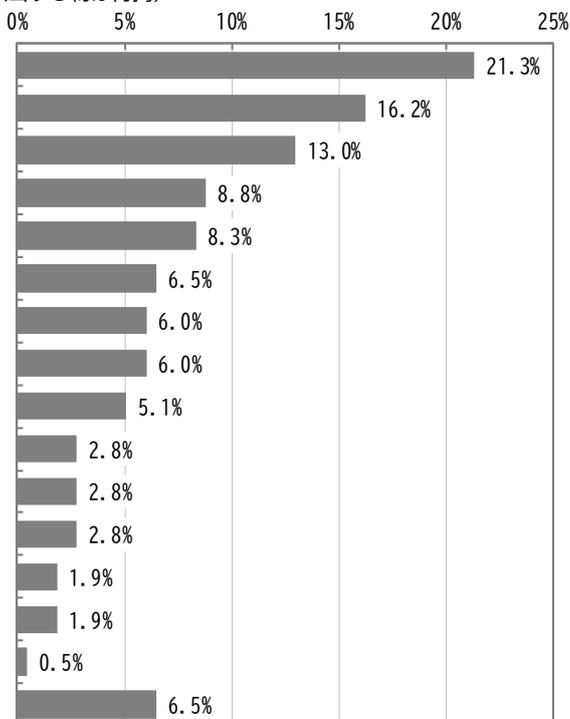
**問 13** 最後に、あなたのライフステージ（性別・年齢・職業等）の観点から、ここまで伺ってきたような生涯学習全般について自由に御記入ください。（FA）

御意見を分類別にしたところ、「講座やイベントについて」が 21.3%、「今後取り組みたいこと」が 16.2%、「情報発信について」が 13.0%となっています。

分類別上位順（自由回答記述をカテゴリー別にして算出。複数の分類に該当する物は再掲）

	票数	%
講座やイベントについて	46	21.3%
今後取り組みたいこと	35	16.2%
情報発信について	28	13.0%
生涯学習の環境づくり	19	8.8%
生涯学習のあり方	18	8.3%
子どもの学習・教育	14	6.5%
子育て世代のサポート	13	6.0%
時間がない・できない	13	6.0%
施設全般に関すること	11	5.1%
地域・地区について	6	2.8%
大学や研究機関について	6	2.8%
交流の場	6	2.8%
生涯学習のアイデア	4	1.9%
外国人に関すること	4	1.9%
障がい者に関すること	1	0.5%
その他	14	6.5%
合計	238	-

n = 216



回答対象者：全員

**詳細は 60 ページに記載**

### (3) 自由回答

#### 自由回答① 問 11 市民の「社会力」を高めるためにしたらよいと思うこと

御意見は項目ごとになるべく原文のまま掲載していますが、一部意見の趣旨を損なわない程度に表現を変えて表記していたり、分割していたりする場合があります。

#### ■交流

##### 【若者・働き世代】

- ・ 政治は政治、個人は個人という考えが強いので具体的な方法までおろして身の回りにあるとよいのでは。例)「地域安全のため防犯、見回りの強化を！」→「地元小学校で挨拶強化月間につき、暖かい対応、声かけをお願いします」等。仕事をしていると同職種で集まることが多いため、まったく関係のない職種が集まると互いのことを知り強みを活かせるのではないか。市民公開講座でも、交流時間を作ると話が広がることもある。ファミリーデータを入れるのも良いのでは。
- ・ 若い親世代を取り込む
- ・ 知識や技能を活かした社会力を培う前に、慈善的精神の涵養が必要。的を射た答えではないと思うが、一例として、つくば市のネット掲示板のなかに茨城県やつくば市特有の献立の投稿スペースを作り、活用者が同じ地区の利用者を認知すれば、地区の抱える課題への対処へも興味を持ち始めるのではないか。無理に煽るのでなく、自身の生活に直結する物事に他者の必要性を感じさせる仕組みを作ること、社会力醸成の基盤ができる
- ・ 気軽に行けるイベントで交流会的な。
- ・ ご近所付き合いを活発にする
- ・ 人と人を結びつける場所を作ってほしい
- ・ 子どもがいない家庭は、地域との交流がなく、地区の集まりもないので、もう少し交流の場があってもいいと思う。
- ・ 祭りつくばのような大々的なものだけでなくそれ以外にも小さな催しや祭りのようなものがあって、年配の方の経験や世代を超えた交流ができるといい。年配の方がたにもう少し気軽に色々学びたい。世代の断絶をしていてはもったいない。
- ・ 幅の広い年齢層を持つコミュニティの構築
- ・ 私の周りは、他の地域の出身者がほとんどで、『コミュニティ』形成があまりされていない。『社会力』というよりは、まずはコミュニティ形成を優先すべきだと考える。
- ・ 個々の市民が社会力をつけてもコミュニケーションをとり合わなければ意味がないのでは。

##### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 教育局生涯学習推進課が市内で活動している様々な団体と密につながり、意見交換や相談をしていくといいと思います。
- ・ 地域のイベントを作る。子ども～高齢者まで参加できるイベント・行事を行い、地域にどんな人が住んでいるのか知る機会を増やす。
- ・ 新興住宅地に住んでいるので、子どもたちがお年寄りと関わる機会が少ない。なので地域の高齢の方たちと交流をもてる場があればうれしい（地域全体での掃除や地域対抗の運動会、正月遊びを教えてもらう、民話や昔話を教えてもらうなど）
- ・ どうしたら良いか分からない。また、周囲を見ると、あまり積極的にコミュニティに参加したがない人も多い。
- ・ お年寄りと子供が触れ合う活動を増やしたい
- ・ まずは互いを知ること
- ・ いろんな世代の人たちがつながる場が必要だと思う。
- ・ ボランティアを通じた住民の交流

##### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 自治会と子供会の交流の充実

- ・ コロナ以降、自治会、学校行事が省略化されてしまい慣れてしまっている。もっと近隣住民の交流ができるような市主導の活動を期待します。リーダー養成等
- ・ 地域ごとの小さな懇親会を増やす
- ・ 学園地区の都市化しており、旧地域との差が大きくなっている。どうしたらこれをうめることができるかを学生と社会人と高齢者などで話す機会が必要であると思う。
- ・ コロナ禍より地域のコミュニケーションが取りづらくなった。これまでの地域の行事（お祭り等）の復活を進められたら良い。
- ・ 自発的な協力体制ができるとよいと思います。しかし、具体的な方策が思いつきません。
- ・ 地区の公民館を利用し、月に1度でも集まり、話し合いをしたい。
- ・ 人と人のつながりを必要と思います。時間がかかるとは思いますが社会力とても必要だと思います
- ・ もっと友と友・親と子・先生と児童が交流できる機会を作ってもらえたらと思います。
- ・ 「社会力」の拡大に賛同する。しかし回りに「自分の知識」が理解出来る人が少ない。

## ■学ぶ機会を増やす

### 【若者・働き世代】

- ・ お金や積立 NISA 等の金融リテラシーを高めるために学ぶ機会を増やすと良いと思います
- ・ つくば市に転居した理由が、“駅チカに図書館がある”、“個人レベルから大手まで様々な規模の書店がある”、“植物園や博物館などが充実している”といった点で一人住まいでも生涯学習ができることだった。実際住んでみると、幼児～学生向けのイベントが多く、大人を対象にした学習・体験イベントがより増えると嬉しい。最近だと産総研の一般公開イベントがとてよかった
- ・ 活動など知らない人をわかるようにするのが必要かと思えます。
- ・ 習いごとの場所を増やす。生涯学習、社会教育の要素はあまり高くなくても良いがイベント等を積極的に行うべき
- ・ 参加しやすい催し物を企画する。
- ・ 外国の方に、日本でのマナーや生活に必要なスキルを教えてあげた方が良い。地域で協力して社会力を高めるためには、つくば市が主体となって進めて行かなければならない。特に中国人は本当に大声で騒いだり、心にゆとりのある生活が維持できなくなっている。
- ・ 地域であれば、地域住民が知りあえる機会があるとよい。私の住んでいる所は比較的、学校などの繋がり知り合い、その後も関係が続くことが多い。地域でのイベントがもう少しあればきっかけ作りとして私自身も参加してみたい。
- ・ 研究機関が多いので、エキスパートの方の協力のもと更に子供達に学びの選択肢を増やして欲しい。そのような機会は子供から以前聞いていますが、意外と回数が少ないように感じる。
- ・ 今の子供たちは、いろいろ昔の事など知らなすぎる。おもちはどうやって出来るとか、体験出来る所が少ないので勉強も大事だけれど稲刈りとか体験する場所にお年寄りなどから学べるといいと思う

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 多くのイベントや子供が参加できるもの
- ・ 基礎教育の充実
- ・ きっかけがない、敷居が高いと思って行動に移すことが難しいと感じている人が多いのではないか。身近なところや気軽に参加できる仕組みがあったらよいのでは。
- ・ 子どもを中心にしたイベント、行事への参画
- ・ 職業体験の対象年齢の拡充、企業の一般公開の支援
- ・ 事前申し込み不要で気軽に立ち寄れる週末のイベントなど
- ・ 人に迷惑をかけないという基本的な考えを身につける。子どものころから小学校などで教育をする。

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 市民が参加しやすい小規模な行事を企画する

- ・年代による考え方の違いが大きいように思うのでもっと年代をこえて行えるような講座などを考えてほしい。
- ・若い親への教育
- ・地域の人による様々な授業であったり、学校活動への参加、あと学校の地域に開けた施設としての利用。
- ・農家と非農家の価値観の違いを、お互い理解できる取り組みをしてほしい。(野焼きは農家には必要な事です。)
- ・マラソン、まつりつくばのような市民参加型のイベントも良いが博多天神落語まつりや土浦薪能のような、文化・芸術の第一線で活躍されている方々を呼んでのつくばの目玉になるイベントができればいい。ただ、まつりつくば第1回を見ているので継続の努力は素晴らしい。
- ・人への思いやりを持った人が多くなること。そのためには一人ひとりを大切にす学校教育、一人ひとりを大切にす行政が大前提となります。
- ・高年齢になりつつあり、それに合わせた(年齢)活動を近所同志で考える機会をできるだけ多く持てたらと思う(お茶のみでもいい)
- ・市がアイデアを作り市民へ説明し、市民が興味を持ち、関連のイベントに参加するようになると助かる。

## ■情報発信

### 【若者・働き世代】

- ・市民の声をいかした市政づくりができていれば、これまで消極的だった市民も社会にもっと出て自分たちが主体で市のさまざまなシステムに協力し、自らの社会力を up させるのではないだろうか。
- ・全てにおいて情報発信が第1でそれをどれだけの人間(世代、人種、性別)に見て理解させるか。SNS、掲示等を使用するしかないかもしれない。
- ・地域の課題、政策に対し他人事ではなく自分事としてとらえること。地域資源(人材を含む)を把握し現在活動されていることの情報を得、誰にとってもどのようなことが必要でどうすれば解決できるのかを各個人が自分ごととして考え行動すること。
- ・参加しやすい曜日時間の設定。情報が広く目につきやすい告知方法。1人でも参加しやすかったらと思う
- ・SNSで情報発信をし、社会力が求められていること、協力者を求めていることを周知する。
- ・一般市民へ市報やSNSなどにより呼びかけ、募集することで、つくば市の取り組みをまず知ってもらう。子どもがいない世帯や定年退職後の世帯は、興味はあってもそういった情報が入ってこないし、あと一歩踏み出せない。気軽に参加できる説明会があると良い。

### 【子育て世代(乳幼児~中学生までのお子さんを持つ方)】

- ・地域の情報が少ない。案内が少なすぎる
- ・Instagramなどでつくば市が行っている活動報告などが簡単に目に触れることがあれば、興味を沸く人がいるかもしれない。
- ・地域で貢献をされている人々をピックアップし、市の広報などで、取り扱うSNSや動画投稿で面白く編集し、公開する。新しく実行してくれる人々が増えることを狙うただ”載せる”のではなく、コンテンツとして計画的に。
- ・発信・周知を行う。
- ・広報誌つくばやSNSで、市民同士が関わり合うような活動を周知していく。ボランティアだけでなく、活動によっては謝礼等を用意して、参加しようかなと思える場を作っていく。
- ・就学児がいない家庭では、社会力を活かす機会やその取り組みを知る場面が少ないため、通勤に使用するバスやTXと連携して広告を貼る等すると良いと思う。
- ・それぞれが活躍できる場所があることの情報提供。子供(小中学生)がいない家庭へのアピール。
- ・活動に対する情報共有内容説明呼びかけ
- ・まずは自分自身の知識、技能の向上を図るための学ぶ機会が身近にあることや、役立てたい

と思っている人と学びたいと思っている人達の情報が、安全で気軽に入手できるような手段があればと思う

- ・ 土浦市にくらべて、つくば市の HP は更新されていない。HP を使い、療育や学童など働いても安心して頂ける場所の特長などを載せて探しやすい HP などがあると助かると思います。
- ・ 交流の場を増やす、学校からの情報発信が地域の人に伝わる方法を工夫する

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ どこにどんなスキルのある方がいるのか把握。
- ・ 人材バンクがあるなら、広く周知する様にする。人材バンク登録者のキャリアアップの為にフォローをする
- ・ 従来のような行政側からの目線ではなく、市民サイドの目線での取り組みが必要。「社会力」の前に、市外からの転入者にも分かりやすい丁寧な説明がほしい。（例えば、つくば市の行政区がどこの地域を指しているのか、全くわからない。地域センターの所在地も知らない。どこの地域が管轄かもわからない。）
- ・ 良く知らなかったので、まずは現状についての情報共有や実行地域の活動事例など情報を得たうえで提案やアイデアを共有したい。
- ・ 公的なマッチングアプリのようなシステムで人と人をつなぐ。筑波大学や研究所がある強みを生かして人材活用をする。
- ・ 自分のできることがあれば参加し、協力したいがどこでどんな力を必要としているのか、どう関わっていったら良いのかわからない。広報つくばを見ることしかないので、自分ができる分野を登録しておけばスマホに連絡がくるようになるとうれしいし動ける。（再掲）
- ・ どのような社会力を持っている人が地域に居るのか分からない。これを知ることから始まると思う。

### ■学んだことを生かす場・機会

#### 【若者・働き世代】

- ・ 自分が学んだことを公共の場に披露する機会を設ける
- ・ 人それぞれが持つ特技が活かせる場所の提供。地域交流の機会を提供することで市民が関わる回数を増やす。
- ・ 人の為になる事は自分の人生を豊かにする。ただ、どの様に活かせるのか活かす為の方法がわからないので、市から募集をしてもらえると参加しやすいと思う。
- ・ 私に社会力があればちぎってあげるのですが…①積極的なコミュ、②傾聴、③共感、④フィードバックの活用、⑤社会的な活動への参加と私の友人が教えてくれました。どれも私にないものですが②の聞くくらいなら出来そうです。
- ・ 公園維持や学校行事など市民が参加できる場を増やすとともにその事前学習会を行う。行政が行うべき仕事に市民をもっと活用してもよいと思う。その分節税できたらうれしい。優秀な市民が多いつくば市ならできると思う。

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ それぞれが持っている資格やスキルをオープンにし、そのスキルを必要とする人が個々へオファーできる場があると良い。（就職活動で使用するダイレクトリクルーティングのようなもののイメージ）
- ・ 自分がいままで得てきた知識や経験を発表できる場をつくる
- ・ 地域の交流センターなどの公共施設で講座を開催する。手話の講座を開催したり参加したい
- ・ シルバー世代の活躍
- ・ 教えて欲しい内容と、教えたい内容、双方のニーズをマッチさせる仕組みをつくり、それを実施できる場所を創設する。
- ・ 子どもたちへ自らの知識、技能を提供できる機会を増やす。子どもたちが地域や外国人と関わる機会を増やす。地域の活動に会社の業務時間で参加できるようにして欲しい
- ・ 何かしら協力したいと思っているが、何をしたらよいか分からない
- ・ 2011年3月11日の災害でいろいろ拠点を換え現在つくばに落ち着いて生活している。また、

心の病気で通院中だが色々な事を体験した中で、その知識が誰かの役になりたい。

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 順番に先生になり知識・技術を教えたり、話し合いに参加するなど披露する。公開しないと自分も他の人にも持っている力がわからないし、さらに磨かれない。洗濯物のたたみ方、掃除の仕方、片付けの仕方、専業主婦の力も大いに披露してほしい。
- ・ リーダーの育成が必要。能力のある人が表に出ていない。つくばには多いはずなので掘り起こしが必要
- ・ 自身の知識、技能は少し特殊な業務であったため、それらが地域社会に役立つ事ができないと思う。他者への役立て方が分からない。
- ・ 小学校、中学校で「明治以降、海外からの植民地化を日本はどう防いできたか？」「GHQの日本支配がいかに行われ、現在も続いているか？」「2000年以降、グローバリズムが日本を支配しようとしているか」教えたい。
- ・ つくば市は若い世代が多く、筑波大学や研究開発など特殊な個性を持った街です。いろいろなスキルを持った高齢者も多く、スキルを若い世代に継承できる学の集いをもっと進み、つくばならではの特徴を持った、他に発信できるような街になればいいと思います。
- ・ 自分のできることがあれば参加し、協力したいがどこでどんな力を必要としているのか、どう関わっていったら良いのかわからない。広報つくばを見ることしかないので、自分ができる分野を登録しておけばスマホに連絡がくるようになるとうれしいし動ける。
- ・ リーダーの育成
- ・ 社会力を発表できる場の提供
- ・ 各集落、集会所や公民館の利活用促進。知識者、技能者の登録利活用。
- ・ 色々な分野において、高齢者の中には高い知識や経験を積んでいる人が多数いる。指導者になってもらい、市が中心となって交流会を数多く開催すれば良い。

## ■地域・地区

### 【若者・働き世代】

- ・ 地域対抗のお祭りなどでコミュニティを作成・構築しつつ、防災等に関して検討する時間や場所を設ける。まつりつくばより、やや小規模で。各地区の得意なことを共有する
- ・ 学校と地域の人との関わりを増やす。
- ・ 地域の課題に集団で取り組む
- ・ 地域活動は先代からの在住者と近年からの居住者の間に意識や行動など色々な差があると思われる。地域や子供がいる世帯以外の人にも気軽に参加できるイベント(そういう層に向けたデザインがされている)があると良いと思います。
- ・ 町内会のようなまとまりがあり、その行事があると良い
- ・ 地域での協力をし、住みやすい環境づくりをしていく力を一人ひとり持つ(環境整備等)
- ・ 昔からあるものを活かすことはいいことだと思うが、それが古きよきになっているため、新しいものが入りづらく入れない。昔からずっと決まっていると話も聞いてはくれない。新しい物、グループ、ボランティアなど、いいものは新しくても古くても、取り入れてほしい。
- ・ 共働きでも社会、地域に関わりやすい仕組みがあると良いと思う
- ・ 自治会がしっかりとした活動をしていると地域という意識もあり「社会力」も活かされると思う。しかし、近年自治会そのものの存在意義が問われており、社会力の基盤となる地域をどのように捉えるかが課題と思う。
- ・ 町内会等の充実、民生員の補助
- ・ 地域で声をかけ合う。
- ・ 煙草の吸殻、ゴミのポイ捨てが多すぎる。一部の市民のマナーが悪すぎる。看板の設置、ボランティアでゴミ拾い(各地域)で実施してくれると有難いです。

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 住んでいる場所柄、移住者が多く自治会もない。隣以外の住民の方の名字も顔も謎で、交流もありません。そういう場所を求めてこの地区に決めたので不満は全くないが、無理に市民

同士の繋がりや交流を持とうとする動きには抵抗がある。ただつくばが好きでよくしたいなと気持ちはあるので、個人でも出来るものがあればやりたい。

- ・ あらゆる教養やスポーツなどを通して地域の一体化を目指すべき
- ・ 自治会等もないので近隣の人と関わるのが少ない。自治会があったほうがいいとは思わないが、地域住民が集える集まりはあっていい。
- ・ 住居地域が車の抜け道となっているので、登下校時に人がいるだけでも安心する。自転車も多いので、事故も多くなりそうです

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 区会活動は時代遅れ、SNSを軸に再構築するべき。少子化が進み、子を持つ家庭が減る中で、一人世帯が増えていく。家や家庭に軸を置く時代から、個人の小さな善意を集める地域活動に変えていくことが必要です
- ・ 地域間の交流や意見交換の場があれば良い。地域の区長さんに多くの情報を提供して頂きたい。
- ・ 行政が末端まで行き届くようにして欲しい。つくば市の中央部分のみが栄え、整理されている同じ税金を治めているのに平等ではない。市長はもっと荃崎地方の現状を自分の目で確認して欲しい
- ・ 移住から20年以上経つが、余所者扱いで回覧板が余所者宅だけグループになって回ってくる排他的な地域なので社会力とは程遠い。移住前は老人ホームで指導者としてボランティア活動をしていた。

### ■サポート

#### 【若者・働き世代】

- ・ 小中学校等の部活動やクラブ活動を地域の方たちが率先してサポートしていけば、子どもたちの「社会力」を高めることに繋がると思う
- ・ 行政が主導することなく、個人・地域社会が自ずと提案できる場所が欲しい。組織や団体は放っておいても活動し始める。個人や小さな組織は、時間と金銭面で難度が高いので、それらをサポートできる枠組みがあると良いのではなかろうか。
- ・ 市民の皆さんが考えている事、思っている事の意見を交わしたり、アンケートをとる。地域によっては、高齢の方が増え、住んでいるだけでも困っている人がいます。何で困っているのかも聞いてほしいです。
- ・ 学習や社会教育にかかる費用の経済的助成→同成果を社会に還元するという意識づくりが必要だと思います
- ・ 遅れている人を、引き上げてあげるような活動。
- ・ 必要な人材や仕事は、なんでもボランティアに頼るのではなくきちんと雇用する形態にすべきだと思う。そうすることで、技術や技能をもった参加者も増え、内容も充実していくと思う。
- ・ つくば市内は、車がないと生活しにくい場所がたくさんあります。そんな地域に住む方も気軽に参加できる様、交通（つくバス）のルートを増やして下さい。
- ・ 市が中心となって講座等を無料で配信
- ・ 一般の人の生の声が届く場所、設置、取り組みが必要。規模は大きくない市の為、学校や市への本音の要望が出しづらい

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 個人で行おうとすると、職場での理解を得る事にも気を使わなければならない、休みを取り辛い。職場を通した取り組みを入れてみてはどうかと思う
- ・ コミュニティや活動がある事を周知させる必要がある。また、多種多様な活動があると良いと思います。学ぶ時のサポート（土日にはしか休めない人の為や、子供の預り等）も必要になると思います。
- ・ 市民が何かしらのコミュニティに1つ入るように促す。
- ・ プロフェッショナルに対する正当な金銭的な時価にすること、すなわち、自分のために学び

たい、子供に何かを体験させてあげたいとき、それを出来る人達にしかるべき報酬を与えること

- ・ 市として、社会力還元のための還流の仕組みを整備、定義すべき。温故知新として、高齢者を積極活用するのはどうか？

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 提供する側と提供される側を取り持つ組織、機会づくりが必要かと思います。
- ・ 市の講座で希望の場所が遠くて申し込めない方をサポートする。
- ・ 不登校が増えている現状を考えると、市民のボランティアヘフリースクール活動への参加を呼びかけ、組織化していく活動を、市とボランティアが計画し実践する必要があると考えます。
- ・ 金銭的な補助の充実

### ■場の提供

#### 【若者・働き世代】

- ・ 自由に使える場所を設ける。
- ・ 年齢問わず交流できるような場を設ける。
- ・ つくば市全体でそれぞれの分野の興味関心がある人たち同士を交流できる環境を整備する
- ・ コミュニケーションの活性化がまず必要。機能的な商業施設だけでなく、訪れた人同士の交流が生まれるような wet な場づくりがあるといい。公園の整備(オープンで人が集まりやすい環境)など
- ・ 私は今海外で暮らしていて、ヨーロッパの社会や自分の分野である音楽がどのように市民と関わっているかを実際に見て感じている。つくば市には「さくらまつり」(親が参加している研究学園のイベント)などアンサンブル音楽を市民みんなで楽しんで演奏する場があるが、もっと規模を大きくホールや特設会場などで子どもたちの音楽の場、アマチュア、プロ、そして楽器や演奏を体験できるフェスティバルを開催できたらいいと思う。ウィーンには「音楽の家」という歴史と科学と音楽を結びつけた体験型のミュージアムがある。つくば市にも科学に特化した施設があるが、音楽とももっと融合してより良い耳を育てる環境があるといい。市民が音楽・科学を通してより文化的にも豊かな社会性が広がる。
- ・ 行政が主導することなく、個人・地域社会が自ずと提案できる場所が欲しい。組織や団体は放っておいても活動し始める。個人や小さな組織は、時間と金銭面で難度が高いので、それらをサポートできる枠組みがあると良いのではなかろうか。(再掲)
- ・ 市立図書館の充実、市外の仲間とも利用できる活動場所の充実
- ・ 単に年寄りから押し付ける教育ではなく、熟年の賢さ(頭は硬い)と若い人達の発想(頭の柔らかさ)が、相互にやり取りできる場を提供できることが良いと思います。
- ・ コミュニティセンターの設置を希望
- ・ 集める場所があるとよい、コミュニティ広場

#### 【子育て世代(乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方)】

- ・ お茶をしながら本が読めたり、おしゃべりが楽しめるような地域の人が集まりたくなる図書館を新設してほしい。
- ・ 縦の交流の場があると良い
- ・ 定量的に評価できる指標やエビデンス、それらを形成する具体的なスキルなど重要だが、寛容さという土台が社会の側に無くては良い方向に活用すること(≒社会力と捉えています)は難しく、逆に分断の道具にしかならない。寛容さを涵養するため、自由テーマで長時間話ができる場所やトークイベントのスペースを用意するのはどうか？市長が住民と時々行っている「市長と話そう」の拡大版もいい。内容は二の次で、時間が大事。行政が直接でなく、民間を支援するのがベター。以前であれば熟慮や本気度が裏付けとして存在していることが伝わった「短時間で効率的に情報を伝える」という行為が、インターネットや AI 技術の発展でベストプラクティスが共有しやすくなった影響により、定量的なデータを示してスマートに提案を行うという手法に長けているだけのものと見分けがつかなくなっている。「意見は異な

るが理解できる」という状態こそ寛容さであり、その寛容さの厚みが社会力だと思う。ロジックやエビデンスだけでは実現できない。

- ・ 様々な人が自由に使用できる施設を設け、意見交換できる機会をつくる

## ■社会力の認知度向上

### 【若者・働き世代】

- ・ まず「社会力」というものがわからない人が多いと思うので、具体的な活動内容の例をあげた上で、「社会力」を知ってもらうことから始めた方がいい。
- ・ ①「社会力」の認知、理解度を上げる。②①にも関わるが具体的な取り組みを発信する。③取り組みにあたり市がサポート（資金等を含め）をする
- ・ 「家族や会社」といった限られたコミュニティだけではなく、自治会や消防団、学校を中心とする教育活動や、ボランティア等の奉仕作業、趣味の仲間との触れあいなど、個人が複数の価値観と触れ合える場が増えることで、各々の場で自分自身のあり方や身のこなし、他者とのかかわり合いを通じて必要とされる知識や情報、技術を再確認できる。そうした中で社会力が養われるのではないか。
- ・ 社会力、はじめて聞いた言葉。まずは、社会力という言葉をもう少しわかりやすく具体的にされた方がいい。
- ・ 旧桜地区は今の時代に則さない村社会の考え方の方が多く住んでいる。この障壁をなくすことは容易ではないが、社会力を高めるためには、まず相互理解が必要不可欠。私はその一歩として、この地区に住む他県や他地域の割合を増やすことだと考えている。旧来の考え方と違った見方も尊重され、地域の活性に繋がるのではないか。何が幸せの基準なのか、今一度考え直すきっかけにもなる。地道な活動があって初めて社会力が向上するのではないか。
- ・ 子供に社会力を教育する

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 「社会力」という考え方は良いと思ったが、漠然としていてイメージが湧かない。そういう考え方を周知し理解を深めてもらう活動も必要ではないでしょうか。
- ・ つくば市は他市町村からの流入した市民が多く、地域での横の繋がりが無い。余計なしがらみも無く、半強制的な労力の要求も無いので良い側面でもあるのかもしれないが、隣に誰が済んでいるのか名前も顔も知らないという状況は異常かもしれない。「社会力」と聞くと、人との積極的な関りをイメージしてしまうが、最終的に目指す「住みよい地域」というものを定義する必要があると感じた。人との関りに積極的になれない市民にとって、インターネット（SNS）などを駆使したかかわり方がツールとなり得るのではないか。サイバーシティと銘打って、ネットの有効利用を掲げるつくば市にはぜひ、この分野でも例のないチャレンジをしていただく事を期待したい。
- ・ 言葉は聞くが実体は分からない状況。まずは実体験として催しイベントを行えると良い。それも子供から大人まで広く参加出来るものが良い
- ・ 先ず、こうした考え方をつくば市が持っていることを広く市民に認知されることが前提。市で対策室チームを作り、参加協力のパターンや選択肢を LINE など駆使して、市からの連絡として取り組んでいくのはどうか。

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 広報誌等で「社会力」を段階的に市民に広めていく。または、区長会等で社会力について説明したり、社会力実践講座を開催したりして、社会力の考えと実践力について市民に浸透させていく。言うは易き行は難し。根気強く継続していくことが肝要。
- ・ 「社会力」という言葉を浸透させて共感する仲間づくりをして実行する方の人数を増やし組織化していくのが重要と考えます。
- ・ つくば市は「社会力」を提唱する門脇先生がおられる。私も社会性と社会力を混同したり同じ概念で考えていたが、社会力 (social competence) とは社会で作り変えていく（創る）能力であることを知りました。つくば市民も同じだと思います。先生によると社会力が育まれるのは幼児であり、20才頃までとされておりご高齢者の多い市民を相手にするには少し遅いが

がんばって下さい

## ■具体的な活動内容の提案

### 【若者・働き世代】

- ・ Volunteering activities to teach the culture, norms, values to the other. Also, Volunteering activities to keep the surrounding space, productive, and clean. (文化、規範、価値観を他者に伝えるボランティア活動。また、周囲の平和、生産性、清潔を保つためのボランティア活動。)
- ・ 自治会や PTA に理由を付けて参加せずに済ませようとする一方、学校や市役所への要望ばかりが多い地域性を改善する必要がある。大人は手遅れなケースが多いので、子ども達を地域や社会の一員として貢献する機会に参画させていくのが良い。
- ・ まずは自転車の交通安全講習会。実際に一般道路に出て注意喚起をして交通ルールの見直しをしたらいい
- ・ 町の美化により意識が高まる。きれいな町づくりが健全な精神と健康な体に宿ると思います

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 若い人による、高齢者のゴミ出しなどの日常生活の小さな支援。働いていない世代による、小学生の登校の見守り。学校校庭の放課後解放とその場の見守りなど。そのための自治会の整備。年齢を織り交ぜて助け合える地域環境が欲しい。
- ・ 長期的な少人数集団での活動機会を増やす

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 美化など自主活動の支援
- ・ 活動テーマ毎に人材募集して、グループで無理のない範囲で活動する。
- ・ 市民の社会力を高めることが、個人の幸福のみならず、住みよい社会を作るために大事であるという啓発啓蒙運動活動を行うこと。
- ・ 登校が困難な児童や生徒の自主的なサークル活動を見守る。
- ・ 個人では趣味の習いごとが充実している。公的には社協の相談員としてサロンの運営を行なっている。今の状態を好んでいる人が多く、向上心は少ないと思う。
- ・ 子孫を守るため地球をきれいにしたい。

## ■活動ができない理由

### 【若者・働き世代】

- ・ 現役世代は仕事が忙しくて時間を作ることが難しい。技能を持ったシルバー人材はそれなりにいるはずなので、そうした方を積極的に募集したら良いと思います。
- ・ 現代の状態ではどのようなアイデアがあっても難しい。特に、私の世代は仕事と子育てに忙しく自分の時間が持てない。人と関わりたいと思う（考える）時代でなくなっている。
- ・ 金銭的・時間的余裕がないと「社会力」以前の問題なので国政から良くなならないとどうしようもなく思います。
- ・ よほど生活に余裕がある人でないと、ボランティアでというのは難しいのではないかと
- ・ 地域において自分の出来る事があれば参加したい気持ちはある、しかし、仕事が不定休のため難しい。

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 私自身そういう場に行ったことがないので、社会力がいかされた地域かどうか判断できない。よいことだと思うが仕事・子育て（習いごと）もあると講座を受ける、それを発信する（したい）と思える余裕はない

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 自分の社会力が他の人の人生を豊かにできると思えないので具体的なことはわからない
- ・ コミュニケーションの取れる場に気軽に行ける何かあれば良いと思うがなかなか。
- ・ 難しい。生活をしていくのがやっとという環境の方が増えている

- ・ 皆さんそれぞれの立場で忙しい毎日だと思います。私自身もゆとりの時間をといつも思います
- ・ 足腰が悪く、社会活動が出来ません
- ・ 高齢が全てを阻みます

## ■産官学連携

### 【若者・働き世代】

- ・ 市政と大学と産業の連携を取る
- ・ 現役世代の場合、仕事や子育てに追われてしまってボランティアなどをする機会が失われているのではないかと。社会全体でワークライフバランスを保つようにすること。ボランティアなどの活動に加わってもらうように行政が地域企業に協力を仰いでみるなどはいかがでしょうか
- ・ 図書館の拡充自習スペースなども含め、学園都市にふさわしい国内トップクラスの図書館にしてほしい。また、企業との協業などではなく、自治体でもここまでできるんだ、といったものにしてほしい。

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 国研との連携強化

## ■その他

### 【若者・働き世代】

- ・ やりたい人達だけやればいい。社会力というなら、つくば市をよりよい方向へもっていくことの方が重要。生きづらい社会を変えて欲しい
- ・ 結局能力の高い人に活動の比重がかかるため何もしない方が良いと思う。不公平になる
- ・ つくばを愛する愛し愛される魅力的な所にする

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 他人のために自身の知恵や技能を役立てたいという意思がない限り、社会力を高めることは難しい。目的達成の手段として社会力を高めた方が早い場合は、良いかと思う。
- ・ 1人1人の性格によって賛否両論あると思うので何とも思わない
- ・ 相手の立場になってみて物事を考えること。自分よがりにならないこと。まずは自分の人生を豊かにすることを優先。他人はプラスα
- ・ 上下水道の整備、都市ガスの整備などインフラの充実

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ つくば市の「社会力」は環境的にも充分ある。むしろ特別な地域である
- ・ 初めて聞きました。
- ・ 1人1人が他人に迷惑をかけない生活をしてほしいと思います。
- ・ 社会力の意味がわからないので、自分流に考えるとまずとなり近所に迷惑をかけないこと（騒音、カラオケ、ゴミ）。早朝での大声の会話、夜中も同様、仲間同士でも時間と場所を考えてほしい。子供なら注意されることを、大人が、気が付かないはずがない。社会力の反対でしたね。
- ・ 観光、果物、野菜、筑波山や学園まであるのに、都道府県順位が何年経っても最下位、どうして上位に入れないのか。
- ・ グランドゴルフに参加している。市から借用しているグラウンドの管理状況を見てほしい。
- ・ 4年前に引越して来て、つくばの事はほとんど知りません

## 自由回答② 問 13 ライフステージの観点からの生涯学習全般についての意見

### ■講座やイベントについて

#### 【若者・働き世代】

- ・ e スポーツのイベント
- ・ つくば市は科学に秀でた市なので、科学を推した催しを行っていくべき。また、学生向けの見学の場はあったが、社会人は平日仕事を休めないの見学ができない。
- ・ オンラインの講演会や、毎月第1回を受講できる講座、いつでも参加出来る場所があればいい。つくば市役所など一つの場所で様々な体験ができるように集約すると親しみやすい。また、大人も受講できる地元専門職による体験型講座が欲しい。(消防の防火訓練、警察の逃げ方講座、寺・神社の節句説話、農家の収穫体験、栄養士による食育など)
- ・ 社会人向けのスポーツクラブを地域で作って欲しい。もし既に存在する場合は、その情報が目に留まるようにして欲しい。
- ・ ただ子育てがしやすい便利な市ではなく、この地域に住んだら面白いことが起きそうだと思うせてくれるなら、イベントなどにも参加をしたい。
- ・ 日本語や中国語に興味がある人のサポート。
- ・ 料理や栄養学に関する講座
- ・ 参加がしやすい公開型の講座がほしい。
- ・ 職業上必要な学習は、国や県単位の枠(ポリテクセンターや茨城県産業技術イノベーション)で行っているため、市単位ではそれ以外(趣味や教養・芸術)に更に力をいれていただければ全体のバランスが取れるのではないか。
- ・ 手芸やフラワーアレンジメントの講座を、参加が出来る休日にほしい。
- ・ 学習したことを生かす場、それをきっかけに他者と交流できる機会を求める人が多いと思う。つくば市の公民館講座には発展性を伴うものが少ない。
- ・ 土日や平日夜の講座を開催してほしい。民間のカルチャースクールや資格取得講座のようなプログラムならぜひ参加したい。
- ・ 土日開催の市民向け講座を充実させ、社会人が自分の力を高める機会をほしい。
- ・ 生活力を高める機会を充実させてほしいので、投資のセミナーを開催してほしい。
- ・ 母が病気になったことで、健康維持のためにトレーニングジムに通っている。食や身体を動かすことの知識を得たい。
- ・ 年齢問わず気軽に参加出来る趣味や講座があると嬉しい。
- ・ 新 NISA やふるさと納税の講座を開催してほしい。
- ・ 家庭菜園などの趣味のスキルを上げる講座があるといい!!
- ・ 仕事があるので平日参加が難しい。土曜日午後や日曜日なら興味のある講習会には参加したいという意味がある。
- ・ 高齢化が進んでいる地区のため街の活気がないと感じる。中央地区だけが注目されその周りの地区は置き去りにされてる印象で少子化、高齢化が進む一方に思う。新住民がいないのも街に魅力がないからだと思う。学びの場があっても参加者が少ない様に思う。
- ・ 健康、長生きを目的とした、地域の方々と楽しく気軽に取り組める教室が魅力的。

#### 【子育て世代(乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方)】

- ・ 広報には年配向けの講座が多いと感じる。中には、語学講座など平日の夜に開催されていたり、社会人向けのものもあるが、子育て世代には難しい。つくば市は子供が多い為、講座中は乳幼児の保育をサポートしてもらえる環境の整備をして欲しい。
- ・ 子育てサークルや勉強会に参加をしたいが、マルチ商法や新興宗教など怪しい団体に関わりたくない。出産・子育ては医学的に不適切な情報が飛び交いやすいので、信頼できる市が主催している講座を充実させてほしい。
- ・ 専業主婦向けの講座ではなく、スキルアップに直結する講座(オンライン含む)が充実して欲しい。その間に小学校低学年までの子どもが待機できる遊び場や、託児サービスがあると参加しやすい。

- ・ 大きな公園で交流できるイベントを開催したり、地域の音楽系イベント（カラオケ、ダンス、音楽バンド演奏）やゲーム大会を開催する。
- ・ 無料で参加できるワークショップや講座があれば行きたい。
- ・ ケアマネジャーの試験勉強をしていた際、車や自宅でCDのインプット勉強をしていた。仕事で活かせるオンライン英語を学びたい。
- ・ 働きながら資格を取りたいと思うので、土日参加できる講座があるといい。子どもの面倒も見てもらえればより良い。
- ・ 業務上のスキルアップとして学んでいることはあるが地域や社会への関わりという観点ではあまり考えたことがない
- ・ 子育て中の共働き世帯は、受講が難しい。親子で参加でき、共に学習につながるような講座やイベントがあると参加しやすい。
- ・ 転勤で筑波に来てから、研究機関の一般公開や都内を含めた近隣の学祭など、あちこち幼稚園児や小学生を連れて回る中で、科学関係やボードゲームなど、新たな興味・趣味がみつかった
- ・ 外国人向けの日本語講座が少ない。市役所や市民交流センターで日本語教室を開催し、交流の機会をつくってほしい。
- ・ 平日は仕事で参加ができないので、オンラインで受講できる口座開設を希望。
- ・ 学びたい意欲が増すような企画があると嬉しい。図書館へよく通うので、本について様々な視点から語り合い、学ぶ機会が欲しい。
- ・ 子供の頃は盆踊りが楽しいと思っていたが、今はそういった機会もない。夏や冬、季節を感じる行事があるといい。
- ・ さまざまなチャレンジの機会が得られる市の取り組み
- ・ つくば市の取り組みの養蜂の体験に子供と参加した。とても楽しく期間中に色々調べた。このような体験学習の機会が色々あるとよいかと
- ・ スポーツやウォーキングなど簡単にできることを皆で出来たらよい。社会人向けにフリースタイルのもの。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 年代によって学ぶ機会がとりにくいと思う。オンライン配信による講座などもっといろいろ学べる様にしてほしい。
- ・ 「まつりつくば」では、色々な学習の発表の場を設け文化との触れ合いの場、機会を作ったらいかがか？屋台、踊りとカラオケばかりでは、能がなさすぎる。各会場で行われるイベントのプログラムも作ってほしいし、募集も早めにOpenしてほしい。
- ・ 例えば生涯学習の日を平日だけでなく土日も日程に入れていただけるとありがたい。
- ・ 私は技術者として30年以上のキャリアがありますが、趣味の延長として、歴史、地政学等をカルチャーセンター等で学んできました。さらにより深く学んで行きたいと前々から思っていました。ただ、年齢的に大学で学ぶには少しハードルが高いです。できればより高いレベルで学びたいと思っています。
- ・ 日常の仕事、家庭生活を頑張っているがもっと違う社会の為になる事をしたい。しかし時間もない、その情報もわからず、何からすればよいのかと思いつくことが長かった。近所の人に肩をたたかれて時間もとれるようになったので足を向けてみると、「なぜ？もっと知りたい」と欲も出て時間もとれるようになった。自分に変化が出たのがうれしい。退職してからは、社会への恩返しをしたいと考えているし、自分も色々な教養と身につけて学習したい。音読、読みきかせボランティアはやれるだろうか、学ぶ場はあるのかと考えている。全てPC次第だろうか、そのため（目標達成のため）のPC操作はどう学習するのだろうか。
- ・ 地域交流センターでの活動より、WEB会議システム（TEAMS、ZOOM等）を利用して、地域交流センターへ徒歩で行けない市民でも、自宅から参加できるような工夫を進めてもらいたい。
- ・ せっかく科学の街に住んでいますので専門家には事欠かない。気軽に講師になってもらい、近くの公民館で受講可能な公講がいっぱいあるといい
- ・ つくば駅周辺だけでなく、荃崎地区でも文化・芸術の催しがほしい。

## ■今後取り組みたいこと

### 【若者・働き世代】

- ・ ジェンダー差別について学ぶ機会があれば学びたい。
- ・ 将来カウンセラーを目指しているが、精神的問題で大学進学はできなかった。そこで、学力ではなく熱意と資金があれば通える塾を見つけ、そこでカウンセラー資格を取得しようと貯金をしている。もし資格を取得できたら地元のつくばで活かしたいと考えており、また、心について学ぶ機会があれば積極的に参加したい。つくば市が生涯学習を充実させようとしていることについてアンケートを通じて知り、今後さらに注目していきたいと感じている。
- ・ 海外留学へ繋げる取り組みなど、英語教育に携わりたい。
- ・ お金と時間に余裕があれば、子供たちに化学の面白さを伝えたい。
- ・ 学生時代は子ども食堂のボランティアに参加したことがあり、機会があればまた参加をしたい。
- ・ 今後取り組みたい活動は、室内楽マスタークラスや音楽フェスティバルをつくば市で開催すること。コンクールは技量を磨くことや地域の活性化のために役立つかもしれないが、音楽の真の良さは演奏を聴いてもらうことだと考えている。他者の演奏と比較するのではなく、プロから伝統を習得することが技術を得ることになる。
- ・ FPの資格取得を通して金融知識を得え、貯蓄も行うようになったが、それ以降精神的なストレスが少なくなった。また、語学力を向上するため、現在は英会話を学んでいる。英語力が向上することで、さらに生活にハリが出ると思い現在努力しているところである。ただし、会社員として勤めている状況では、勉強する時間も取れない現状であるので、土日を活用して学習しております。
- ・ 興味がある事を低コストで学べる環境を作っていきたい。
- ・ 健康について関心があるので情報を集めたい。
- ・ 外国籍の方が多く住んでいるので、同じ市民として相互理解をする場を作りたい。
- ・ 今までの経験や知識を活かし、学習により更に知識を深めて仕事をしていきたい。一方で仕事以外の団体に所属したことがないので、サークル活動などやってみたいと思うが、なかなか踏み出せない現状である。
- ・ 社会との繋がりは持ち続けたいから、例えば音楽とか趣味の気軽に参加できる場を持ちたい。また子供がいないとボランティアに参加しにくいと感じてきた。自分がまず、楽しみ、やりがいを感じられるよう学ぶようにしてきた。時間は有限なので。
- ・ 定年退職後も、大学レベルの高等学問を習得・履修したい。特にお金のかかる理系関係。
- ・ 時間があればボランティア活動をしたいが、入口のハードルが高い。
- ・ 誰の役にもたないスキルで地域に貢献できたらと思ってしまう。アンケートを書いて本当に役に立つの？とも考える。自身の生活には役立つので良しとしている。図書館の電子化をもっと進めて欲しい。検索した本の予約がひとり待ちだったのが10人以上になった。電子なら予約なしで閲覧出来るのでは。
- ・ 現役で働いているときは学びたくてもその時間がなかった。今春、仕事を辞め大学に通いはじめ趣味と実益を兼ねるとも楽しい人生が豊かになった。時間的に余裕があるので、社会の役に立つことをもっとしたい。

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 自分自身の仕事に役立つこと、生活を豊かにする為の事を学習していくつもり。仕事に関係する情報には毎日目を通して、必要であれば有料講座も受講している。生活を豊かにするために投資をしているので、投資関連の情報をSNS等で取り入れて活かせるようにしている。
- ・ 地域に貢献できる取組に参加したいという意欲はあるが、費用面の課題がある。子どもと共に参加出来る内容であれば、実際に参加する機会は増えると思う。
- ・ ゴミ拾いや外国人サポート、地域イベントの開催手助けや挨拶運動のような地域ボランティア活動をしたい。
- ・ 仕事と家事で手一杯な子育て世代でも地域の為に何かしたいと思っているが、具体的に何を

したらいいのか分からない。子どもと共に参加できるものがあればいい。

- ・ 乳幼児と小学生の子供がいて、今年から転職してインストラクターをしているが、市内の各施設や講座に問い合わせても今現在担当している人がいるのだと断られた。市が開催・連携している場所に参加させてもらい、新規参加者が認知してもらうチャンスがほしい。
- ・ 2011年3月11日の災害で色々な体験をした。正社員の形式で働くことは難しいが、同じように心の病気で悩んでいる人の話を聞いたり、アドバイスをしたい。ヨガ歴も長いので、体の不調についてもアドバイスができる。
- ・ 何が出来るかわからないが、機会があれば地域へ還元できたら嬉しい。
- ・ 仕事上で英語を学習する必要があった為、将来的にはその技術を地域ボランティアなどに活用出来れば良いと思っている。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 定年退職後に何か活動できればと思っている
- ・ 現状仕事が終わったら（定年退職）何らかの知識を向上させたいと思っている
- ・ つくば市内においても、少子高齢化・単身世帯の増加、学園都市区と周辺地区との地域格差や人口移動等課題が目立ってきています。周辺地区に居住する者として、地区で暮らす方々が暮らしやすいように、地域に少しでも貢献できたらと思います。
- ・ 日常の仕事、家庭生活を頑張っているがもっと違う社会の為になる事をしたい。しかし時間もない、その情報もわからず、何からすればよいのかと思いつくことが長かった。近所の人に肩をたたかれて時間もとれるようになったので足を向けてみると、「なぜ？もっと知りたい」と欲も出て時間もとれるようになった。自分に変化が出たのがうれしい。退職してからは、社会への恩返しをしたいと考えているし、自分も色々な教養を身につけて学習したい。音読、読みきかせボランティアはやれるだろうか、学ぶ場はあるのかと考えている。全てPC次第だろうか、そのため（目標達成のため）のPC操作はどう学習するのだろうか。
- ・ 健康に恵まれ、元気に70代になり個人事業をしながら空いている時間はシルバーやボランティア活動で有意義に生活している。パートナーが亡くなり1人になった方々に車の運転ができなくなったり、体が不自由になって今までと同じように生活できなくなった方々に何かしてあげられたらと思うが、何が出来るのか…。又、自分がそうなった場合どのようにSOSを発信したらよいのか、もっと知っておきたい、知りたい。
- ・ 今年度から地域で活動しているいきいき教室に参加している。高齢になると移動等が大変になるので近くで講座や講演をきくことが出来、年齢層はありますが、いろんな方々と交流できありがたい。これからも充実していただきたい。60才になってから市の運動教室に参加している。市の教室は5年までしか継続できずその後は同好会の教室に参加し、市として継続できるようなシステムを望む。ボランティアとして地域のみまもり相談員を10年近く行ってきた。できれば若い方々の参加も望みます。ボランティアの育成支援をお願いしたい
- ・ 現在は年金生活をしている。2010年にヨーロッパフラワーデザインでお花の認定講師となり、現在も週2回ゆかりの森とふれあいプラザで教室をしている。71才だが、何とか社会とのむすびつきが続いており、もう少し続けたい。それと週2回カーブスに通って運動をしている。たんぱく質の重要性を知りプロテイン等ものんでいる。あと1年位で10年になりますので、10年めざしてがんばりたい
- ・ 園芸に対する趣味が高じ、区会の園芸グループのメンバーになり月1回区会内の公園花壇を手入れしている。ボランティアのグループ。とても楽しく作業をやっているが、作業日は平日午前（月1回ペース）約2時間前後ということで、若い方のご参加は望めない現実。皆が70才以上でリハビリを兼ねての意味合いもある。
- ・ 病気や栄養のことを学ぶため、医学書を取り寄せて読書をしている。今年の猛暑では外出もままならない。仕事があるので時間のゆとりもないが、勉強をしたいと思っている。
- ・ 自宅で絵手紙教室を開いているので、若い世代と付き合いがある。公の講座等は手続きが難しい。高齢なので、こうした小規模のもので生きがいとなっている。iPadで料理の動画を毎日見ており、年齢にかかわらずデジタルになじんだ生活が出来て良い時代だと感じる。

- ・ 門脇氏の主張は大変良い考えである。今後氏の著書を読もうと思っている。生涯学習の中に「社会力」を取り入れたのは良いが、教育の三丈ステージ「家庭教育」「学校教育」「社会教育」の中で「社会力」を育むのは「家庭教育」であるとされている。家庭教育をするのは親、親を市役所の指導により「社会力」を付与し「家庭教育」を行うということになる。市役所職員に「社会力」を沢山勉強して頂かなければならない。又、今回の様なアンケートの取りまとめに外部の業者に依頼しているようだが、この様な調査は外部に依頼せず市役所が自ら分析し自らまとめることで見えて来るものだと思う!!

## ■情報発信について

### 【若者・働き世代】

- ・ 個人が学びたいと思うきっかけとなる出来事や機会の創出、学び続けていく環境（設備や施設に限らず、発表の場）を多く準備してほしい。また、それらを知りやすいように SNS を通じた広報発信をしてほしい。
- ・ 利己もしくは野心が自己研鑽の主軸になると考えている。ネット普及やサプライチェーンの広域化、生活の多様化によって地域のつながりが重要でなくなりつつある中で、尚も社会力を活かした地域活性を目指すのであれば、(おそらく野心への働きかけは現実的でないので…) 利己に働きかける方法をとったほうが良いと思う。生活に直結するつくば市のアプリインストールを強く促しても良い気がする。
- ・ 情報発信ができる場所なのに、つくば市内の駅が良くない。
- ・ 子どものいない移住者世帯は、市からの案内を受け取る機会がとりわけ少なく感じる。
- ・ 今後老後の不安を抱える人がさらに増加すると思われるが、一人暮らしの高齢者へどんなサポートがあるのか知りたい。
- ・ 生涯新しいことを学ぶことは重要で、前向きに生きることに繋がると思う。全世代が学べる機会や情報の提供を市として続けてほしい。
- ・ 各情報の伝達が大切だと感じる。意欲がある人は自分で調べるが、大半の人は気付かない。紙媒体は費用が掛かったりタイムリーな告知ができない可能性があるため、SNS 活用が現実的な選択肢ではないか。
- ・ 子育てが終わって時間的余裕が戻れば、社会に貢献できる地域や資格を身につけて人と交流することが生きがいに繋がるだろう。学習の場を作り、それを活かす場の情報提供が必要。
- ・ 企画側も参加側も開催の情報を広めて受け取らないと活かされないことが残念。地域ごとに掲示板のようなアプリがあって情報を得ることができれば活用したい。
- ・ 介護の仕事をしています。資格を取る時にかなり費用がかかりました。資格を取得してから、補助金の制度がある事を知ったりしたので、もっと広めて欲しいと思います。さらにスキルアップしたくてもやはり費用が高くて、その先のスキルアップが出来ないのが現状です。生活するだけでも大変なので、もっと費用がかからずにスキルアップ出来るとうれしいです。現在、介護福祉士までは自払で頑張っ取得しましたがその先には進めません。
- ・ 通勤地まで遠い為、自宅周辺で何が行われているかあまりわかっていない。また、勤務先でリスキングなど積極的に取り組んでいるものがあるため、手一杯。

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 仕事があるので、平日開催のイベントは参加ができない。また、イベントの様子が見えにくいので初めて参加する人のハードルが高くなっている。
- ・ 子育て中で参加は厳しくても、広報誌で知る事だけでも今後の学びのきっかけとなる。広報つくばは情報が明確で読みやすいので、助かっている。
- ・ 人によってニーズが異なり、かつ必要とする時期も異なると考えられるので、多様な教育を受けるための機会を設けて、駅や公共交通機関も含む多様な媒体を用いて、市民に周知する機会を設けてほしい。
- ・ 経験や専門分野を活かした地域での活躍の場を知らないばかりに、その機会を逸していることが多いのではないかと。そういう機会があれば生涯学習のモチベーションもあがるし、よいサイクルになる。IT を駆使したマッチングはいろんな分野で活発なので、この分野でも行政

が支援して信頼のあるシステムがあればよいと思う。

- ・退職後に活躍できる場の情報を早くから知る機会があればいい。
- ・現在は子育てで手一杯だが、地域や誰かのための活動をいつかしたい。ただ、自分に何ができるかわからない。それを引き出す機会があると嬉しい。このアンケートへの回答が、自分ができる僅かな活動の1つ。
- ・インターネット上には、よくもわるくも学習コンテンツは溢れていると思います。コンテンツをつくる方針で市税を使うことには反対します。ある程度の立場の人が、対面で話をする機会があれば（またはその機会を知ることができれば）よいと感じました。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・趣味がない為、老後に向けて色々なところからの情報から探せたらと思う。以前、習っていた事、やっていた事の復活なども…。
- ・回覧版で得られる情報も重要です。しかし、日付けが過ぎてしまっている場合もあります。タイムリーな情報はHP等で確認すべきだとは思いますが、自ら見に行くのは日常的には難しい。回覧板のスピードは昔からの問題ですね。
- ・生涯学習、趣味を生かすスクールなどの情報発信の方法に工夫がほしい。現在広報に頼るのみでなかなか情報が得られない。
- ・地域の歴史、防災や環境、魅力等について紹介したり教え合う緩やかな繋がりของกลุ่มやサイト、イベント等を作って息の長い活動をするとうい。その際、ジオパークの活動、都市部と農村部の交流、研究機関との連携等、工夫があると楽しいと思う。
- ・気軽に参加できるボランティア活動の情報を、つくば市のホームページやつくば市報等で市民に知らせてほしい。
- ・特に高齢者に対しては生涯学習を促すのは大変なことだと思う。またメディアやネットの活用は高齢者にとって難しいこともあるが、昨今興味を持つてる方も多いので何か簡単に学習できる高齢者向けアプリの教室などもあればよい機会になると思う。
- ・健康に恵まれ、元気に70代になり個人事業をしながら空いている時間はシルバーやボランティア活動で有意義に生活している。パートナーが亡くなり1人になった方々に車の運転ができなくなったり、体が不自由になって今までと同じように生活できなくなった方々に何かしてあげられたらと思うが、何ができるのか…。又、自分がそうなった場合どのようにSOSを発信したらよいか、もっと知っておきたい、知りたい。
- ・お膳立てをしてもらうことを待つ人が多いように思う。以前のように誘い合って何かをすることが少なくなっており、高齢者の目に留まるような告知が多いほど良いと思う。アナログ派も情報を得られるといい。
- ・後期高齢者になって認知機能が心配になっており、高齢者福祉についての情報が欲しい。
- ・交流センターへ楽しく通っている。今後免許証を返納したらつくバスを利用する予定だが、運行ルートが分かりにくい。

#### ■生涯学習の環境づくり

##### 【若者・働き世代】

- ・定年退職をしたころには、高齢者でも自分の好きなことを学びやすい環境が整っていてほしい。自分の経験や知識を求めている人に還元できる環境があるといい。
- ・学びたい人が学びたい内容を少しでも学べる環境の整備。
- ・生活に多大な影響があるか、非常に強い興味があることからしか、新たなものへの学習は始まらない。その点において、様々な市民への学習の働きかけは難しいが、学習する意志のある人を支援する仕組みは常に開かれるべきと考える。
- ・筑波大生だったころから、つくば市は美術や文化の発表の場や地域の理解が希薄だと感じる。専門的な施設展示や子ども向けイベントの開催に限らず、文化や美術が日常にあるものとしてカジュアルに楽しめる生活になってほしい。
- ・取り組む姿勢も必要だが、受けられる体制や環境整備が必要。
- ・社会力を育み、それを社会に還元したいと思わせる動機（仕掛け）作りが必要。同時に愛着

が湧くような市政運営も求められる

- ・ 教育、子育て、海外経験、介護、障害者に関わる機会など人生のいろいろな経験を総合して、自分の経験を社会全体が幸せな方向に向かうよう、社会に役立つ何かをしたいが、自分自身がどれもプロフェッショナルとはいえない、と感じており、一步踏み出せない。農家の人手不足なら、微力ながら週1回とはいかなくても月2回とかでも少しでも役に立ちに行きたいし、そういう人はたくさんいると思うので、農業、介護、教育、文化なんでももう一步磨きたいと思う時に地域にそういう機会や場や情報があればいいなあ、と感じています。今流行りのタイミーさんみたいなスタイルを取り入れれば、何か学んだり役に立ちたい人はいるのでみんなで困りごとを解決していく力は得られるように思うのです。その中に新しい技能を習得していくことを組み合わせれば、ウィンウィンになると思います。

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 音楽活動をしている団体が近隣市町村より多いと感じるが、市内で演奏はしていない印象。つくば市で発表の場があれば文化的な学習は深まるのではないか。
- ・ 受け身な人間でも学べる環境ができると嬉しい。地域貢献が会社の業務として認められるようになると嬉しい。子どもが社会と関わりながら学習できる機会が増えると嬉しい

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 現在、ギタースクールを経営しているが、レッスン場所の確保や発表の場を見つけるのに非常に苦労している。
- ・ とにかく一度参加することが大切。そこから興味があれば発展していく。特に、高齢者で自由になる時間がある人を家から出すことで健康維持・社会とのつながりが出来る。
- ・ 定年を過ぎ、ここまでやってこれたのは、家族の協力と思っている。今後は少しずつでも社会の役に立てればという気持ちにもなり始めたが、何から、どう関わっていけばいいのかが分からない。関西出身で、山口で育ち、就職後の3件目の異動で来た街の為、そんなに愛着はないが、住む環境、教育等ではいい街と思う。
- ・ スポーツボランティアや遊びのインストラクターなどを育成したら良いと思う。
- ・ 定年退職後の人材を活かせる取組みを考えて頂きたい
- ・ 60代、70代になっても、心身が健康なら、まだまだ社会のお役にたてることあるはず。不登校の中学生の支援をしている70代の友人がいるが、素晴らしいことと思う。生きがいにもなっているよう。そういう人材を発掘できるようなシステムがあるといい。
- ・ 大学のボランティア活動を9年程している。活動の継続ができるのは、運営されている方々のサポートが重要。
- ・ 仕事をしていた昨年までは、職場でたくさんの学習の機会があった。現在は自分でさがして参加しているが、職域と地域がつながるといい。自分のためではなく社会の役に立ちたいと思っている人もつくばには多いはずなので、学習の場が身近にあるといい。
- ・ 今年度から地域で活動しているいきいき教室に参加している。高齢になると移動等が大変になるので近くで講座や講演をきくことが出来、年齢層はありますが、いろんな方々と交流できありがたい。これからも充実していただきたい。60才になってから市の運動教室に参加している。市の教室は5年までしか継続できずその後は同好会の教室に参加し、市として継続できるようなシステムを望む。ボランティアとして地域のみまもり相談員を10年近く行ってきた。できれば若い方々の参加も望みます。ボランティアの育成支援をお願いしたい
- ・ 年寄りには交通手段が少ないので、行動することには足ふみをしてしまう。家にとじこもってばかり足腰が弱くなる前になにか行動したい。上の室の公民館も投票以外に行く機会もなく、使われないのはもったいない。なにか資格をお持ちの方沢山いらっしやると思うので、講座を開いてほしい。

### ■生涯学習のあり方

#### 【若者・働き世代】

- ・ 今後直面するかもしれない経済的な課題や、子育てや老齢に伴う心身の変化が訪れることを思うと、いつでも始められていつでも中断できる学び方がしたい。

- ・市としては、個人が学びたいと思うきっかけとなる出来事や機会の創出、学び続けていく環境（設備や施設に限らず、発表の場）を多く準備してほしい。また、それらを知りやすいように SNS を通じた広報発信をしてほしい。
- ・ 常々、巷で言われる社会の閉塞感や人とのかかわり合いが薄れたことによる孤独感・生きづらさを抱えて世の中を渡り歩いていくためには、常に学んでいく姿勢が大切だと思っている。学びはそれ自体が目的こともあれば、人とのかかわり合いの為に使える手段にもなり、自身とその他の可能性を広げる希望があり、自主的な活動が個人の幸福感や生きがいを高め、生活を営むことによって社会全体が緩やかな結束感を持ちながら多様な価値観を育めるものではないかと思う。
- ・ 以前は子育て、仕事、介護とボランティアを両立して、自分なりに地域貢献してきたと思えたのが首長の交代やグループリーダーの考えで積み上げられたことを失うこともあった。予算は限りあるし施設も限りあり、何を優先すべきが大変難しいことだと思う。だがまず第一に命を守ることが大切だと思われるため健康、医療、防災などは基本的に充実すべき事項だと思われる。次に自然を守ること、日本の伝統を守ること基本として多くの取り組みがされることを願います。
- ・ ただ知っている。漠然と知っているだけの雑学的な知識が学術的知識になるように探究すること。
- ・ 「地域学校協働活動」も「社会力」も今回初めて知った。今までは仕事に関する勉強が中心だったが、今後は地域活動にも目を向けたい。そういった意味で今回のアンケート依頼は意味のある物だと思った。

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 生涯学習という言葉が持つイメージが 50 歳代以上に思う。現役の社会人や子育て世代が更なるレベルアップの場として取り組み、地域に還元できるものであったほうがよい。他の言葉への置換や、社会全体の意識を変える手法も平行するほうがよい。「金融・経済リテラシー」の低迷を痛感するため、古い価値観からのアップデートを出来る経済に関する学びの機会を子どもから大人まで持てるアプローチが必要。
- ・ 生涯学習という言葉が持つイメージが 50 歳代以上に思う。現役の社会人や子育て世代が更なるレベルアップの場として取り組み、地域に還元できるものであったほうがよい。他の言葉への置換や、社会全体の意識を変える手法も平行するほうがよい。「金融・経済リテラシー」の低迷を痛感するため、古い価値観からのアップデートを出来る経済に関する学びの機会を子どもから大人まで持てるアプローチが必要。
- ・ 子ども達が住みやすいよう、つくば市全体で学が必要がある。
- ・ 転居が多い生活をしていたので地域の活動へ積極的に活動してこなかった。生涯学習とは自分と家族内のことだった。
- ・ 勉強に対して抵抗がなく楽しめる側だが、生涯学習という言葉に抵抗を持つ人は多いと思う。取り組みやすい表現があればいい。
- ・ 日々の生活と切り離されているような印象を受ける「生涯学習」という言葉は正直意味がよくわからないのですが、寛容な社会とある程度の余裕があれば、人間誰しも勝手に何かを学ぼうとするのだと思いますので、それに至らない人々への支援は行政の役目だとは思いますが、それ以上の具体的なところまでは行政がやるべきではないと思います。
- ・ 本アンケートで実施する内容は、地方自治体が関与するべきではない。余計な業務を発生させるくらいなら住民税を減らし、個人の自由に使わせたほうがよい。ネットコミュニティがあるので、自治体が関与しなくてよい時代に入っている。
- ・ 環境は常に変わっていたので、環境変化に合わせて、リカレント的な物は必要だった。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 受験教育一辺倒の現状では、教育(学習)は学齢期(20代前半)迄との考えが強いため“学習”という言葉に忌避感を持つ人も多く、生涯学習を声高に強調するとかえって窮屈に思えてきます。人は元々好奇心が旺盛なので、興味のあることを好きなタイミングで自由に知ることが出来るようになればと願っています。

- ・生涯学習とは、幾つになっても、新しい価値観を受け入れる姿勢と思う。好奇心のアンテナを伸ばし、学び合い、それを共有する姿勢を待つこと、そういう事が自在に出来る社会では、孤立とか、認知症と言った今とこれからの問題解決にも不可欠と思う
- ・いくつになっても全ての事に興味を持ち、チャレンジする心を持って生きることが健康につながると思う。人生すべて勉強する気持を持つことが最も大切と思い、私自身生きていきたいと思っています。
- ・趣旨は理解するが年齢を重ねると学習への気力が薄れてくるため、アンケートに積極的に対応できなかった。

## ■子どもの学習・教育

### 【若者・働き世代】

- ・金融に対する知識やリテラシーを教育の現場に取り入れると良い。
- ・大学の学びが全てで、生涯学習の概念は知っていても実際の関わりは非常に少ない。
- ・現実的ではないが、小学生の時とかは保護者の休日別で、クラスを分けるとか、授業するとかあれば PTA の役員でもめるとか減るのでは。もめていないかもしれませんが。土日休みの人ばかりではないですから

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・子ども達にあらゆる経験をできるチャンスを与えて欲しい。
- ・親子で体験できる講座や子ども向けの大学授業体験が充実してほしい。子どもの興味関心に応える場の環境を整えてほしい。
- ・つくば市に高校がほしい。子どもが勉強しやすい環境をつくる。
- ・各分野の専門家が多数いるため、プロの知識を活用した市民教育、学校教育ができるといい。
- ・「学び」と「勉強」の違いを認識、理解をすることがスタートだと考えている。理解をする上で対話が必要になるケースもあるがその対話の仕方わからない方も多いかと思うので、対話の仕方を学校教育に取り入れるべきだと考えている。
- ・つくば市の中心部を見ていて遊び場、憩いの場が少ないと感じる。意外と都内の方がより子供が遊べる遊具のある公園が充実していて、体を使って色々な経験、体験が出来る。正直つくば市は子供が体力をつけていける環境が無いと思う。勉強する学校環境を整えるのも大事だが、そういった生きていく上で必要な体をつくる場があっても良いのではと。後は、つくば市は研究所が多くあるので物を作る、産み出す楽しさを学習して体験出来ると良い。
- ・つくば市は人口増加のなかで、高校の問題を早く進めなければ。10年、15年後の人々が他県やつくば市で子育てしづらいと言い出して、人口減少になってからでは遅い。水戸の高校と人口での検証だけではなく、つくば市の人口の声をもっと聞いてほしい。偏差値が高い高校だけでは人が溢れてしまうのは目に見えるはず、高校が増えて地元に残る学生や専門学校の多様性もあればもっと地元に残り、社会人になっても働け、住めるつくば市を目指してほしい。自分の周囲の人は高校を考え引越した家族はたくさんいる。
- ・義務教育に、金融教育を取り入れていくことを推奨。
- ・世界とつくば市をつなぐ取り組み、子供達が日本だけでなく世界中で活躍できるよう教育

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・学校運営には教職員と学童保護者だけでなく、地域住民と意見交換の学校維持管理の運営をすることが生涯学習と思う。
- ・昨今は運動会の競技も安全第一で面白みがなく、秋の大運動会というイメージからかけ離れた開催時期になっている。おらかな学校生活を送らせた。

## ■子育て世代のサポート

### 【若者・働き世代】

- ・若い世代が生きやすい社会にしてほしい。自分より下の世代はこれから子どもを産みたくてもお金がなくて産めないという。つくば市は住みやすいけどもっとやれると思う。

- ・ 子どもを持つつもりはないが、子育てをする方の生活環境はより良いものになってほしい。自分は健常者で日本国籍を持っているが、障がい者や外国人が生きやすい環境になってほしい。他者の生活に寄り添える行動も平行して行われる場があれば積極的な参加をしたい。

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 広報には年配向けの講座が多いと感じる。中には、語学講座など平日の夜に開催されていたり、社会人向けのものもあるが、子育て世代には難しい。つくば市は子供が多い為、講座中は乳幼児の保育をサポートしてもらえる環境の整備をして欲しい。
- ・ 専業主婦向けの講座ではなく、スキルアップに直結する講座（オンライン含む）が充実して欲しい。その間に小学校低学年までの子どもが待機できる遊び場や、託児サービスがあると参加しやすい。
- ・ 働きながら資格を取りたいと思うので、土日参加できる講座があるといい。子どもの面倒も見てもらえればより良い。
- ・ 平日日中の講座が多くて諦めている。動画配信をしてもらい、いつでも学べるようにしてほしい。小さい子どももいるので zoom などオンライン参加できるようになってほしい。
- ・ 未就学児がいても楽しめる音楽会の機会が欲しい。もしあるのなら、情報発信をもらいたい。つくばコーヒーフェスティバル（戸外）での生演奏のような場所なら、子連れも利用しやすいです。
- ・ 子どもが産まれてからは、社会の繋がり（家庭外とのコミュニケーション構築）が必要だと感じる。0～1歳児コミュニティを形成する場が少ないため保護者との繋がりを今現在持っていない。子育て支援センターは知っているが、授乳室がなかったり、新型コロナウイルスの影響で飲食禁止になっていて不便。保護者同士が乳幼児を遊ばせながら交流を深められる場が多く欲しい。
- ・ 子育て世代にやさしい支援がほしい。仕事にも活かせる資格習得・学習機会ができるよう、土日や経済的なサポートもあるといい。
- ・ 子育て中の共働き世帯は、受講が難しい。親子で参加でき、共に学習につながるような講座やイベントがあると参加しやすい。
- ・ みどりの地区は乳幼児向けのインターナショナルスクールがないので欲しい。
- ・ 生涯学習は人生を豊かにする手段の一つとして必要。制限がある中でも子育てとスキルアップを両立できる、充実した時間を過ごしたい。自宅学習や、施設での保護者の学習中は子どもを預けられるシステムの構築といった工夫がほしい。つくば市は子育て世代や核家族が多いので、同じ考えがいると思う。
- ・ 昔乳幼児学級に参加をしたときは、母親達の自主運営で相互保育形式だった。その時の有人とは今も縁があり、子育ては繋がりが非常に大事だと思う。今は行政の子育てサービスが充実しているが、反面受け身な親御さんが多くて継続的に繋がるのが難しい印象。同じ親同士でつながり、多世代と繋がれば子育てしやすい社会になるのではないかな。

#### ■時間がない・できない

##### 【若者・働き世代】

- ・ 多忙のため、仕事以外の活動が厳しい。
- ・ 市で行っている講習に参加させてもらったりしているが、一部の情報発信で知るのが遅れて参加できなかったり時間が日中しかやっていると参加できない、仕事をしてるのに無理。せめて 18:30 以降とかでないと。高い税金払ってこれはない…といつもイラつく。日中の人（ヒマしてる人）優遇をどうにかしてほしい。市内の同職種のみでの触れ合い（ただ話すだけ）みたいなのあるといいなと思う。幼、保、こども園、託児等の人達のみで自分の園の問題点だったり話しあえるといいのになと思う。つくば市の事業を他県（東京）の業者に依頼するのどうかなと思う。
- ・ 持病がある事と母の介護でなかなか外に出る事が難しい。学べる人ばかりではないし、周りを見ても意欲のある人に会った事ない。この取り組みはいいとは思いますが一部の人だけかなと思う。

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 平日日中の講座が多くて諦めている。動画配信をしてもらい、いつでも学べるようにしてほしい。小さい子どももいるので zoom などオンライン参加できるようになってほしい。
- ・ 共働き家庭では平日日中の地域や学校での催しなどに参加する時間を作ることが難しいと思う。
- ・ 仕事があるので、平日開催のイベントは参加ができない。また、イベントの様子が見えにくいので初めて参加する人のハードルが高くなっている。
- ・ 学びたい気持はあるが、仕事もあり、平日や時間に限りがある講座などには通うことができないので、市民がオンラインなどで曜日、時間にあまり制限のない講座をひらいてくれると参加しやすくなる。
- ・ 仕事や住居の理事会で多忙のため、生涯学習に割ける時間的余裕がない。余暇は子育てに時間を割きたい。市は働き方改革をより推進していただくことを希望する。
- ・ 多忙なので興味が合っても取り組む時間が取れずにいる。

### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 意欲のある方は年齢に関係なく学習意欲がある。ただ、講座がある会場に行くのが困難だったりするのは残念な事だと思う。・ 移動図書館を利用した時、年上の女性がいつも楽しみにしているという話を聞いたが、その車輛が老朽化しているらしい。各地域にそんな方が、子供だけではなく多く存在すると思うので、車輛とまわる場所や時間（女性はいつでも行ける訳ではない、年配者は孫の世話を任されていると巡回時刻に行けない。在宅の人も介護しているとその場を離れられない）に制限がかかるのはどうかと思う。
- ・ 今は、自分の健康だけ、いつまで元気で生きる事が出来るか、家族の為に役に立てるか、毎日、毎日を生きている。
- ・ 地域で気軽に集まる場所が少ないため人と人との繋がりが薄い、中心部以外車がないと行動するのに不便。地域交流センターの講座なども募集人数が少なく申し込んで受けられないことが多い。
- ・ つくば市にも子ども食堂がいくつかあるが良い取組みだと思う。以前は交流センターで体操などをしていたが、今は高齢のため外に長時間出るのは厳しい。

## ■施設全般に関すること

### 【若者・働き世代】

- ・ 「推し活」に熱心だが、東京や神奈川で開催されることが多く、つくばではイベントが少ないと感じている。つくばに引っ越してきて約 1 年半が経ち、この地域には「エンタメ」に関してまだ成長の余地があると考えている。ドームは難しいかもしれないが、アリーナ規模の施設を作れば有名アーティストやタレントを呼ぶことができ、経済効果も期待できるのではないかと。北の水戸、南のつくばと謳われるようなアリーナを作り、市民に音楽を届けることで地域の文化や心の豊かさを育むことができる。
- ・ 気軽に利用できるスポーツ施設が少ないと感じる。公園や緑道は、日向が多いので夏は利用し辛い。
- ・ 図書館を増やして欲しい。
- ・ 市立図書館が、隣の土浦市と比較すると物足りなく感じる。地域交流センターなどの公共施設の利用条件が厳しい。市民が優遇されるのは当然としても、グループのメンバーに市外の人が多いと利用できないのは不便。市民中心の団体との差を設けて、市民の割合が少ない団体でも利用できるようにして欲しい。
- ・ つくば市は、とても住みやすく、今後発展していくポテンシャルが高いと思います。そのため、長期的な生涯教育の施策の立案・実行は、やろうと思えば出来ると思います。生涯教育という観点からは、まずは『場』の提供が大事だと考えています。そのため、従来及びデジタルの書籍を充実させた図書館（24 時間開館）、思索のための屋内外フリースペース、会議室、オードトリウム、公園等、つくば市の中心部に作るべきだと考えています。つくば市には、現在それらが点在しているが、それらをまとめて、“賑わい”を創出したらいいと思います。

ます。“賑わい”ができれば、自然と人との交流が広がり、生涯教育について人の間で広がると思います。

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ つくば市はたくさんある良い公園を生かしきれていない。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 駅前（つくば駅）の有効利用、活性化が必要だと思うがどんどん寂れていく。社会教育、生涯学習の拠点を駅前に集中させたらどうか？マンションも多いし、交通の拠点でもあるので最も適している。
- ・ 市役所だけでなく、地域交流センターでもボランティア養成講座を実施してほしい。
- ・ 県内、国内で使用可能なスポーツ施設拡充（アスリートを呼べる施設）
- ・ 市立図書館が受験生の学習の場となっているが、本来の役割とは全く違うと思う。市民が研究・調査・学習の場としてもっと活用しやすい様に工夫して頂きたい。その役割を大学図書館にまかせ切りで良いのか？天下のつくば市として恥かしい気がする
- ・ 老齢のため、健康と心の維持の為の指導を受けられる施設の充実を図って欲しい。

### ■地域・地区について

#### 【若者・働き世代】

- ・ 現在の住環境では近所付き合いが少なく、地域に住んでいる実感が湧きにくいと感じている。今後、高齢化が進む社会においては、共助の視点に立った助け合える関係性を築くことが重要だと考えている。
- ・ 日本人と外国人が互いの文化や生活習慣を理解すれば、コミュニケーションを取りながらストレスの少ない生活を送れる。互いに助け合える環境を目指していきたい。
- ・ 地区会のような半強制的組織は解散してほしい。つくば市全体で個人の多様性を尊重した柔軟な政策を期待したい（社会力にあまりこだわらないでほしい）

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 近所付き合いが希薄な今、各地域で繋がりを持てる機会が欲しい。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ みどりの地区は新しい町なので地域の交流が無く、近所付き合いも少ない。公民館を作ったり、お祭りをやったりして地域交流をすすめて欲しい。
- ・ 個人情報大切な守るべき事だが、自宅の「表札」を出していない方が多いのは災害、犯罪、配布物業者の誤配宅の観点からも心配。特に大震災が発生した際など互助の面、協力の面が不安。

### ■大学や研究機関について

#### 【若者・働き世代】

- ・ つくば市は研究学園都市という他にない一面をもっと押し出していいと思う。大学と連携した活動を小中高生だけでなく、大人向けにも広げることで魅力が伝わり、生涯学習にも繋がる。垣根なく開かれた大学として、多くの市民に筑波大学の活動や研究を認知してもらいたい。
- ・ つくば市は研究機関が多く、博士号取得者や外国籍の研究者も多いが、交流の機会がない。
- ・ つくば市の研究機関に、より多くの市民を採用して欲しい。もちろん、レベルに見合う学習は必要。「こんな力量を兼ね備えた方を採用する→こんな勉強をしてもらおう→そのために市は学習機会を設ける」のような流れがよいのではないか。どんな形でもいいから、研究機関で働きたいと思っている人は多いのではないか。これだけ多くの研究機関がある地域は他にないと思う。地域活性化のため、地域住民に長く元気に働き続けてもらうためにも研究機関をうまく活かすべきだと私は思う。

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 勉強できる環境や場所を積極的に作ってほしい。外国人や筑波大との連携もお願いしたい。

- ・ 科学教育は人生を豊かにする。つくばならではの国研および優秀な大学がある地域は日本でも唯一無二の存在、研究都市つくばを今一度価値に繋げて欲しい。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 学校だけの教育だけではなく、社会人の経験を学生に教えることにより、学生に社会学を教えることも重要だし、農業と一緒にやることにより、その大変さを知ってもらい農産物の価格が高くなければ農家が倒産することを学習してもらいたい。ゴミを出さない、容器の開発（土に戻せる容器の開発）日本が遅れているものを開発する研究機関の誘致。つくばの研究機関は何をやっているのかわからない

### ■交流の場

#### 【若者・働き世代】

- ・ 長く住んでいる方や研究者、ここ 2, 30 年で住んできた方、学生など、わかりやすく多様な人がいるので、交流機会を増やし、世代を超えて相互に学べるような機会があると嬉しい。
- ・ 片親の子どもや一人暮らしの高齢者も孤立しないよう、繋がりを持たせられる交流の場所が欲しい。

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 交流からビジネスが始まるような場所を作ると良いと思う。既にあるのなら、時間帯に幅を持たせるとより良い。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 独居生活でも孤立しないよう、いつでも誰でも通えるコミュニティセンターを希望する。
- ・ 地域での子供達の見守りは重要なことだと思いますが、全く知らない子への声掛けは難しいです。子育てを卒業した世代が子育て世代や子供達との交流があればよいのかなと思います。また、子供がいないとアンテナが小さくなって情報が得づらくなるので広報活動が重要かと思います
- ・ シニアサロンなど、同世代の交流を中心としたものがほとんどのため、幅広い年代の交流の場があれば良い。

### ■生涯学習のアイデア

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 子育てをしているとスポーツ少年団など子どもを通じた生涯学習への参加の機会がある。子育てが終わったあとも、自分の趣味や興味のある分野について学習できる下地を整えておいてほしい。市民楽団の練習場所や楽器・楽譜の保管場所に苦慮している。生涯学習を継続するための一助として、廃校を練習や保管場所として市民が利用出来る取り組みを作って貰いたい。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ つくば市の高齢者には、知識、能力、経験でグローバルな人材が少ない。この方々をどのように活かしていくか。初等教育の延長のような平均的な制度設計は無用。
- ・ 高齢のためにどこかに向いて参加することは厳しいため、脳を鍛えるオンラインでの遊びはどうか。
- ・ 地域ボランティアの取り組み、ポイント制の導入

### ■外国人に関すること

#### 【若者・働き世代】

- ・ 子どもを持つつもりはないが、子育てをする方の生活環境はより良いものになってほしい。自分は健常者で日本国籍を持っているが、障がい者や外国人が生きやすい環境になってほしい。他者の生活に寄り添える行動も平行して行われる場があれば積極的な参加をしたい。
- ・ 異文化交流の機会がもっと増えたらと思う。災害発生時に日本人がする行動を学ぶことで助け合えるようにしたい。

### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ 勉強できる環境や場所を積極的に作ってほしい。外国人や筑波大との連携もお願いしたい。
- ・ 外国人向けの日本語講座が少ない。市役所や市民交流センターで日本語教室を開催し、交流の機会をつくってほしい。

### ■障がい者に関すること

#### 【若者・働き世代】

- ・ 子どもを持つつもりはないが、子育てをする方の生活環境はより良いものになってほしい。自分は健常者で日本国籍を持っているが、障がい者や外国人が生きやすい環境になってほしい。他者の生活に寄り添える行動も平行して行われる場があれば積極的な参加をしたい。

### ■その他

#### 【若者・働き世代】

- ・ 指定されたゴミ捨て場まで遠いため、地区の高齢者が苦勞している。近場のゴミ捨て場が利用したい。
- ・ 原因は様々だと思うが、人々の心のゆとりがなくなって社会貢献する人が減っている。
- ・ とても美しい街だが、年々人口も増加しており交通渋滞が年々増えている。高齢者の免許の返納も増加することが予想される。自家用車以外で高齢者や子供達が利用できる交通手段があれば、理想。宇都宮のライトレールが好評だが、つくば市も将来に向けて新たな取り組みができることを期待。（ロボットを活用できたらいいなあ。空飛ぶ車とか）土地の広さを十分に生かした取り組み
- ・ 基礎的な生活能力を養ってほしい。農に対しても関わってけるとよい

#### 【子育て世代（乳幼児～中学生までのお子さんを持つ方）】

- ・ より良いまちづくりにするための未来が（アンケートを通して）見る事が出来て嬉しい。市外・県外からも訪れたいと思える場所であるように、弱者を守ってくれる街で在り続けてほしい。
- ・ ①Looking for walking Path clean for Morning & evening time.（※朝と夕方にきれいな散歩道を探しています。）②Looking to ancreak Gomidays（※ゴミの日を充実させたい）
- ・ 日々のルーチンで手一杯のため、地域や社会に気を向けることは難しいが意義はあると思う。

#### 【高齢世代（リタイア後含む）】

- ・ 自分なりに社会的貢献は今まで自分を犠牲にして充分にやってきている自負があるのでこれからは、気ままにゆっくりとアクティブな生活を送りたい。個人個人が社会教育に関しては考え方が違うので、ある程度の強要は必要ない。
- ・ 夫婦ともに病気で生活にゆとりのない人間には回答の意義があまりないと思うため、参考になるような意見やアイデアはない。
- ・ 町内会の人々と高齢者テニス（平均年齢 79 歳）を 30 年続けているが、最近は大病のため学習が疎かになり、老人施設にて世話になっている。生涯学習のこれからを注目していく。
- ・ 教育委員会の職員、その他職員は市民目線に対応していると思う。分けの分からない市民が増える中、頑張って職務に励んで頂きたい。
- ・ 皆で地球を綺麗にしたい。
- ・ 80 歳を過ぎていたのであまり希望を持ってない。
- ・ 自分の身体のことので精一杯。力になれなくて申し訳ない。

## 2. 児童生徒 WEB アンケート

### (1) まとめ

#### 授業以外の学び（取組）について

■現在授業以外で学んでいる児童生徒は7割以上で、学習塾やスポーツ関係の習いごとが多い。また、今後学びたいものでもスポーツ関係は人気。

- 授業・部活動以外で学んでいることがある児童生徒はともに7割以上となっています。
- その内容は、児童生徒ともに「学習塾」と「スポーツ系の習いごと」が多くなっています。（児童は「スポーツ系の習いごと」が最多、生徒は「学習塾」が最多となっています。）
- これから学びたい、取り組みたい内容としては、児童生徒ともに「スポーツや健康に関すること」が最も多くなっています。次いで児童は「工作やDIYに関すること」、生徒は「音楽や美術、書道、映画など芸術活動に関すること」が多くなっています。
- 上記を気軽に学ぶ機会があったら「参加したい」が児童生徒ともに8割以上となっています。
- これから学びたい・取り組みたい内容がない児童生徒は約1割おり、その理由は、児童生徒共に「興味がない・面倒くさい」が最も多く、次いで児童は「時間や余裕がない」、生徒は「学びたいことや取り組みたいことがわからない」となっています。

■生徒より児童の方が、つくば市は大人になっても学びたいことが学べるまちという意識がある。

- つくば市は大人になっても学びたいことが学べるまちだと思うかについては、児童は8割以上、生徒は7割が「思う」（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）と回答しています。また、児童は「そう思う」割合が生徒より高くなっています。

#### 地域のことについて

■児童生徒ともに地域とのつながりは比較的良好であり、地域のお祭りなどへの参加が多い。

- 地域の人とよくあいさつしたり、話をしたりするかについては、児童生徒ともに7割以上が「思う」（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計）と回答しています。
- 地域の行事やボランティアへの参加については、児童生徒ともに「地域のお祭り」や、「地域のゴミ拾いや花植えなどの清掃・美化活動」が多くなっています。

■地域の人から教わりたいこと・地域で取り組みたいことについては、スポーツが人気。

- 地域の人から何かを教わったり、一緒に取り組んだ経験の有無については、児童生徒ともに「教わったり取り組んだことはない・わからない」が最多となっていますが、教わった内容の中では、児童は「自然や環境に関すること」や「スポーツなどに関すること」、生徒は「職業体験に関すること」や「スポーツなどに関すること」が多くなっています。
- 今後地域の人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことについては、主に「伝統芸能・歴史文化に関すること」、「スポーツなどに関すること」が多く、内容としては、「地域の歴史や伝統」を知りたい、地域の「スポーツ大会等」へ参加したい児童生徒が多くなっています。

## (2) 単純集計

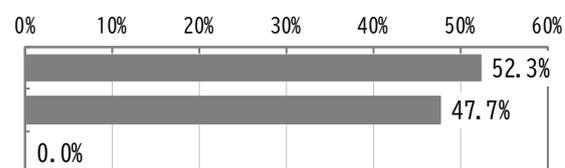
### あなた自身のことについて

#### 問1 学年 (SA)

回答者の学年は、「小学校5年生」が52.3%、「中学校2年生・義務教育学校8年生」が47.7%となっています。

		票数	%
1	小学5年生	1,822	52.3%
2	中学2年生・義務教育学校8年生	1,662	47.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	3,484	100.0%

n = 3,484



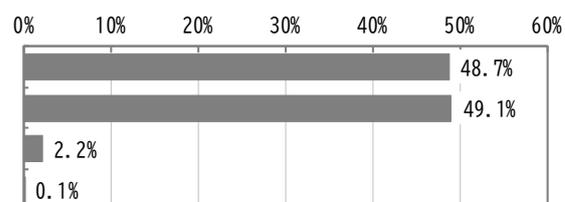
回答対象者：全員

#### 問2 性別 (SA)

回答者の性別は、「女性」が49.1%、「男性」が48.7%となっています。

		票数	%
1	男性	1,697	48.7%
2	女性	1,709	49.1%
3	答えない	76	2.2%
	無回答・無効	2	0.1%
	合計	3,484	100.0%

n = 3,484



回答対象者：全員

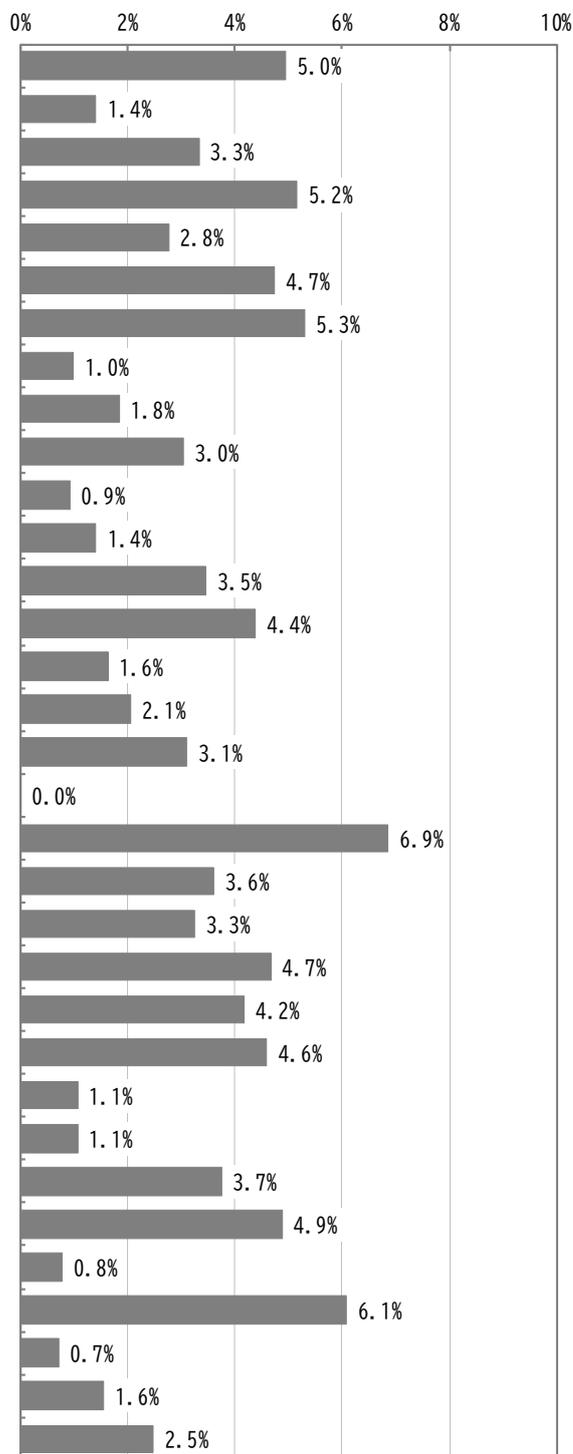
**問3** 中学校区（SA）※回答時は通学校を選択

小学生の回答者は、「竹園東小学校」が6.9%と最も多く、次いで「谷田部小学校」が6.1%、「香取台小学校」が5.3%となっています。

<小学校>

		票数	%
1	吾妻小学校	70	5.0%
2	今鹿島小学校	20	1.4%
3	桜南小学校	47	3.3%
4	大曾根小学校	73	5.2%
5	小野川小学校	39	2.8%
6	葛城小学校	67	4.7%
7	香取台小学校	75	5.3%
8	要小学校	14	1.0%
9	上郷小学校	26	1.8%
10	茎崎第一小学校	43	3.0%
11	茎崎第三小学校	13	0.9%
12	茎崎第二小学校	20	1.4%
13	栗原小学校	49	3.5%
14	研究学園小学校	62	4.4%
15	九重小学校	23	1.6%
16	栄小学校	29	2.1%
17	島名小学校	44	3.1%
18	竹園西小学校	0	0.0%
19	竹園東小学校	97	6.9%
20	手代木南小学校	51	3.6%
21	並木小学校	46	3.3%
22	二の宮小学校	66	4.7%
23	沼崎小学校	59	4.2%
24	東小学校	65	4.6%
25	前野小学校	15	1.1%
26	真瀬小学校	15	1.1%
27	松代小学校	53	3.7%
28	みどりの南小学校	69	4.9%
29	柳橋小学校	11	0.8%
30	谷田部小学校	86	6.1%
31	谷田部南小学校	10	0.7%
32	吉沼小学校	22	1.6%
	無回答・無効	35	2.5%
	合計	1,414	100.0%

n = 1,414



回答対象者：市内小学校の5年生（特別支援含む）

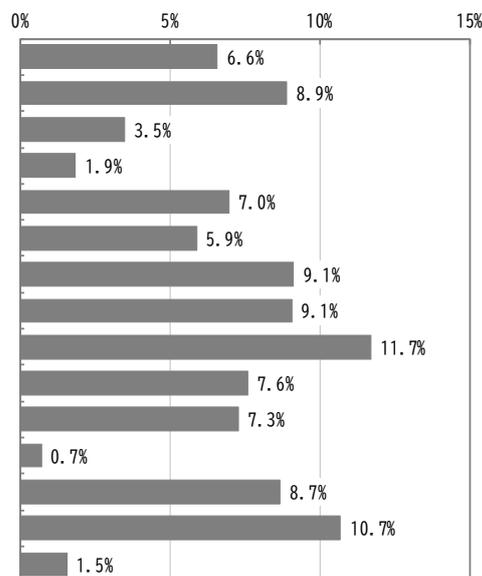
※竹園西小学校は回答なし

中学生の回答者は、「手代木中学校」が11.7%と最も多く、次いで「谷田部東中学校」が10.7%、「高山中学校」と「竹園東中学校」が9.1%となっています。

<中学校>

		票数	%
1	吾妻中学校	85	6.6%
2	大穂中学校	115	8.9%
3	釜崎中学校	45	3.5%
4	研究学園中学校	24	1.9%
5	桜中学校	90	7.0%
6	高崎中学校	76	5.9%
7	高山中学校	118	9.1%
8	竹園東中学校	117	9.1%
9	手代木中学校	151	11.7%
10	豊里中学校	98	7.6%
11	並木中学校	94	7.3%
12	みどりの南中学校	9	0.7%
13	谷田部中学校	112	8.7%
14	谷田部東中学校	138	10.7%
	無回答・無効	20	1.5%
	合計	1,292	100.0%

n = 1,292



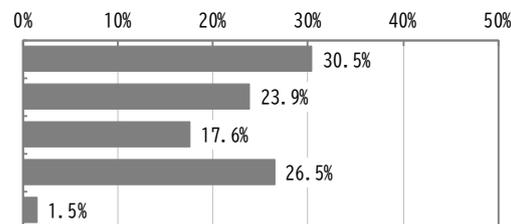
回答対象者：市内中学校の2年生（特別支援含む）

義務教育学校の回答者は、「学園の森義務教育学校」が30.5%と最も多く、次いで「みどりの学園義務教育学校」が26.5%、「春日学園義務教育学校」が23.9%となっています。

<義務教育学校>

		票数	%
1	学園の森義務教育学校	237	30.5%
2	春日学園義務教育学校	186	23.9%
3	秀峰筑波義務教育学校	137	17.6%
4	みどりの学園義務教育学校	206	26.5%
	無回答・無効	12	1.5%
	合計	778	100.0%

n = 778

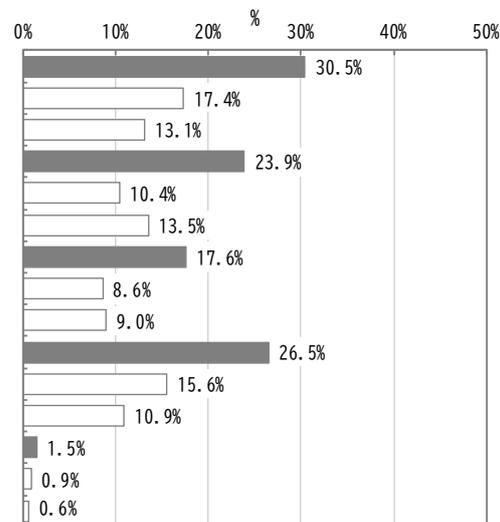


回答対象者：市内義務教育学校5年生と8年生（特別支援含む）

<義務教育学校 学年内訳>

		票数	%
1	学園の森義務教育学校	237	30.5%
	（5年生）	135	17.4%
	（8年生）	102	13.1%
2	春日学園義務教育学校	186	23.9%
	（5年生）	81	10.4%
	（8年生）	105	13.5%
3	秀峰筑波義務教育学校	137	17.6%
	（5年生）	67	8.6%
	（8年生）	70	9.0%
4	みどりの学園義務教育学校	206	26.5%
	（5年生）	121	15.6%
	（8年生）	85	10.9%
	無回答・無効	12	1.5%
	（5年生）	7	0.9%
	（8年生）	5	0.6%
	合計	778	100.0%

n = 778



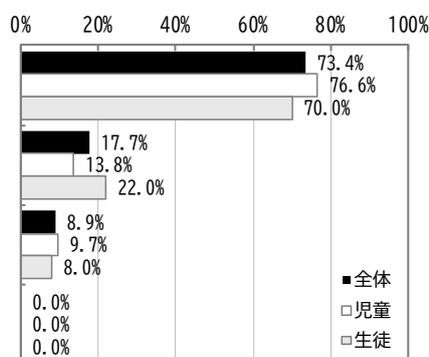
## 授業の時間以外の学びについて

※児童は小学5年生（義務教育学校含む）の合計、生徒は中学2年生と義務教育学校8年生の合計

### 問4 現在、学校の授業・部活動以外で学んでいること、取り組んでいることはあるか（SA）

全体でみると、「ある」が73.4%、「ない」が17.7%となっています。また、児童は「ある」が76.6%、生徒は70.0%となっています。

		票数	全体	児童	生徒
1	ある	2,558	73.4%	76.6%	70.0%
2	ない	617	17.7%	13.8%	22.0%
3	わからない	309	8.9%	9.7%	8.0%
	無回答・無効	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	3,484	100.0%	100.0%	100.0%



n = 3,484

1,822 1,662

回答対象者：全員

中学校区別にみると、全ての中学校区で「ある」が最も多く、特に研究学園が9割以上となっています。

### 問4 × 中学校区別クロス集計

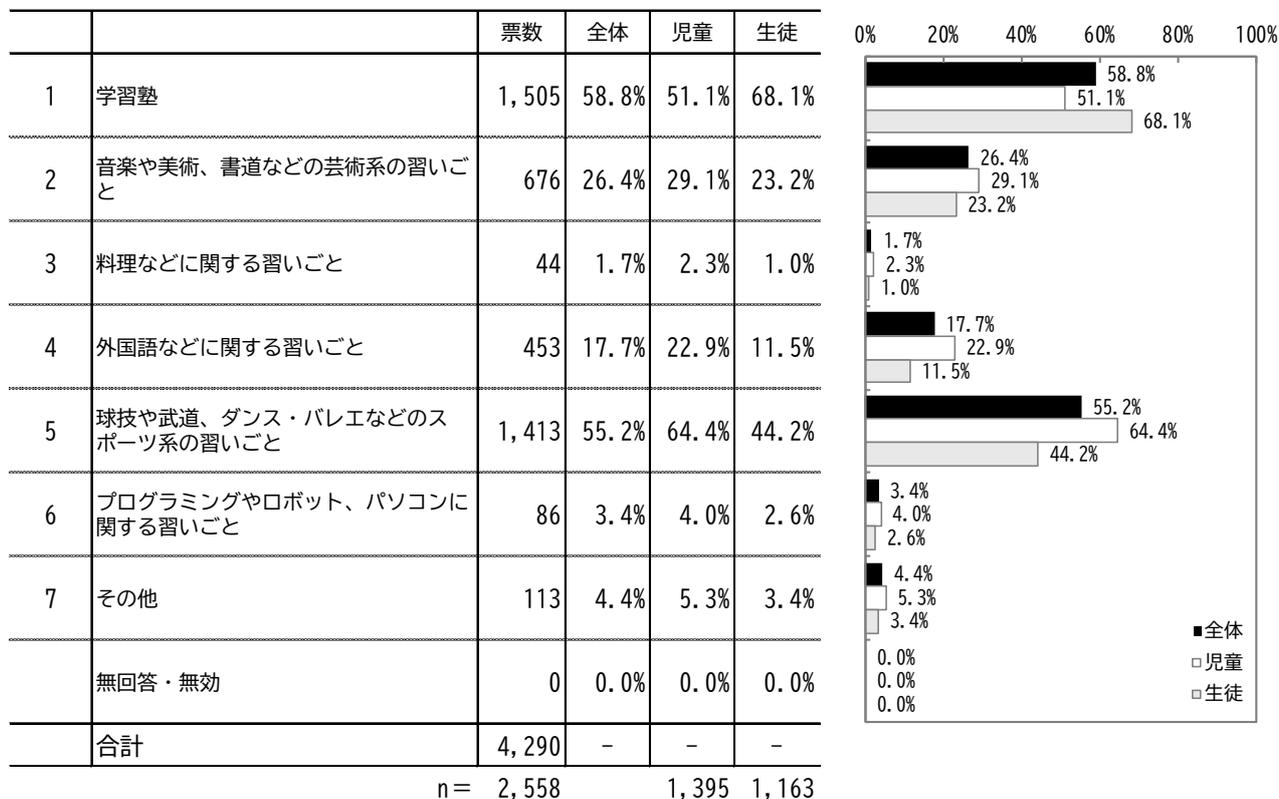
	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
ある	57.7	64.4	69.5	69.9	75.2	70.2	73.4	73.8	77.6
ない	29.9	22.2	26.1	20.6	15.8	15.5	18.8	17.8	15.4
わからない	12.4	13.4	4.4	9.6	9.0	14.3	7.8	8.4	7.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	荳崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
ある	81.9	79.7	74.7	67.9	66.4	76.7	82.3	93.0	70.5	65.7
ない	12.3	12.3	17.2	19.2	26.1	16.5	10.5	2.3	20.5	19.4
わからない	5.8	8.0	8.1	12.8	7.6	6.8	7.2	4.7	9.1	14.9
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

**問5** 問4で「ある」と回答した方 それは、どのようなことか (MA)

全体でみると、「学習塾」が 58.8%、「球技や武道、ダンス・バレエなどのスポーツ系の習いごと」が 55.2%、「音楽や美術、書道などの芸術系の習いごと」が 26.4%となっています。

また、児童は「球技や武道、ダンス・バレエなどのスポーツ系の習いごと」が 64.4%、生徒は「学習塾」が 68.1%と最も多くなっています。



回答対象者：学んだり、取り組んだことがある方（問4で「1」を選択）

中学校区別にみると、秀峰筑波、谷田部、谷田部東、竹園東、吾妻、並木、春日、みどりの、学園の森、研究学園は「学習塾」、大穂、豊里、手代木、高山、荻崎、高崎、みどりの南は「球技や武道、ダンス・バレエなどのスポーツ系の習いごと」、桜は「学習塾」と「球技や武道、ダンス・バレエなどのスポーツ系の習いごと」が同率で最も多くなっています。

問5×中学校区別クロス集計

	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
学習塾	50.6	50.0	51.1	61.0	50.4	60.5	60.2	57.4	64.5
音楽や美術、書道などの芸術系の習いごと	27.8	13.0	29.8	24.7	29.3	22.6	31.9	24.8	30.7
料理などに関する習いごと	1.3	2.6	2.1	0.7	2.5	0.6	2.7	1.4	2.4
外国語などに関する習いごと	13.9	17.5	15.6	12.3	19.8	14.7	18.6	18.4	20.5
球技や武道、ダンス・バレエなどのスポーツ系の習いごと	44.3	56.5	56.7	50.7	55.8	62.1	52.2	57.4	54.2
プログラミングやロボット、パソコンに関する習いごと	6.3	1.3	2.1	0.7	2.5	5.1	4.0	2.8	3.0
その他	5.1	7.1	4.3	2.7	8.3	2.8	5.3	4.3	3.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	荻崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
学習塾	66.1	60.4	69.1	39.6	45.6	62.0	75.4	68.8	38.7	52.3
音楽や美術、書道などの芸術系の習いごと	30.7	28.9	28.8	22.6	29.1	20.9	24.6	36.3	12.9	27.3
料理などに関する習いごと	1.6	1.3	0.0	0.0	1.3	3.2	1.5	0.0	1.6	4.5
外国語などに関する習いごと	21.3	18.1	17.3	11.3	7.6	19.6	17.9	30.0	14.5	22.7
球技や武道、ダンス・バレエなどのスポーツ系の習いごと	54.3	59.7	54.0	54.7	57.0	53.2	51.8	58.8	62.9	56.8
プログラミングやロボット、パソコンに関する習いごと	4.7	1.3	6.5	3.8	0.0	1.9	3.6	7.5	6.5	6.8
その他	5.5	2.7	0.7	5.7	3.8	6.3	2.1	1.3	4.8	9.1
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

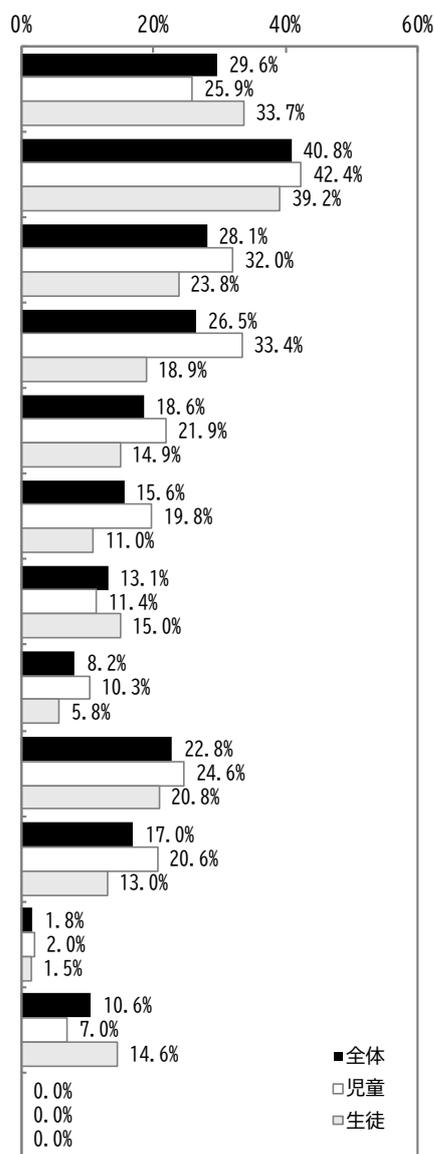
**問6** 学校の授業以外でこれから学んでみたいこと、取り組んでみたいことはあるか (MA)

全体でみると、「スポーツや健康に関すること」が40.8%、「音楽や美術、書道、映画など芸術活動に関すること」が29.6%、「料理や裁縫などに関すること」が28.1%となっています。

また、児童は「工作やD I Yに関すること」が33.4%、生徒は「音楽や美術、書道、映画など芸術活動に関すること」が33.7%と「スポーツや健康に関すること」に次いで2番目に多くなっています。

		票数	全体	児童	生徒
1	音楽や美術、書道、映画など芸術活動に関すること	1,032	29.6%	25.9%	33.7%
2	スポーツや健康に関すること	1,423	40.8%	42.4%	39.2%
3	料理や裁縫などに関すること	978	28.1%	32.0%	23.8%
4	工作やD I Yに関すること	922	26.5%	33.4%	18.9%
5	自然体験や生活体験に関すること	647	18.6%	21.9%	14.9%
6	歴史や文化に関すること	542	15.6%	19.8%	11.0%
7	外国語や外国文化など国際交流に関すること	457	13.1%	11.4%	15.0%
8	社会問題に関すること（自然環境や福祉、防災など）	284	8.2%	10.3%	5.8%
9	パソコンやインターネットに関すること	795	22.8%	24.6%	20.8%
10	A I や科学技術などに関すること	591	17.0%	20.6%	13.0%
11	その他	61	1.8%	2.0%	1.5%
12	ない・わからない	369	10.6%	7.0%	14.6%
	無回答・無効	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	8,101	-	-	-

n = 3,484                      1,822   1,662



回答対象者：全員

中学校区別にみると、研究学園は「工作やD I Yに関すること」、その他の中学校区は「スポーツや健康に関すること」が最も多くなっています。

問6×中学校区別クロス集計

	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
音楽や美術、書道、映画など芸術活動に関すること	21.9	28.9	34.5	31.1	28.0	30.6	33.1	27.7	30.8
スポーツや健康に関すること	41.6	43.5	43.3	40.2	42.2	43.7	37.0	37.7	41.1
料理や裁縫などに関すること	26.3	28.5	32.0	28.7	32.0	25.4	32.5	19.9	21.5
工作やD I Yに関すること	22.6	24.7	28.1	18.7	27.0	32.9	29.2	22.5	18.7
自然体験や生活体験に関すること	10.2	18.4	20.7	19.1	18.9	19.8	21.1	12.6	14.0
歴史や文化に関すること	12.4	9.6	20.2	12.4	16.1	17.1	20.8	12.6	8.4
外国語や外国文化など国際交流に関すること	9.5	9.6	16.3	14.4	11.2	12.7	11.0	9.9	12.1
社会問題に関すること（自然環境や福祉、防災など）	6.6	6.3	9.9	8.6	10.2	6.0	8.4	6.3	7.0
パソコンやインターネットに関すること	19.7	21.3	22.7	23.0	23.9	19.4	27.6	18.8	26.6
A Iや科学技術などに関すること	13.9	10.9	13.8	12.9	19.6	16.3	17.2	9.9	19.2
その他	0.7	2.1	1.0	2.4	1.2	1.6	1.3	2.6	1.9
ない・わからない	16.1	8.4	7.9	9.6	9.3	9.5	10.4	15.7	9.8
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	荻崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
音楽や美術、書道、映画など芸術活動に関すること	34.8	39.0	18.3	25.6	26.9	35.9	21.5	27.9	31.8	29.9
スポーツや健康に関すること	40.6	44.4	33.3	39.7	43.7	36.4	43.0	34.9	43.2	50.7
料理や裁縫などに関すること	27.1	32.1	21.5	26.9	29.4	28.2	30.8	30.2	29.5	25.4
工作やD I Yに関すること	21.3	36.4	22.0	14.1	22.7	31.1	29.1	38.4	31.8	28.4
自然体験や生活体験に関すること	18.7	22.5	18.3	16.7	12.6	22.8	19.8	19.8	19.3	23.9
歴史や文化に関すること	20.6	15.5	18.3	6.4	9.2	23.3	13.5	18.6	13.6	22.4
外国語や外国文化など国際交流に関すること	21.9	18.2	11.3	9.0	14.3	14.6	13.1	22.1	6.8	17.9
社会問題に関すること（自然環境や福祉、防災など）	7.1	12.3	7.0	5.1	7.6	8.7	8.4	15.1	2.3	11.9
パソコンやインターネットに関すること	21.3	24.1	23.7	15.4	16.8	21.4	24.5	31.4	18.2	29.9
A Iや科学技術などに関すること	16.1	20.9	23.7	14.1	7.6	17.5	20.3	32.6	17.0	28.4
その他	1.3	3.7	2.7	2.6	0.0	1.9	0.8	3.5	1.1	1.5
ない・わからない	12.9	6.4	14.5	16.7	14.3	10.7	11.0	8.1	3.4	10.4
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

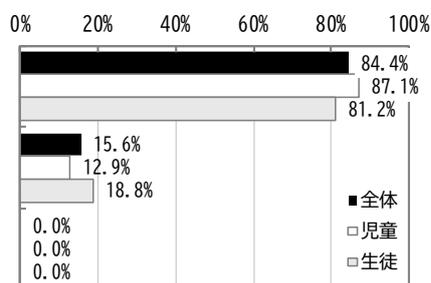
**問7** 問6で選んだことを気軽に学んだりすることができる機会があったら参加したいか (SA)

全体で見ると、「参加したい」が84.4%、「参加したくない」が15.6%となっています。

また、児童は「参加したい」が87.1%、生徒は81.2%となっています。

		票数	全体	児童	生徒
1	参加したい	2,629	84.4%	87.1%	81.2%
2	参加したくない	486	15.6%	12.9%	18.8%
	無回答・無効	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	3,115	100.0%	100.0%	100.0%

n = 3,115                      1,695   1,420



回答対象者：学んだり、取り組んでみたいと回答した方（問6で「1~11」を選択）

中学校区別にみると、全ての中学校区で「参加したい」が最も多くなっています。

問7×中学校区別クロス集計

	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
参加したい	73.9	83.6	88.8	84.1	87.0	82.5	85.9	80.7	82.4
参加したくない	26.1	16.4	11.2	15.9	13.0	17.5	14.1	19.3	17.6
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	荃崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
参加したい	85.9	89.1	87.4	67.7	86.3	84.8	87.2	88.6	80.0	78.3
参加したくない	14.1	10.9	12.6	32.3	13.7	15.2	12.8	11.4	20.0	21.7
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



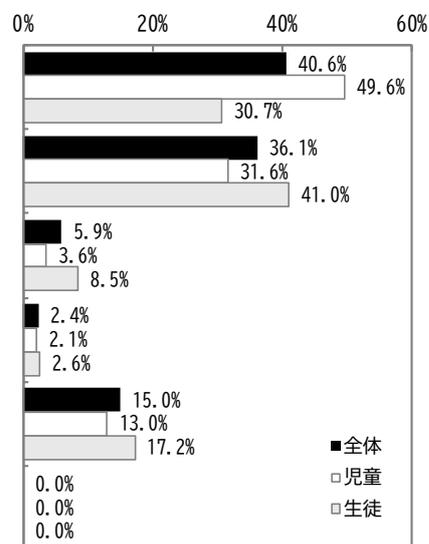
**問9** つくば市は、大人になっても自分が学びたいことが学べるまちだと思うか（SA）

全体でみると、「そう思う」が40.6%、「どちらかと言えばそう思う」が36.1%となっています。

また、児童は「そう思う」が49.6%、生徒は「どちらかと言えばそう思う」が41.0%と最も多くなっています。

		票数	全体	児童	生徒
1	そう思う	1,414	40.6%	49.6%	30.7%
2	どちらかと言えばそう思う	1,258	36.1%	31.6%	41.0%
3	どちらかと言えばそう思わない	207	5.9%	3.6%	8.5%
4	そう思わない	82	2.4%	2.1%	2.6%
5	わからない	523	15.0%	13.0%	17.2%
	無回答・無効	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	3,484	100.0%	100.0%	100.0%

n = 3,484                      1,822    1,662



回答対象者：全員

中学校区別にみると、秀峰筑波、大穂、手代木、桜、並木、春日、荃崎、高崎、みどりの、学園の森が「どちらかと言えばそう思う」、研究学園が「どちらかと言えばそう思わない」、高山、吾妻が「そう思わない」、谷田部と竹園東が「どちらかと言えばそう思う」と「どちらかと言えばそう思わない」、豊里が「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」、谷田部東とみどりの南が「どちらかと言えばそう思う」と「そう思わない」が同率で最も多くなっています。

問9×中学校区別クロス集計

	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
そう思う	22.7	15.0	12.5	10.0	13.3	29.2	15.6	16.7	19.0
どちらかと言えばそう思う	59.1	50.0	31.3	35.0	56.7	45.8	43.8	46.7	33.3
どちらかと言えばそう思わない	18.2	15.0	37.5	35.0	23.3	41.7	28.1	13.3	33.3
そう思わない	31.8	25.0	37.5	25.0	33.3	50.0	43.8	40.0	28.6
わからない	4.5	5.0	6.3	15.0	3.3	4.2	3.1	10.0	9.5
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	荃崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
そう思う	20.0	0.0	3.7	23.1	0.0	9.1	11.5	14.3	0.0	14.3
どちらかと言えばそう思う	45.0	66.7	55.6	53.8	47.1	50.0	46.2	28.6	66.7	42.9
どちらかと言えばそう思わない	20.0	16.7	40.7	30.8	41.2	45.5	26.9	42.9	0.0	42.9
そう思わない	55.0	33.3	33.3	38.5	23.5	31.8	30.8	28.6	66.7	14.3
わからない	10.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地域のことについて \*ここでいう「地域」とは自分が普段の生活で行動する範囲（はんい）くらいを指します。

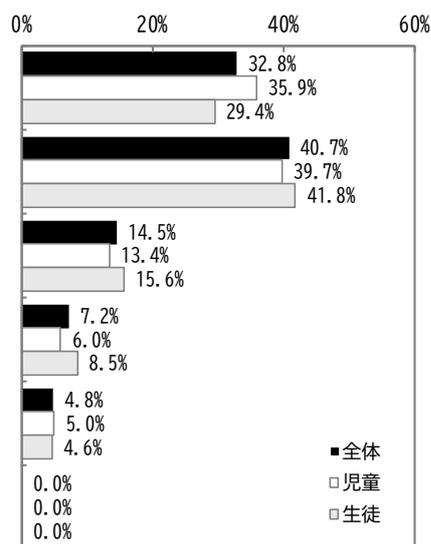
**問10** 地域の人たちとよくあいさつしたり、話をしたりするか (SA)

全体でみると、「どちらかと言えばそう思う」が40.7%、「そう思う」が32.8%、「どちらかと言えばそう思わない」が14.5%となっています。

また、児童生徒ともに「どちらかと言えばそう思う」が最も多く、児童は39.7%、生徒は41.8%となっています。

		票数	全体	児童	生徒
1	そう思う	1,143	32.8%	35.9%	29.4%
2	どちらかと言えばそう思う	1,419	40.7%	39.7%	41.8%
3	どちらかと言えばそう思わない	504	14.5%	13.4%	15.6%
4	そう思わない	250	7.2%	6.0%	8.5%
5	わからない	168	4.8%	5.0%	4.6%
	無回答・無効	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	3,484	100.0%	100.0%	100.0%

n = 3,484                      1,822 1,662



回答対象者：全員

中学校区別にみると、豊里、学園の森、研究学園は「そう思う」、その他の中学校区は「どちらかと言えばそう思う」が最も多くなっています。

問10×中学校区別クロス集計

	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
そう思う	33.6	38.1	43.8	27.8	31.1	30.2	34.4	37.2	22.9
どちらかと言えばそう思う	43.1	39.3	39.9	42.6	41.6	41.7	41.2	38.2	45.3
どちらかと言えばそう思わない	10.9	10.9	10.3	14.8	13.0	14.7	13.3	14.1	17.3
そう思わない	5.1	5.4	3.4	7.2	9.6	7.5	7.5	7.3	9.8
わからない	7.3	6.3	2.5	7.7	4.7	6.0	3.6	3.1	4.7
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	茎崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
そう思う	25.8	33.7	26.3	38.5	32.8	31.1	36.3	41.9	31.8	32.8
どちらかと言えばそう思う	41.9	36.9	41.4	43.6	43.7	43.7	35.0	36.0	42.0	32.8
どちらかと言えばそう思わない	16.1	18.2	19.4	10.3	11.8	15.0	18.6	12.8	17.0	13.4
そう思わない	11.6	6.4	5.9	6.4	8.4	7.3	6.3	4.7	5.7	7.5
わからない	4.5	4.8	7.0	1.3	3.4	2.9	3.8	4.7	3.4	13.4
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

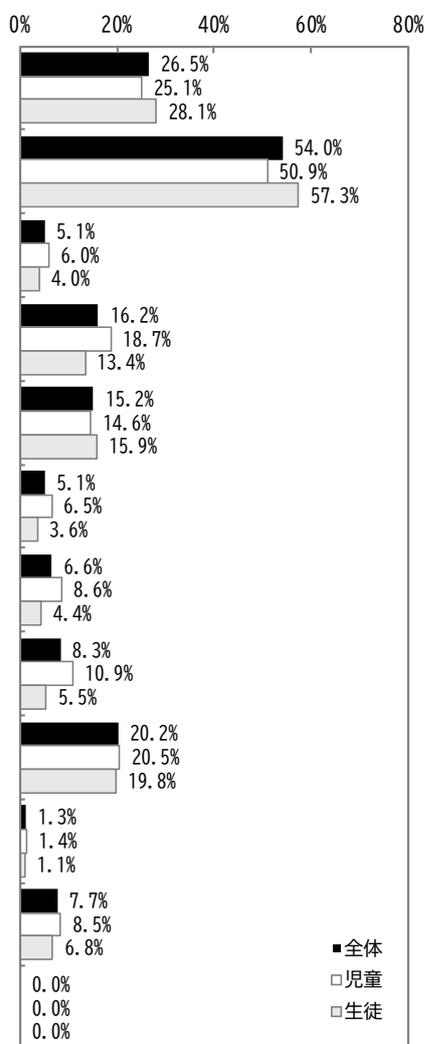
**問11** 地域の行事やボランティアに参加したことはあるか (MA)

全体でみると、「地域のお祭り」が54.0%、「地域のゴミ拾いや花植えなどの清掃・美化活動」が26.5%、「参加したことはない」が20.2%となっています。

また、児童生徒ともに「地域のお祭り」が最も多く、児童は50.9%、生徒は57.3%となっています。

		票数	全体	児童	生徒
1	地域のゴミ拾いや花植えなどの清掃・美化活動	924	26.5%	25.1%	28.1%
2	地域のお祭り	1,880	54.0%	50.9%	57.3%
3	地域の伝統芸能・歴史文化の体験	176	5.1%	6.0%	4.0%
4	スポーツ大会やスポーツ体験など	564	16.2%	18.7%	13.4%
5	子ども会の行事(旅行など)	530	15.2%	14.6%	15.9%
6	お話会や読書会、読み聞かせ会など	179	5.1%	6.5%	3.6%
7	自然や環境に関する体験活動(自然探素・農業体験など)	229	6.6%	8.6%	4.4%
8	防災に関する体験	290	8.3%	10.9%	5.5%
9	参加したことはない	703	20.2%	20.5%	19.8%
10	その他	44	1.3%	1.4%	1.1%
11	わからない	267	7.7%	8.5%	6.8%
	無回答・無効	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	5,786	-	-	-

n = 3,484                      1,822   1,662



回答対象者：全員

中学校区別にみると、学園の森は「地域のゴミ拾いや花植えなどの清掃・美化活動」、みどりの南は「参加したことはない」、その他の中学校区は「地域のお祭り」が最も多くなっています。

問 11×中学校区別クロス集計

	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
地域のゴミ拾いや花植えなどの清掃・美化活動	27.0	24.3	38.4	27.3	25.5	20.2	22.4	32.5	17.8
地域のお祭り	59.9	54.8	62.1	56.5	57.8	45.2	54.9	59.7	55.6
地域の伝統芸能・歴史文化の体験	6.6	2.9	4.9	6.7	7.1	6.0	3.6	5.8	5.1
スポーツ大会やスポーツ体験など	8.8	9.2	10.8	15.3	24.2	17.9	19.5	11.5	20.1
子ども会の行事（旅行など）	30.7	24.7	22.7	14.8	8.4	13.1	12.7	41.4	15.0
お話会や読書会、読み聞かせ会など	1.5	2.5	4.9	6.7	7.8	4.4	6.8	8.9	4.7
自然や環境に関する体験活動（自然探索・農業体験など）	6.6	2.9	7.4	7.7	7.5	4.4	8.1	6.8	7.9
防災に関する体験	8.8	5.0	3.0	8.6	9.9	7.5	9.1	6.3	9.3
参加したことはない	15.3	18.4	13.3	23.4	18.0	27.4	24.0	10.5	20.1
その他	1.5	0.0	1.5	1.0	1.9	0.4	2.3	0.5	0.5
わからない	9.5	9.6	6.9	7.2	6.2	8.7	7.1	9.9	7.0
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	荃崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
地域のゴミ拾いや花植えなどの清掃・美化活動	18.1	20.9	23.7	23.1	29.4	24.3	50.6	32.6	14.8	25.4
地域のお祭り	51.6	65.2	54.8	60.3	60.5	40.3	48.9	51.2	26.1	47.8
地域の伝統芸能・歴史文化の体験	5.8	3.2	2.2	2.6	3.4	6.3	4.6	10.5	1.1	9.0
スポーツ大会やスポーツ体験など	15.5	15.5	19.4	7.7	15.1	18.0	16.0	15.1	12.5	23.9
子ども会の行事（旅行など）	8.4	12.3	2.7	21.8	30.3	5.8	4.2	12.8	4.5	16.4
お話会や読書会、読み聞かせ会など	5.8	5.9	8.6	5.1	0.8	2.9	3.0	4.7	1.1	6.0
自然や環境に関する体験活動（自然探索・農業体験など）	11.0	5.3	4.3	1.3	2.5	6.8	7.6	8.1	9.1	9.0
防災に関する体験	12.9	8.0	5.9	7.7	6.7	11.2	8.9	18.6	5.7	9.0
参加したことはない	24.5	14.4	23.7	16.7	9.2	29.1	17.3	25.6	34.1	17.9
その他	1.9	0.5	1.1	3.8	2.5	1.0	0.4	4.7	2.3	0.0
わからない	5.8	7.0	7.5	9.0	8.4	6.8	6.8	5.8	12.5	7.5
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

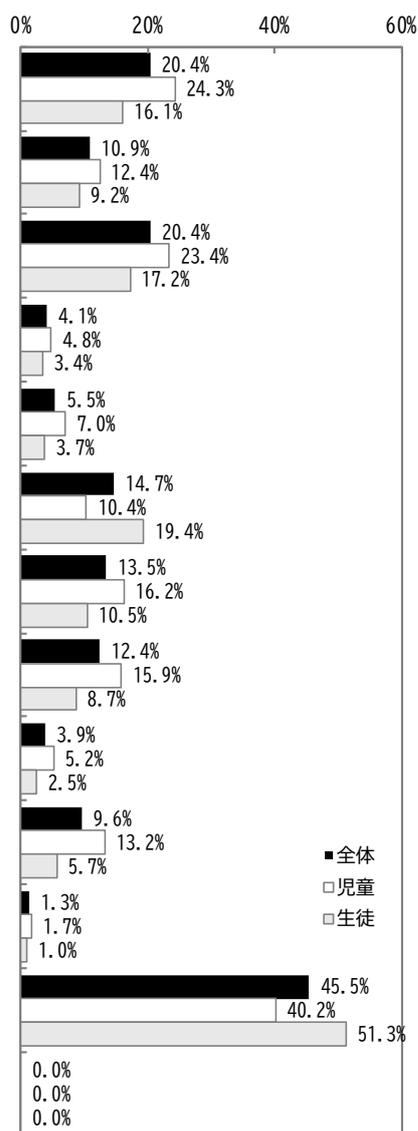
**問12** 地域の人から何かを教わったり、一緒に取り組んだことはあるか（学校の授業、課外授業での体験なども含みます。※塾（じゅく）や習いごとはのぞく。）(MA)

全体でみると、「教わったり取り組んだことはない・わからない」が45.5%、「自然や環境に関すること（自然探索・農業体験など）」と「スポーツなどに関すること」が20.4%となっています。

また、児童は「自然や環境に関すること（自然探索・農業体験など）」が24.3%、生徒は「職業体験に関すること」が19.4%と「教わったり取り組んだことはない・わからない」に次いで2番目に多くなっています。

		票数	全体	児童	生徒
1	自然や環境に関すること（自然探索・農業体験など）	709	20.4%	24.3%	16.1%
2	伝統芸能・歴史文化に関すること	379	10.9%	12.4%	9.2%
3	スポーツなどに関すること	712	20.4%	23.4%	17.2%
4	学習支援に関すること	144	4.1%	4.8%	3.4%
5	外国語や外国文化など国際交流に関すること	190	5.5%	7.0%	3.7%
6	職業体験に関すること	511	14.7%	10.4%	19.4%
7	交通安全や防犯に関すること	470	13.5%	16.2%	10.5%
8	防災に関すること	433	12.4%	15.9%	8.7%
9	A I や科学技術などに関すること	135	3.9%	5.2%	2.5%
10	工作やものづくりに関すること	335	9.6%	13.2%	5.7%
11	その他	47	1.3%	1.7%	1.0%
12	教わったり取り組んだことはない・わからない	1,584	45.5%	40.2%	51.3%
	無回答・無効	0	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	5,649	-	-	-

n = 3,484                      1,822   1,662



回答対象者：全員

中学校区別にみると、全ての中学校区で「教わったり取り組んだことはない・わからない」が最も多くなっています。

問 12×中学校区別クロス集計

	秀峰筑波	大穂	豊里	谷田部	手代木	高山	谷田部東	桜	竹園東
回答数 (n)	137	239	203	209	322	252	308	191	214
自然や環境に関すること (自然探索・農業体験など)	16.1	19.7	28.1	13.4	28.3	15.5	17.9	19.9	18.2
伝統芸能・歴史文化に関すること	14.6	10.9	12.8	10.5	11.2	11.9	11.0	9.4	9.8
スポーツなどに関すること	18.2	20.1	22.7	19.6	23.9	23.8	21.1	15.2	16.8
学習支援に関すること	2.9	2.5	3.0	3.3	5.3	3.2	4.9	4.7	2.3
外国語や外国文化など国際交流に関すること	2.9	5.0	9.9	5.7	7.5	4.8	5.2	5.2	4.2
職業体験に関すること	10.2	15.9	20.7	15.8	19.6	11.5	14.3	18.3	16.4
交通安全や防犯に関すること	11.7	10.9	14.3	14.8	15.2	11.9	13.0	12.6	7.5
防災に関すること	11.7	8.8	9.4	12.0	18.0	11.9	10.7	6.8	8.9
A I や科学技術などに関すること	2.2	2.9	3.0	2.9	6.2	4.4	2.6	2.6	3.3
工作やものづくりに関すること	4.4	7.5	12.3	7.2	11.5	9.1	11.0	11.0	8.4
その他	0.7	2.5	1.0	1.0	3.1	1.2	1.0	3.1	1.4
教わったり取り組んだことはない・わからない	51.1	49.8	37.4	48.3	36.6	48.4	44.5	44.0	48.1
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	吾妻	並木	春日	荻崎	高崎	みどりの	学園の森	研究学園	みどりの南	無回答・無効
回答数 (n)	155	187	186	78	119	206	237	86	88	67
自然や環境に関すること (自然探索・農業体験など)	23.2	26.7	16.7	16.7	10.1	16.0	27.4	16.3	25.0	25.4
伝統芸能・歴史文化に関すること	12.3	15.5	5.9	6.4	11.8	7.8	11.0	10.5	9.1	13.4
スポーツなどに関すること	23.2	24.6	18.3	15.4	19.3	16.5	20.7	12.8	21.6	31.3
学習支援に関すること	5.8	3.2	5.4	1.3	4.2	4.9	5.5	4.7	5.7	6.0
外国語や外国文化など国際交流に関すること	7.1	5.9	3.2	2.6	4.2	3.4	6.8	4.7	3.4	9.0
職業体験に関すること	14.2	17.1	12.9	7.7	10.9	11.7	14.8	11.6	5.7	10.4
交通安全や防犯に関すること	16.1	15.5	18.8	14.1	14.3	14.6	14.3	11.6	9.1	14.9
防災に関すること	20.0	13.4	19.9	11.5	8.4	12.1	13.5	15.1	5.7	17.9
A I や科学技術などに関すること	7.7	2.1	3.2	1.3	0.0	4.4	7.2	5.8	2.3	9.0
工作やものづくりに関すること	12.9	11.8	5.9	11.5	7.6	12.1	10.5	5.8	2.3	14.9
その他	0.0	0.5	1.6	2.6	0.8	1.0	0.4	1.2	0.0	0.0
教わったり取り組んだことはない・わからない	41.9	39.0	44.6	46.2	53.8	56.3	43.0	61.6	46.6	31.3
無回答・無効	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

**問13** 地域の人からこれから教わってみたいことや、地域でやってみたいことはあるか（FA）

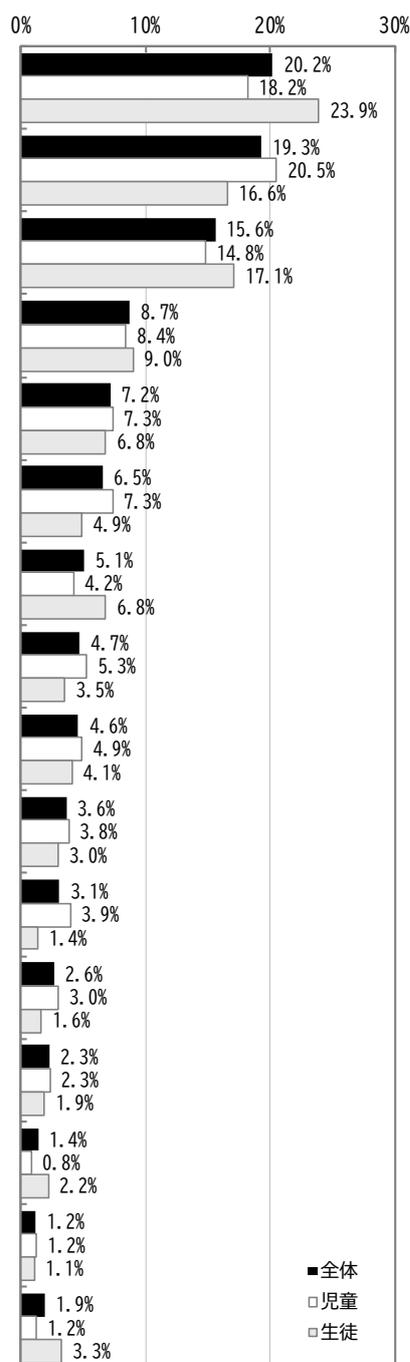
全体で見ると、「伝統芸能・歴史文化に関すること」が20.2%、「スポーツなどに関すること」が19.3%、「お祭りやイベントに関すること」が15.6%となっています。

児童は「スポーツなどに関すること」が20.5%、「伝統芸能・歴史文化に関すること」が18.2%、「お祭りやイベントに関すること」が14.8%となっています。

生徒は「伝統芸能・歴史文化に関すること」が23.9%、「お祭りやイベントに関すること」が17.1%、「スポーツなどに関すること」が16.6%となっています。

分類別上位順（自由回答記述をカテゴリ別にして算出）

	票数	全体	児童	生徒
伝統芸能・歴史文化に関すること	223	20.2%	18.2%	23.9%
スポーツなどに関すること	213	19.3%	20.5%	16.6%
お祭りやイベントに関すること	172	15.6%	14.8%	17.1%
ゴミ拾いなど美化活動に関すること	96	8.7%	8.4%	9.0%
自然や環境に関すること（自然探索・農業体験など）	79	7.2%	7.3%	6.8%
工作やものづくりに関すること	72	6.5%	7.3%	4.9%
地域の人と関わりが持てること	56	5.1%	4.2%	6.8%
学習に関すること	52	4.7%	5.3%	3.5%
防災に関すること	51	4.6%	4.9%	4.1%
料理や裁縫に関すること	40	3.6%	3.8%	3.0%
A Iや科学技術などに関すること	34	3.1%	3.9%	1.4%
職業体験に関すること	29	2.6%	3.0%	1.6%
ボランティア活動に関すること	25	2.3%	2.3%	1.9%
外国語や外国文化など国際交流に関すること	15	1.4%	0.8%	2.2%
交通安全や防犯に関すること	13	1.2%	1.2%	1.1%
その他	21	1.9%	1.2%	3.3%
合計	1,191	-	-	-
	n = 1,104		736	368



回答対象者：全員

詳細は91ページに記載

### (3) 自由回答

#### 自由回答 Q13 地域の人から教わりたいこと、地域でやってみたいこと

意見は項目ごとになるべく原文のまま掲載していますが、一部意見の趣旨を損なわない程度に表現を変えて表記していたり、分割していたりする場合があります。

#### ■伝統芸能・歴史文化に関すること

##### 【要約】

- つくば市や地域の成り立ち、地形、文化、文化財、神社仏閣等について知りたい。
- つくば市や茨城県の地域特有の歴史（例：茨城の水戸藩、鉄道の歴史）について知りたい。
- つくば市が学習に力をいれるようになった歴史的経緯を知りたい。
- つくば祭りのねぶた引き手を体験したり、伝統行事の受け継ぎ方を知りたい。
- 地域の伝統芸能や茨城県の伝統工芸（例：笠間焼）に触れ、体験したい。
- 昔の暮らしや自然について学んだり、景観の変化を知りたい。
- コマなど昔遊びを教わりたい。
- つくば市の特色や魅力（名産品等）を知りたい。

##### 【意見】

つくば市の歴史を聞きたい。なぜ学習に力を入れるようになったのかなど。/伝統のことについて/歴史について詳しく知りたいのとスポーツを教えてほしい/今自分がいる地域の歴史について/地域の歴史や伝統的な行事に参加してみたい/歴史（茨城の中では水戸藩のこと）/地域の人からこの町の歴史を教わったり防災活動などを一緒にやってみたいです。/この地域の伝統やその受け継ぎ方/地域の良さ/つくばまつりのねぶたをもってみたい/お祭りを受け継ぐにはどうすればいいか教えてほしいです。/つくば市の魅力や、伝統な歴史/つくば市の歴史、スポーツ/私たちの住んでいる地域の伝統、文化について教わってみたいです。/地域の伝統/地域の伝統のこと/地域の伝統のものとかを教わってみたい/地域の伝統的な文化と行事について。/地域の文化/地域の歴史です。/地域の歴史について/つくば市のことについて/つくば市の歴史を学びたいです/茨城県の鉄道の歴史/職業に関することや伝統について/色々な伝統工芸や民族文化を学びたいです/昔の文化や歴史を教えてもらいたい/地域で行われている防災の工夫について教わってみたいです。また、地域の伝統芸能や歴史も知りたいです。さらに、地域で交通安全や防犯に関係することを体験してみたいと思いました/地域に根付く文化や歴史のある建物や無形文化財を学びたい/地域の伝統や歴史について/地域の伝統行事を学びたい/歴史/歴史/稲荷神社のこと/いろいろな伝統をやってみたい/つくば市がどのようにして栄えたのかを教わってみたい/つくば市の大切な施設など/つくば市はどんな文化があるか/地域の良いところ地域のおいしい物/自分の地区の伝統的なものづくりを教わってみたい。/地域行事を教わりたい。/伝統工芸体験/伝統品の作り方などいろいろな文化に触れてみたい。料理や家事など職場体験などをやってみたいと思います。/歴史や文化それに国はどのように進んでいったのか/地域の歴史/地域の歴史などを教えてもらいたいです。/教わってみたいことは、地域の伝統芸能・歴史文化の体験と、スポーツ大会やスポーツ探検、やってみたいことは、外国語や外国文化など国際交流に関することと、職業体験に関することです。/茨城県の歴史/自分が住んでいる地域の歴史/自分の地域の伝統や歴史などを知ってみたい/つくば市の過去とこれからどうするべきか/地域の歴史

について/歴史や伝統/歴史的なもの/つくばの歴史を知りたい/つくば市の伝統工芸品について。/自分の住んでいるところをもっと教えてほしいです。/町の歴史や文化など/伝統行事など/歴史/つくば市の文化/伝統的なものを学ぶ/伝統行事など/もっと伝統芸能を学んでみたいです/自分たちの地域の歴史/地域の歴史を詳しく知りたい!/伝統的なこと/歴史/スポーツに関することを教わってみたい(学校の授業課外授業も含めて)。工作やモノづくりに関すること、伝統芸能、伝統行事、伝統文化に関することを教わってみたい/行事でのイベント。地域の歴史に関する授業/茨城の歴史を教わってみたい/地域の歴史/伝統芸能や歴史文化について教わってみたいと思いました/伝統芸能や歴史文化に関することを教わってみたい。/伝統的な文化/自分が住んでいる街の歴史を知りたい/伝統行事/文化について/どのようにしてつくば市ができたのか。(つくば市の歴史)/地域の歴史/地域の交流会などを開いてみてほしいです。/地域の伝統行事や川のこと、自然について(再掲)/地域についての歴史紹介/地域の伝統芸能や歴史を学んでみたい/いつからつくば市があるのか/地域の伝統や文化について触れてみたい。/歴史にかんすること/祭り・歴史/地域の伝統品や防災についてなど/地域の文化を知る/つくばの歴史について教えてもらいたい/地域の人にその場所の昔からの文化などをしりたい。/その地域の歴史について/何の文化が有名か教わりたい/今自分が住んでいる地域ができるまでの歴史や、景観がどのように変化したのか/自分の地域の歴史について/地域の文化/地域の文化や伝統/地域の魅力を知りたい/伝統文化/自分の町の歴史・スポーツ活動/地域の歴史/伝統工芸品を作る。/茨城のことなどをもっと知りたい/地域の歴史について/伝統芸能/伝統的な小物作り/つくば市の経済/街の歴史など/地域の伝統的な文化/地域の歴史/伝統芸能などを教わりたいです/いつから自分の地区があるのか/これから教わってみたいことは、工作やモノづくりに関することです。つくばの伝統や文化財についても地域をよく知る人に聞いてみたいと思いました。/つくば市のことを教わってみたいです。/地域の歴史について/伝統芸能・歴史文化に関係すること/つくば市はどのように進化していったのかを知りたい/スポーツなどに関わること文化/文化について/地域の歴史/どんなボランティア活動があるのか、どんな伝統があるのかを教えてもらいたい。/上郷小学校の歴史について/上郷の歴史/自分の地域のこともっと知りたいので、様々なことを地域の人に教えてもらったりしたい。/伝統の行事/その地域の文化/地域の伝統の物や伝統の歴史を教わってみたいです/地域の伝統的な行事をやってみたいです。/伝統芸能系/自分の住んでいる市の歴史など/地域の歴史/昔はどんな場所だったか/地域にまつわる歴史/コマなどの昔遊びを教わってみたい/自然に関することや伝統芸能について学びたい/自分の住んでいる地域の歴史について教わってみたい/地域の文化/今までの歴史/谷田部の歴史について/谷田部地域の歴史について/地域の昔の暮らしなど歴史っぽい感じ/地域の歴史/地域の歴史地域の有名人/伝統のこと/クッキングやその地域の歴史などなど.../神輿/笠間焼/谷田部の地形/谷田部の歴史/文化/文化に関すること/つくば市の歴史や、伝統について知りたいです/観音台の歴史/地域の伝統歴史をしりたい。また、地域の人と触れ合いたい。/伝統芸能や文化など/地域の文化/つくば市の歴史/演技芸能/昔の生活。犬の教育。動物とのふれあい/日本の伝統芸能、文化を教わってみたいです。/昔の話/地域の文化・歴史/文化/日本の伝統行事/ここ(茨城県)のいい所/この場所について(歴史など)/この地域の歴史について教えてもらいたいと思う/地域の伝統やその地域特有の取り組み。/地域の伝統行事/この地域の伝統的文化とかがあれば学んでみたいです/地域の歴史の文化/つくばや茨城の文化や伝統を教わり、体験したりすること/どうや

つてつくばができたのか/自分の住んでいる地域の歴史/自分の住んでる土地の名物などを知りたい/地域の伝統/地域の伝統的な工芸品などの作り方。/地域の歴史や伝統について/伝統について/つくば市の歴史/今ある行事を継続してやっていきたい/全てのつくば市の記憶/地域の歴史について知りたい。/筑波の魅力や歴史について教えてみたい。/その地域の歴史/地域の人につくば市の歴史を教えてもらいたい。/伝統的な体験/この地域の歴史について/地域の歴史/いろいろな地域の人とかかわる活動。地域の文化。/つくば市の歴史について/つくば市の歴史を教わってみたい/地域の文化や歴史です。/地域の文化財について/歴史について知りたい/美化活動・歴史文化の体験・農業体験/伝統なもの/伝統的なお祭りについて知りたいです。/地域のお祭りや、文化をおそわりたい。/歴史について教わりたい/笠間焼（伝統工芸品）の作り方/この街を今よりも知りたい/つくば市の課題を学ぶそのような機会があったらなと思っております。/地域の歴史に触れていきたい/どのような伝統芸能があるのか/地域の歴史/伝統の工芸品/伝統行事/地域の伝統を教えてもらいたい。/地域の歴史/自分の地域の有名なこと/地域の有名な物/様々な歴史/歴史の勉強/歴史に関する物などを教わってみたい/歴史や文化を教えてもらいたい。防災に関することを教えてもらいたい。/もっと地域の事について知りたい/歴史に関すること/歴史や文化など/歴史を知りたい/歴史のこと/地域の人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことは多岐にわたります。以下はいくつかのアイデアです。①教わってみたいこと伝統工芸:地域特有の工芸品の作り方（陶芸、木工、染色など）を学びたい。料理教室:地元の食材を使った郷土料理の作り方を教わりたい。地域の歴史:地域の歴史や文化、伝説についての話を聞いてみたい。農業体験:地元の農家さんから農作業や収穫の手伝いを通して、農業のノウハウを学びたい。自然観察:地域の自然（植物や動物）の観察方法や環境保護について教わりたい。②地域でやってみたいこと地域イベントの企画:地域のお祭りやイベントを企画し、参加者を募る活動をしてみたい。ボランティア活動:地元の老人ホームや子どもたちの支援活動に参加したり、清掃活動を行いたい。文化交流:地域の異文化交流イベントを開催し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したい。スポーツ大会:地域の人々と協力してスポーツ大会を開催し、コミュニティの結束を深めたい。エコプロジェクト:環境保護をテーマにしたプロジェクトを立ち上げ、地域の自然を守るための活動に取り組みたい。これらのアイデアを通じて、地域の人々との交流を深めたり、新しいスキルを身につけたりする機会が得られると思います。

## ■スポーツなどに関すること

### 【要約】

- スポーツを地域で体験したい。（例：サッカー、バスケットボール、テニス、マラソン、ドッジボール、バレーボール、野球、水泳、ダンス、スキー、バドミントン、陸上競技）
- 地域のスポーツ大会や競技イベントに出たい。（例：サッカー大会、バスケットボール大会、マラソン大会、運動会）
- スポーツを通じて国際的な交流を深めたい。（例：国際運動会）
- e スポーツをみんなで楽しんだり、大会をしたい。
- 特定のスポーツの技術やコツを学んだり、スポーツ指導を受けたい。
- 地元の人々とスポーツを通じて交流したい。

○みんなで一緒にスポーツをしたり、楽しんだりする活動に参加したい。

**【意見】**

スポーツ/スポーツなどを地域の友達と一緒に教わってみたい。/スポーツのイベントをやったり見たりしてみたいです。/スポーツの楽しさ/スポーツ活動異学年交流/スポーツ関係・AIや技術関係・国際交流/自然環境のことや今外国での困りごとや紛争・戦争の解決方法やAIの科学技術工作やものづくりに関すること、伝統芸能・歴史、スポーツに関すること、職業体験に関することなどや学習支援について交通安全や防災に関することを地域の人に教わったり、地域の中でやってみたいです。/足を早くする方法。/歴史について詳しく知りたいのとスポーツを教えてほしい(再掲)/スポーツ/スポーツ系/スポーツ体験/ソフトテニス/バスケ/バスケットボール/マラソン大会/みんなで一緒にスポーツ大会とかをやりたい/国際運動会/地域でスポーツなどみんなができる楽しい行事や、最先端のAIなどを使ったことなどがやりたい。/地域の人みんなと遊ぶ、スポーツ、その他いろいろな体験をしてみたいです/地域の大運動会/部活動で行っているスポーツ(例:テニス)/スポーツ、環境が良くなる/スポーツのことについて/プールを教わりたい/スポーツ/ダンスなどの発表/なんかのスポーツ/地域で行っているスポーツ大会に参加してみたい。/サッカー、英語/サッカーやバスケットボールを地域でやってみたいです。/スポーツについて教わりたい/スポーツに関すること。/スポーツのコツなどを教わったりしたいです/スポーツの大会/スポーツ体験/スポーツ大会/スポーツ大会や球技大会などのスポーツをしたい。お祭りをやりたい/つくば市民サッカーフェスティバル/スポーツ大会/バスケ/茨城県のU-11のサッカー大会をしてみたい/スポーツを大人数でやりたい!/なわとび/スポーツに関することをしたい/地域の人ほどのような仕事をしているのか教わりたいです。/eスポーツをみんなでやってみたい/スポーツ/スポーツ鬼ごっこ大会/みんなでスポーツ/スポーツに関することをやってみたい。工作やモノづくりをやってみたい/サッカー/スポーツ(サッカー)について学びたい。/スポーツ大会/鬼ごっこ/教わってみたいことは、地域の伝統芸能・歴史文化の体験と、スポーツ大会やスポーツ探検、やってみたいことは、外国語や外国文化など国際交流に関することと、職業体験に関することです。(再掲)/工作、スポーツ/地域の人たちと、一緒にスポーツをやってみたい。/スポーツ/スポーツに関すること/野球/老若男女構わずできるスポーツ/みんなで楽しくサッカーやパソコンのことについてやってみたい。/全国の歴史について、教わってみたい。バスケットボールを地域で、やってみたい。/スポーツ/バスケの大会/バスケ大会/スポーツについて/スキーに行ってみたい(希望者のみ)/私は受験勉強であまり外に出てないのでスポーツに関することをやりたい。/サッカーをやりたい。/スポーツに関することを教わってみたい(学校の授業課外授業も含めて)。工作やモノづくりに関すること。伝統芸能、伝統行事、伝統文化に関することを教わってみたい(再掲)/スポーツ大会/ドッジボール大会/バスケに関することと教わってみたい。/マラソン大会とかをやってみたい/AIのスポーツ(テニス)/24時間サッカー/サッカー/スポーツが好きだからスポーツに関すること/モータースポーツ/バスケットボール/みんなでドッジボール/みんなと一緒にサッカーをする。/スポーツ大会/スポーツ/スポーツ系のもの/スポーツや日曜大工について教わってみたい。/バドミントンをやってみたい/サッカーのトーナメント形式で試合をしてみたい/スポーツなど/スポーツに関すること/スポーツ関連(そのスポーツでの技術や食生活等)/みんなとサッカーがしたい/野球/スポーツ体験とかやってみたいです/地域でスポーツをしたい/スポーツ/スポーツ

などに関して/スポーツについて/弓道/スポーツ大会/バドミントン/マラソン!絵を描く!/スポーツ/スポーツに関すること/スポーツのこと/地域の人とちょっとスポーツなどを通して、交流したい/スポーツ/スポーツ/スポーツ関連/みんなで一緒に遊ぶこと。/自分の町の歴史・スポーツ活動(再掲)/スポーツ/ダンスの上手の人たちと一緒にダンスをやりたい/テニスのコツ(硬式、軟式など)/バレエのこと/卓球カフート/スポーツ/スポーツのこと/スポーツ大会/テニス大会/もっとスポーツについて知りたい/軽音楽、野球/地域の人とドッチビー大会を開きたい/陸上競技/お祭りマラソンスポーツ大会/マラソン・スポーツ大会/サッカー大会などをしてみたい。Fortnite 大会もしてみたい/スポーツ、ゲーム/野球大会/スポーツに関することを教わってみたいです。/スポーツのことについて教わりたいです。/地域の人とスポーツをしたりすることです。/スポーツフェスティバルなどで楽しくスポーツを学びたいです/スポーツを教わってみたい/野球のこと。/スポーツなどに関わる文化(再掲)/スポーツについて/スポーツに関すること/運動会/色々なスポーツ体験をやってみたい。/スポーツに関すること/スポーツ関連や勉強会など農業などの体験(再掲)/バスケ/バレーボール/また、スポーツをしたい。/地域でスポーツ交流。/ダンス/地域で鬼ごっこやりたいです。/スポーツに関することをやってみたい/スポーツ/野球/スポーツ/スポーツ、防災/スポーツ系/みんなで運動する/スポーツなど/サッカー/スポーツ/マラソン大会/野球/e スポーツについて/スポーツ/スポーツ/スポーツに関すること/スポーツを一緒にしたいです/地域みんなで遊ぶ/スポーツなどをして交流をすること/地域の人たちとバスケの大会をしてみたい。/バレーボール/もっとスポーツを学びたい/スキー合宿/スポーツ/スポーツなどに関すること。/空手/サッカー/スポーツ/運動などで体を動かそうというスポーツ/スポーツ大会/スポーツ大会/職業とかスポーツ大会とか/サッカー/サッカーや勉強を教えてもらいたい/サッカー大会/スポーツ/スポーツや健康のことを教わりたい。/スポーツ/スポーツ体験/運動会などの体を動かすもの。/スポーツのこと/皆でスポーツをしたり、お祭りを楽しんだり競技で争いたい/色々なスポーツを体験したい。/スポーツクリスマスなどの行事/スポーツと AI や科学技術/スポーツ大会/スポーツ大会/スポーツにいて/サッカー/スポーツ/スポーツ、絵/みんなでドッジボール/野球のこと/スポーツ・海外/スポーツや物作りをやってみたい/スポーツ大会/e スポーツ/サッカー/バスケット大会を開いてほしい/運動会/地域の人でスポーツをやりたい、例えば地域でドッチビーとかをやりたい。あと勉強会をしたい。皆で一緒に意見を述べれば皆で学べるし頭を良くできる。なので地域で活動したい/算数が苦手なので教わりたいです。スポーツも教わりたいです。/地域の人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことは多岐にわたります。以下はいくつかのアイデアです。①教わってみたいこと伝統工芸:地域特有の工芸品の作り方(陶芸、木工、染色など)を学びたい。料理教室:地元の食材を使った郷土料理の作り方を教わりたい。地元の歴史:地域の歴史や文化、伝説についての話を聞いてみたい。農業体験:地元の農家さんから農作業や収穫の手伝いを通して、農業のノウハウを学びたい。自然観察:地域の自然(植物や動物)の観察方法や環境保護について教わりたい。②地域でやってみたいこと地域イベントの企画:地域のお祭りやイベントを企画し、参加者を募る活動をしてみたい。ボランティア活動:地元の老人ホームや子どもたちの支援活動に参加したり、清掃活動を行いたい。文化交流:地域の異文化交流イベントを開催し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したい。スポーツ大会:地域の人々と協力してスポーツ大会を開催し、コミュニティの結束を深めたい。エコプロジェクト:環境保護をテーマにした

プロジェクトを立ち上げ、地域の自然を守るための活動に取り組みたい。これらのアイデアを通じて、地域の人々との交流を深めたり、新しいスキルを身につけたりする機会が得られると思います。

## ■お祭りやイベントに関すること

### 【要約】

- 地域でお祭りや行事の機会をもっと増やしてほしい。季節ごとのイベント（クリスマス、ハロウィン、夏祭りなど）や、地域独自のお祭りやおやじの会をもっと開催してほしい。
- 子供から大人まで平等に楽しめるイベント。
- コロナの影響で減少した地域行事を復活させ、かつて行われていたイベント（バーベキューや子供会の旅行など）を再開したい。
- スポーツ大会、ビンゴ大会、カードゲーム大会、花火大会、屋台、バザーのような新しい催しの提案。
- 祭りの開催側として、イベントの運営を学んだり、つくば祭りのねぶたの引き手、大太鼓の演奏者として参加したい。

### 【意見】

イベントの手伝い/お祭り/お祭りなど/つくば市のお祭りです。/もっとお祭りなどの交流を増やしてほしい/大きいお祭り/地域全体で逃走中をやってみたいです。/お祭りやスポーツなど/お祭りを手伝いたい/行事/行事のお祭り（例えば、クリスマスやハロウィンなど）/昔やってたお祭りがしたい/お祭りのボランティア/地域で祭りをしてみたい/つくば祭りのねぶたをもっとみたい（再掲）/前に地域で旅行にいったから、関りが深くなる行事をしたい/お祭り/最近ではできていない子供会の祭りをまたしたい/お祭り/ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー/つくば祭りに1回は行ってみたいです。/学園の森のお祭りをやりたい（文化祭など）/季節ごとにイベントなどを開催してほしい/地域での伝統を教わってみたい。/地域の祭りに参加してみたりすること/お祭り/コロナにより地域の行事が減ってきてしまったが、最近コロナが落ち着いてきているのでもっと色々な行事に参加して地域の人との仲を深めたい。/スポーツ大会や球技大会などのスポーツをしたい。お祭りをやりたい（再掲）/地域のお祭りをやってみたい/地域の祭りに参加したい/お祭りをやりたい/地域のことをもっと知りたい/子供会の行事/大きな祭り/お祭りの演奏者側になってみたい。/芸術のお祭り/職業体験、お祭りなどをやってみたい（再掲）/お祭りを地域の人たちと楽しみたいのでお祭りをもっと増やしてほしいです！/お祭りをやってみたい/夏祭りの太鼓をまたやってみたいです（1回だけやった）/お祭り/地域でお祭りや文化を伝える会などをやってみたい/お祭り/ハロウィンやクリスマスにパーティーを開いたり、お菓子をプレゼントすること。/行事でのイベント。地域の歴史に関する授業（再掲）/お祭り/お祭り交流会で、ビンゴなど/お祭り/つくば市からの祭りとか/屋台などが出る夏祭り/自分たちが考えたお祭り/お祭りをもっと増やしたい/祭り/祭り/祭りや大会/大会/まつり/季節のやつ（お正月・クリスマスなど）/祭り/地域での祭りや子供会/地域のお祭り/つくば祭りにはこれからも参加したい。また、ボランティア活動も行ってみたい。/行事の運営。/地域での文化を教えてほしい/お祭り/お泊り会をしたい/地域のお祭りはコロナが流行ってから無くなってしまったので、また地域のお祭りに参加したい/祭り/地域では、またお祭りをしたい。/

つくば祭りの作業工程/祭り・歴史(再掲)/おもちつき/お祭りやおやじの会などをより多く開催してほしい/バザー/まつりで屋台の手伝いをしたい/行事/大会/イベントを楽しむ/地域のお祭りや、行事などのお手伝いをしたい。/お楽しみ会/地域で楽しいお祭りをやってみたい/お祭り/お祭り/お祭りの伝統行事について/子供から大人まで平等に楽しめるイベント/地域の人たちと祭りで太鼓をたたきたい/祭りの、大太鼓の「さんぎり」という曲を打ってみたい/みんなで行事を祝うこと/つくば市がどのようにできたかを教わりたいです。/地域でクリスマスパーティーをしたい。/お祭りの企画の考え方/ツムツムの大会/行事/大会/お祭りマラソンスポーツ大会(再掲)/お祭り、バーベキュー/カードゲーム大会、シャトルラン大会、マラソン大会/カード大会/ゲーム大会/ゲーム大会(ポケカ・スマブラ・ポケモン・トランプ)/まつり/地域の方達からは、つくば市歴史やお祭りなどのつくば市の行事などを教えてもらいたいです/お祭り/パーティー/地域のイベントなど。/地域のお祭りにもっと参加したい/お祭り/お祭り/これからは地域でやっている行事をやってみたいです。/地域でお祭りをやってみたいです。/地域の取り組みを知り、地域の取り組みをやりたいです。/祭り/子供会の旅行だったり、バーベキューとかの仲良くなれるものを、月2くらいでやってほしいです/地域で仲を深める旅行やパーティーなど/イベントやお祭り/お祭りをもっとやりたい/地域で何かの大会を開きたい/夜に花火をやってみたい。/地域でかくれんぼ/お祭り/夏祭り/地域で卓球大会をやってみたい/ゲームについて/屋台/昔からある行事や祭りについて教わってみたい/祭りで神輿とかをしたい。/神輿/地域の行事がいつから続いているのかなど/地域主催の地域に関するクイズ大会などをやってみたい/ラーメンフェスタを、もっとたくさんの地域でやってみたい/ボウリング大会/めちゃくちゃ大規模なんでも売ってるお祭り駄菓子屋さん百円ショップ/祭り/手軽に体験できるイベントがあると楽しいと思います。/お楽しみ会/もっと地域のお祭りを増やしたい/高齢者や小さい子たちと一緒にできるイベントをやってみたい/お祭り/もっと地域の行事に参加したい/祭り/祭り/祭りを増やしてほしい/花火大会/子供と大人と一緒に楽しめるイベント。/祭り/地域の祭りについてもっとくわしく知りたい。/お祭り/お祭り/お祭りやハロウィン/祭りのボランティアをしてみたい/地域で祭りをしたい。/お祭りの回数を増やしたい/毎年どのような行事を行っているか/お祭りのてつだい/盛大なお祭り/クリスマスなどの行事/たくさんのイベントを開いて色々学びたいです。/皆でスポーツをしたり、お祭りを楽しんだり競技で争いたい(再掲)/地域のお祭りや、文化をおそわりたい。/地域のお祭りや自然に関するボランティア。他にも地域のイベントなどでのボランティアをもっとやってみたり、いろいろなもののボランティアに挑戦したり、地域の人と関わり協力したいです。/イベント/お祭り/お祭り/お祭りをつくること。/お祭りを続けてほしい。/もっと祭りがほしい。/季節ごとの行事/イベント/お祭り/大きいお祭り/大規模なおまつり/祭りをやる

## ■ゴミ拾いなど美化活動に関すること

### 【要約】

- 地域のゴミ拾い、草むしり、落ち葉拾い等をしたい。
- 公園の掃除をしたい。
- 地域や近所の人に教わりながらゴミ拾いをやってみたい。
- つくば市全体にあるゴミの出所への関心がある。

## 【意見】

ゴミ拾い/みんなで大掃除/掃除/地域のごみ拾いなど/ゴミ拾い活動/地域のごみ拾い/地域の人たちと周りのごみ掃除など/地域の大運動会/ゴミ拾いや子供会に参加してみたいです。/ゴミ拾い活動/つくば市内全員でゴミ拾い/地域でゴミ拾いをしたいです。/地域でまたゴミ拾いをしたいです。/地域みんなで掃除をやってみたい。/ゴミ拾い/ゴミ拾い/ゴミ拾いや、挨拶活動などの、地域をよくするためにできることをやってみたいです。/ゴミ拾い/地域のごみ拾い/ゴミ拾い/ごみ拾い/もう先にやっているかもしれないけど、まだ自分自身はやったことのない支援の人達と一緒に、ごみ拾いをしてみたいです。/ごみひろい/地域のゴミ拾い/地域の人とゴミ拾いなどいろいろなことに協力してやっていきたいです。/町の掃除をやってみたい。/つくば市全体にあるごみがどこから来ているのか。/やってみたいことはごみ拾いです。なぜならごみを拾うと気持ちくなるからです。/料理についてもっと知りたいと思った。ゴミ拾いなどにも参加してみたい。/ゴミ拾い/ゴミ拾い/落ち葉拾い/みんなで清掃活動などしてみたいです/美化活動/美化活動に参加したい/ごみひろい/ゴミ拾いや美化活動・交通安全に関すること/ごみ拾い/ゴミ拾い活動/地域での奉仕活動（ゴミ拾いなど）に参加してみたい。/ゴミ拾い/地域の美化活動などの様々なボランティア活動/ゴミ拾い/ゴミ拾いなどの環境保全運動/ゴミ拾い/ゴミ拾い/清掃/地域の人といっしょにゴミ拾いなど地域をきれいにできるような活動をやりたい/ゴミ拾いなどといった地域の役に立つ仕事。自分の為になる仕事/清掃/ごみ拾い/町をさらにきれいにするために地域の人たちと掃除をする/ゴミ拾い/ごみ拾い/ゴミ拾いや祭りの準備/みんなでごみ拾いや交流活動をして遊んだりしていきたいと思った。/ゴミ拾い/ごみ拾いの活動をいろいろなところでやること。/ポイ捨てをせず、ごみが落ちていたらひろう。/ゴミ拾い/ゴミ拾い/ゴミ拾い/ごみ拾い/清掃/草むしり/地域の人たちとごみ拾いをしたりして、環境を良くしていきたい。/地域清掃/ごみ拾い/ゴミを拾う活動/地域の人とごみ拾いをする/地域をもっと落ち葉拾いなどしてきれいに少しずつしたい。/地域の環境に関するボランティア/ゴミ拾い/公園の掃除/ゴミ拾いボランティア/ごみ拾い活動/ゴミ拾い/ゴミ拾い/ゴミ拾いボランティア活動/ゴミ拾い/地域をきれいにする/地域をきれいにする美化活動を、近所の方などと取り組んでみたい。/ゴミ拾い/地域のごみ拾いを教わって、ごみ拾いをやってみたい/地球の環境を守るゴミ拾い/ごみ拾いのボランティア活動/ゴミ拾い活動/美化活動・歴史文化の体験・農業体験（再掲）/ゴミ拾い/ゴミ拾いをやりたい/清掃/ゴミ拾い/ボランティア活動や美化活動/ゴミ拾いや小学生や中学生たちが安全に登校できるように通学路も定期的に点検していきたい。（車でも自転車でも徒歩でも）何かあったらすぐに学校に電話する。通学路が汚いなど/地域のごみひろい/ゴミ拾い/地域の人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことは多岐にわたります。以下はいくつかのアイデアです。①教わってみたいこと伝統工芸:地域特有の工芸品の作り方（陶芸、木工、染色など）を学びたい。料理教室:地元の食材を使った郷土料理の作り方を教わりたい。地元の歴史:地域の歴史や文化、伝説についての話を聞いてみたい。農業体験:地元の農家さんから農作業や収穫の手伝いを通して、農業のノウハウを学びたい。自然観察:地域の自然（植物や動物）の観察方法や環境保護について教わりたい。②地域でやってみたいこと地域イベントの企画:地域のお祭りやイベントを企画し、参加者を募る活動をやってみたい。ボランティア活動:地元の老人ホームや子どもたちの支援活動に参加したり、清掃活動を行いたい。文化交流:地域の異文化交流イベントを開催し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したい。スポーツ

大会:地域の人々と協力してスポーツ大会を開催し、コミュニティの結束を深めたい。エコプロジェクト:環境保護をテーマにしたプロジェクトを立ち上げ、地域の自然を守るための活動に取り組みたい。これらのアイデアを通じて、地域の人々との交流を深めたり、新しいスキルを身につけたりする機会が得られると思います。

## ■自然や環境に関すること（自然探索・農業体験など）

### 【要約】

- つくば市や茨城県の自然や生態系について学びたい。
- 地元での自然保護活動や環境問題の取り組みについて興味がある。
- 筑波山の山登り、地質調査などのフィールドワーク、茨城県の海や川の生物観察をしたい。
- 福来みかんなど果物の育て方を学んだり、実際に農業体験したい。
- 地域の人とサクランボ狩りやイチゴ狩りなどへ参加したい。
- 生物の生態観察や触れ合い体験をしたい。
- 植栽、花植えを教わりたい。
- 星空観察をしてみたい。

### 【意見】

自然や環境について/この地域の生き物や科学のことについて/つくば市の地質調査などのフィールドワーク/茨城県の海の生き物を見たい/自然体験などについておそわってみたいです。/地域のみんなで、前にやったイチゴ狩りをしたい！！/農業体験/工作やものづくりに関することや、自然や環境に関することを教わってみたいです。/地域で農業体験と職業体験をしてみたいです。/地球にやさしい取り組み/猫に会いたい/みんなで自然の探検をしたい/地域でやってみたい事は農家の体験です。理由はまだ自分が1度もやったことのないことをやってみていからです。/自然のことについてもっと教わってみたいです。/農作物を植えて収穫したり地域の文化、歴史を教えてもらったりしたい。/つくば市は筑波山があるから、山のでき方とかを知りたい。/お花植え/環境や自然についてその地域で大事にしていること/山登り(筑波山)/自然や環境に関すること/田植え体験など/農業の仕事をやってみたい/福来みかんの育て方/作物の育て方/農業/地域のトレーナーや指導者から登山について教わりながら実際に山に登る活動/私の住んでいる地域やその周辺にはたくさんの自然があるので、その自然についてもっと詳しく知りたいです。/自然を守るための取り組みかた/地域の伝統行事や川のこと、自然について/自然を守る/小さい子との工作や自然体験/自然や環境に関すること/田植え/地域の特産品について直接教えてもらいたいなど思った。/つくばの自然体験を森でしてみたい。/自然保護のためにつくば市でしている事/地域の自然や環境などを教わってみたい。/だし巻き卵づくり、山登り/地域の人と生物に関しての研究/サクランボがり/つくば市の大自然を教えてください/自然のことや環境について教わりたい/地域の人から、もっと自然を教わりたいです。/農業について/スポーツ関連や勉強会など農業などの体験/農業の取り組みについて/畑などが多いから、農業のことを教えてもらいたい/生物などの生き物と触れ合って、その生態やどんな生き物なのかを体験したい。/自然体験・美化活動/農業のこと/環境に関すること/地域の人にどうやって野菜や果物を育てているかを教わりたい。/つり/自然や環境に関すること/自然に関することや伝統芸能について学びたい(再掲)/自然について/自然に関すること。/植栽/花植えの植え方を

教わりたいです。/農業に関するもの/自然のことを習いたい/地域の生き物などについて/星空観察をしてみたい。/筑波山の自然とかかわりながら登山する/環境の活動/底炉辺に生えている植物をなんていう名前か、どんなことができるのかを知れる行事があってほしい/周りの自然などのことについて教わってみたい/農業体験/農業について/職業体験・野菜、果物がり/職業体験、自然探索、農業体験/環境問題について/環境問題への取り組み/自然科学を教えてもらいたい/自然体験/地域のお祭りや自然に関するボランティア。他にも地域のイベントなどでのボランティアをもっとやってみたり、いろいろなもののボランティアに挑戦したり、地域の人と関わり協力したいです。/自然や環境に関すること/自然体験読み聞かせ/地域の人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことは多岐にわたります。以下はいくつかのアイデアです。①教わってみたいこと伝統工芸:地域特有の工芸品の作り方(陶芸、木工、染色など)を学びたい。料理教室:地元の食材を使った郷土料理の作り方を教わりたい。地元の歴史:地域の歴史や文化、伝説についての話を聞いてみたい。農業体験:地元の農家さんから農作業や収穫の手伝いを通して、農業のノウハウを学びたい。自然観察:地域の自然(植物や動物)の観察方法や環境保護について教わりたい。②地域でやってみたいこと地域イベントの企画:地域のお祭りやイベントを企画し、参加者を募る活動をしてみたい。ボランティア活動:地元の老人ホームや子どもたちの支援活動に参加したり、清掃活動を行いたい。文化交流:地域の異文化交流イベントを開催し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したい。スポーツ大会:地域の人々と協力してスポーツ大会を開催し、コミュニティの結束を深めたい。エコプロジェクト:環境保護をテーマにしたプロジェクトを立ち上げ、地域の自然を守るための活動に取り組みたい。これらのアイデアを通じて、地域の人々との交流を深めたり、新しいスキルを身につけたりする機会が得られると思います。

## ■工作やものづくり、芸術に関すること

### 【要約】

- プロのピアニストにピアノを教わりたい。
- 他校の吹奏楽部との合同演奏や、合奏など音楽に関することをしてみたい。
- 工作やものづくり、DIYに関することをしたい。
- 美術や絵の描き方などを学びたい。
- 劇
- 他の学年と工作をする機会や、ものづくりの体験やワークショップに参加したい。

### 【意見】

ピアノを教わりたい。(\*´▽`\*)(\*^-^\*)/工作やものづくりに関すること/自然環境のことや今外国での困りごとや紛争・戦争の解決方法やAIの科学技術工作やものづくりに関すること、伝統芸能・歴史、スポーツに関すること、職業体験に関することなどや学習支援について交通安全や防災に関することを地域の人に教わったり、地域の中でやってみたいです。(再掲)/音楽や楽器/プロのピアニストに教わってみたい。/工作、物作りなどをこれからもやってみたい/工作やものづくりに関すること。/工作やものづくりに関することや、自然や環境に関することを教わってみたいです。(再掲)/工作を教わってみたい。/工作やものづくりに関すること/工作やものづくりに関すること/物の作り方/工作/絵/工作・DIYなど/絵が上手く描けるコツ/DIと

かを教わってみたいです/スポーツに関することをやってみたい。工作やモノづくりをやってみ  
たい（再掲）/地域でやってみたいことは、みんなと一緒に工作をすること/工作スポーツ/物作  
り/ものづくり工作/美術について/DIY/工作やモノづくりに関すること/DIY、工作にかかわっ  
ているもの/スポーツに関することを教わってみたい(学校の授業課外授業も含めて)、工作やモノ  
づくりに関すること、伝統芸能、伝統行事、伝統文化に関することを教わってみたい（再掲）/  
美術/楽器を学んだり、いろいろな学校の吹奏楽部と合同演奏してみたい/工作/スポーツや日曜  
大工について教わってみたい。（再掲）/DIY/工作/小さい子との工作や自然体験（再掲）/合唱  
など音楽に関すること/マラソン！絵を描く！（再掲）/工作を教わりたいです/何か作ったりす  
る「工作祭り」みたいな祭りというイベントをやってみたいと思います。/工作体験/料理を  
作ったり工作したりしてみたい/DIYなど/工作/工作や職業体験に関することを教わってみたい  
（再掲）/国際交流に関することや音楽などの芸術などを学びたい。（再掲）/軽音楽、野球/工  
作/工作をもっとやりたいです。/ものづくり/DIYで地域をきれいにしたいよん/これから教わ  
ってみたいことは、工作やモノづくりに関することです。つくばの伝統や文化財についても地域  
をよく知る人に聞いてみたいと思いました。（再掲）/工作やインターネットについて（再掲）/  
美術について/DIY/工作や物づくり/劇/音楽について。/地域の方々や様々な学校の人と絵をか  
いてみたいボランティア活動をやってみたい/ピアノや音楽関係の事について学びたい。/工作  
やモノづくりに関すること/絵を描くことなど美術に関連した行事などをやってみたい/工作、  
運動を地域でやってみたいです。/工作や物づくり/職業体験、工作やものづくりに関すること  
（再掲）/美術/ワークショップ/工作など/スポーツ、絵（再掲）/工作やモノづくり/スポー  
ツや物作りをやってみたい（再掲）/工作などをやりたい。/さまざまなDIY

## ■地域の人と関わりが持てること

### 【要約】

- 挨拶運動やあいさつ祭り。
- 他校との交流会（例：スポーツ大会、芸術コンテスト、学校別対抗球技大会、交換留学、小  
中校合同イベント）
- 地域の人に伝統的に伝わってきたものを教わりたい。
- 文化祭、バザー、交流会などで幅広い世代や地域の人々と関わる機会を増やしたい。
- 地域の交流会（季節イベントなど）
- 地域の人々と一緒に旅行に行きたい。

### 【意見】

いろんな人が参加できるイベントや、文化祭、バザーなどを開いたり開いてもらったりしてみ  
たい。  
地域の人と旅行に行ったりして仲を深めたい。/あいさつ祭り/他の地域の文化体験をしてみ  
たいです。/地域全体で交流してみたい/いろんな人たちと関われるイベントごと/地域に住んでい  
る人との交流。/地域の人には必ず挨拶をするのを心がけて生きたい。/市内のいろんな小学校  
で一週間転校したい。/みんなで交流会/幅広い世代で集まって、いろんなことをしてみたい。/  
楽器を学んだり、いろいろな学校の吹奏楽部と合同演奏してみたい（再掲）/地域の交流会など  
に参加してみたいです。/あいさつをする活動・街をきれいにする・ごみひろいをするなど/交

流/高校・中学校・小学校の垣根を超えたイベント/地域で季節のイベント(クリスマス会など)をし、交流を深めたい/地域の人との交流をもっとしてみたい/地域の祭りなどによる地域での交流/交流会/中学生が仕切る地域での交流会/地域をよくするための意見交換など/あいさつ運動/地域の人たちでお話ができるお話会などがあつたらしゃべりやすいと思いました。/挨拶をもっと心がけること。/交換留学/交流会/地域の人との交流会/みんなでごみ拾いや交流活動をして遊んだりしていきたいと思った。(再掲)/地域のひとと、あまりかかわっていなかったから話してみたいです/もっといろんな人とかかわって行って地域の人となか良く楽しくしていきたいと思いました/地域全体で触れ合う/地域で伝統的に伝わってきたものを教わってみたい。/地域で旅行とかしてみたい/地域活動にはどんなことがあるのか/他に地域の良いところをたくさん教えてもらいたい/地域の人と一緒に挨拶をやりたい/他の地域とは違った自分の地域にしかない良い所/地域の伝統歴史をしりたい。また、地域の人と触れ合いたい。(再掲)/もっと地域の人たちと仲良くなりしたい。/地域のかかわりをもっと増やしてほしい。特に、子供を中心とした活動をしたいです。/旅行/各学校での交流会/色々な地域の特色を知りたい/地域の交流会/親子や友達と協力して活動できること。/いろいろな地域の人とかかわる活動。地域の文化。

(再掲)/色々な地域の人とかかわりをもてることをしたい。/各学校の代表の人でスポーツ大会、芸術に関する大会。/地域のお祭りや自然に関するボランティア。他にも地域のイベントなどでのボランティアをもっとやってみたり、いろいろなもののボランティアに挑戦したり、地域の人と関わり協力したいです。/挨拶/中学校対抗球技大会/もっと地域の人たちにあいさつをする/話し合いの仕方/みんな遊び/子供は、学校などでPCを使っているが、今、少子化が進んできているので、高齢者の人たちにもPCを使う機会を作ってみることがいいと思います。

## ■学習に関すること

### 【要約】

- AI や科学技術、工作や技術に関する学びを深めたい。
- 化石や鉱石の採集体験をしてみたい。
- 介護職員や医療など、将来の職業に関して学びたい。
- 地域にいる生き物の生態について学びたい。
- 社会問題や地域での工夫、地域をより良くするための活動について学んでみたいという要望がある。
- 勉強会や個別の学習支援を地域でしてみたい。
- 普段体験しないことや自分があまりやらないことに挑戦したい。

### 【意見】

自然環境のことや今外国での困りごとや紛争・戦争の解決方法やAIの科学技術工作やものづくりに関すること、伝統芸能・歴史、スポーツに関すること、職業体験に関することなどや学習支援について交通安全や防災に関することを地域の人に教わったり、地域の中でやってみたいです。(再掲)/化石や鉱石の採集体験/水について/片付けやいろいろやったことのないことをしてみたい。/技術に関する学習など/技術について/今、自分たちが住んでいる地域には、どのような問題があるのか。/地域であまりしられていない、物を教わってみたい。/社会はどのようなものなのか/習字/いろんなことをまなびたい/部活での技術を身につけられるようにし

たい。/人生の生き方/中学生のときにやってよかったこと/医療/大学の方の講義をもっと聞きたい。/数学/お祭り。漫画家さんの授業/地球のこと/みんなで旅行に行つて知らないことを学びたい/勉強/地域の人でスポーツをやりたい、例えば地域でドッチビーとかをやりたい。あと勉強会をしたい。皆で一緒に意見を述べれば皆で学べるし頭を良くできる。なので地域で活動したい(再掲)/医学に関することの説明会/地域はどのようにしてよりよくなつてるのか/地域で有名な食べ物や伝統について教えてもらいたいです。/子供会読み聞かせ/生き物に関する事/日本の文化をくわしく知りたい/研究/化石掘り/地域の大切に思つてゐることはなにか?/自動車関係/勉強会をやつてみたい/芸術鑑賞会/社会問題などについて/普段の生活では、体験することの無いような事/今までにやつたことがないことについて学びたい。/自分があんまりやらないことを体験してみたい。/どうやればもっと楽しく、くらせるか/化石などの発掘/地域にいる生き物の生態などについて教えてもらいたいです。/医療関係について/動物のこと/もっといろいろなことを体験したい/大人がやつてゐることをやる/日本の歴史/介護職員についてもっと知りたい。理由自分の将来の夢が介護職員だから/地域で行つてゐる工夫を知つてみたい/地域の大人ならではのやるべきことや体験談/算数が苦手なので教わりたいたいです。スポーツも教わりたいたいです。(再掲)/つくば市は科学の町だと思つるので科学のことについて教わつてみたいです。

## ■防災に関する事

### 【要約】

- 地域で防災訓練を実施し、災害が発生した際の適切な行動を学びたい。(例：避難訓練、火災時の対処方法、自信の際の移動方法)
- 防災に関する知識や活動(例：防災マップ、避難場所の確認)を地域の人々と共有し、災害に備える準備を強化したい。
- 防災キャンプで防災体験をしたい。

### 【意見】

自然環境のことや今外国での困りごとや紛争・戦争の解決方法やAIの科学技術工作やものづくりに関すること、伝統芸能・歴史、スポーツに関する事、職業体験に関する事などや学習支援について交通安全や防災に関する事を地域の人に教わつたり、地域の中でやつてみたいです。(再掲)/地域でやつてみたいことは、地域の人全員で、火事が起きた時の移動の仕方や、地震が起きた時の移動の仕方を学びたいです。/地域の人からこの町の歴史を教わつたり防災活動などを一緒にやつてみたいです。(再掲)/避難訓練/防災について/防災について/防災に関する事を教わりたいたいです。/災害が起きたらどうすればいいのか/地域で災害や、地震、津波が起きたときにどうするかやつてみたい。/つくば市の防災について教わつてみたい/集会所で地域の人たちと、体験活動、防災などについて話したり、活動したい。/防災で、避難場所などを地域の人たちと確認し、すぐに逃げることができるようにしたいです。/防災についての取り組み(避難訓練など)/地域で行われてゐる防災の工夫について教わつてみたいです。また、地域の伝統芸能や歴史も知りたいです。さらに、地域で交通安全や防犯に係ることを体験してみたいと思つました(再掲)/防災などもしもの時の取り組みを知りたい。/防災に関する事についても学びたい/災害について/地域の防災訓練/防災訓練/地区の防災について/防災の

ことを教わってみたい。/防災に関すること。/防災に関することと、交通安全や防犯に関する  
こと（再掲）/火事が起こった時にどのようにすればいいのか。/防災に関すること/災害があっ  
た時にどういう行動をすればよいか。/歴史や文化を教えてもらいたい。防災に関することを教  
えてもらいたい。（再掲）/地域の伝統品や防災についてなど（再掲）/火災が起きた時の対処方  
法/防災訓練を何かあった時のためにやりたい。/防災マップ/防災マップ/何か災害が起こった  
ときに、どのようにするのか、どのように対策するかなど防災災害のこと/防災に関すること/  
防災に関することをいろいろ教えてもらいたい/防災や自然災害について教わってみたい/防災  
にかかわること/防災に関すること/スポーツ、防災（再掲）/防災について/防災活動、AI や科  
学技術などに関すること/防災に関すること。/職業体験、防災訓練（再掲）/防災に関すること  
/防災に関すること/防災訓練/防災訓練/防災時に備えての対策など/防災に関する訓練をやっ  
てみたい/防災訓練/防災キャンプ(\*'▽')

## ■料理や裁縫に関すること

### 【要約】

- 地元の食材を使用した地域の郷土料理の作り方を教わりたい。
- 料理について学びたい。（例：ケーキ、お菓子、だし巻き卵）
- 地域の食文化の歴史が知りたい。
- 地域の名産品の作られ方を学びたい。
- 地域の人と裁縫を通じて交流をしたい。

### 【意見】

料理/伝統料理/料理をしてみたい/ケーキ作り/伝統品の作り方などいろいろな文化に触れてみ  
たい。料理や家事など職場体験などをやってみたいと思います。（再掲）/料理や化学のことな  
どたくさん学んで将来に生かしたいです。（再掲）/伝統料理や宗教などを知りたい/料理/地域  
の郷土料理の作り方を教わってみたい。/料理/料理についてもっと知りたいと思った。ゴミ拾  
いなどにも参加してみたい。（再掲）/料理やお菓子を教わりたいです。/家庭科/料理/どうやっ  
て料理をするか/手芸について/料理・裁縫・祭り/お裁縫だったり、健康にいい料理/料理や裁  
縫の仕方/地域の人と何か裁縫で作品を一人一人作ってみたい/料理を教わりたい/料理を作っ  
たり工作したりしてみたい（再掲）/料理のことや裁縫のことを学んでみたいです。/だし巻き卵  
づくり、山登り（再掲）/料理や裁縫/美味しいお菓子作りを教わってみたいです。/お菓子作り  
/裁縫や料理/地域の人から教えてもらいたいのは地域の良さや環境の良さです。やってみたい  
ことは食事会に行ったりすることです/料理/料理/ごはん/クッキングやその地域の歴史などな  
ど…（再掲）/伝統料理/食事のこと/茨城の食べ物を使った料理を教わること/お料理体験/自分  
の町の有名な食べ物をどうやって作っているのかを学ぶ会/地域の食文化が知りたい！/地域の  
人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことは多岐にわたります。以下はいくつか  
のアイデアです。①教わってみたいこと伝統工芸:地域特有の工芸品の作り方（陶芸、木工、染  
色など）を学びたい。料理教室:地元の食材を使った郷土料理の作り方を教わりたい。地元の歴  
史:地域の歴史や文化、伝説についての話を聞いてみたい。農業体験:地元の農家さんから農作  
業や収穫の手伝いを通して、農業のノウハウを学びたい。自然観察:地域の自然（植物や動物）  
の観察方法や環境保護について教わりたい。②地域でやってみたいこと地域イベントの企画:地

域のお祭りやイベントを企画し、参加者を募る活動をしてみたい。ボランティア活動:地元の老人ホームや子どもたちの支援活動に参加したり、清掃活動を行いたい。文化交流:地域の異文化交流イベントを開催し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したい。スポーツ大会:地域の人々と協力してスポーツ大会を開催し、コミュニティの結束を深めたい。エコプロジェクト:環境保護をテーマにしたプロジェクトを立ち上げ、地域の自然を守るための活動に取り組みたい。これらのアイデアを通じて、地域の人々との交流を深めたり、新しいスキルを身につけたりする機会が得られると思います。

## ■AIや科学技術などに関すること

### 【要約】

- AI技術やその仕組みについて将来に活かすために学びたい。
- プログラミングについて学ぶ教室や、地域の人とイベントで体験したい。
- 科学実験、科学技術全般を学びたい。
- ロケットや鉄道シミュレーターなどに興味がある。

### 【意見】

AIプログラミング/つくば市はAIの技術がとても発展しているので、その技術をどうやって生み出したのかを知りたいです。/地域でスポーツなどみんなができる楽しい行事や最先端のAIなどを使ったことなどがやりたい。(再掲)/AIや科学技術について/AIや技術に関するもの/AI系/プログラミングについて教わってみたい/プログラムやAIを教わりたい/ロボットのプログラミングを地域の人たちで集会場に集まってやってみたい。/料理や化学のことなどたくさん学んで将来に生かしたいです。/みんなで楽しくサッカーやパソコンのことについてやってみたい。(再掲)/AIのスポーツ(テニス)(再掲)/科学について/プログラミング練習体験/化学技術を学ぶ事/AI/化学実験/鉄道シミュレーター/AIやプログラミングについて/工作やインターネットについて/AIの仕組みを教わってみたい/AIに関すること。/科学などに関すること/数学・化学・科学・機械・AI・ロボットなどのデジタル系・理数系/防災活動、AIや科学技術などに関すること(再掲)/AIやパソコン(主にプログラミング等)に関する技術面でどのようなことをしているのか。管理方法や、どのように打ち込むのか。/AIについて/プログラミング、公園などの背景を書く/未来のこと技術のこと/ITや技術の事を教えてほしい/スポーツとAIや科学技術(再掲)/ロケットなどの機械に関すること/プログラミングの教室とかを学んでみたいです。/実験

## ■職業体験に関すること

### 【要約】

- 職業体験をしてみたい。(例:農作物の収穫の手伝い、お菓子屋、スーパーのボランティア)
- 自分が将来したいことや夢に関することをしてみたい。
- 職業に関する情報の情報がほしい。

### 【意見】

自然環境のことや今外国での困りごとや紛争・戦争の解決方法やAIの科学技術工作やものづくりに関すること、伝統芸能・歴史、スポーツに関すること、職業体験に関することなどや学習支援について交通安全や防災に関することを地域の人に教わったり、地域の中でやってみたい

です。(再掲) /職業に関することはしていきたいです/職業に関することや伝統について(再掲) /職業に関する体験などやってみたいです。/伝統品の作り方などいろいろな文化に触れてみたい。料理や家事など職場体験などをやってみたいと思います。(再掲) /職業体験、お祭りなどをやってみたい/教わってみたいことは、地域の伝統芸能・歴史文化の体験と、スポーツ大会やスポーツ探検、やってみたいことは、外国語や外国文化など国際交流に関することと、職業体験に関することです。(再掲) /職業体験をやってみたいです。/職業体験に関すること/職業に関することで情報が欲しい/職業の体験やその他の体験に関すること/工作や職業体験に関することを教わってみたい/カスミでやっているスキャン&ゴーのボランティア(今年やったから) /自分のやりたいことや夢に関すること。/職業体験/職業体験をしてみたい/職業体験をやってみたいです/お菓子屋で働いてみたい/職業体験/職業体験、防災訓練/職業体験など/職業体験学習/職業とかスポーツ大会とか(再掲) /職業体験、工作やものづくりに関すること(再掲) /職業体験・野菜、果物がり(再掲) /職業体験、自然探索、農業体験(再掲) /職業体験/美化活動・歴史文化の体験・農業体験(再掲) /地域の人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことは多岐にわたります。以下はいくつかのアイデアです。①教わってみたいこと  
 伝統工芸:地域特有の工芸品の作り方(陶芸、木工、染色など)を学びたい。料理教室:地元の食材を使った郷土料理の作り方を教わりたい。地元の歴史:地域の歴史や文化、伝説について話を聞いてみたい。農業体験:地元の農家さんから農作業や収穫の手伝いを通して、農業のノウハウを学びたい。自然観察:地域の自然(植物や動物)の観察方法や環境保護について教わりたい。②地域でやってみたいこと  
 地域イベントの企画:地域のお祭りやイベントを企画し、参加者を募る活動をしてみたい。ボランティア活動:地元の老人ホームや子どもたちの支援活動に参加したり、清掃活動を行いたい。文化交流:地域の異文化交流イベントを開催し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したい。スポーツ大会:地域の人々と協力してスポーツ大会を開催し、コミュニティの結束を深めたい。エコプロジェクト:環境保護をテーマにしたプロジェクトを立ち上げ、地域の自然を守るための活動に取り組みたい。これらのアイデアを通じて、地域の人々との交流を深めたり、新しいスキルを身につけたりする機会が得られると思います。

## ■ボランティア活動に関すること

### 【要約】

- 地域に貢献したり、人の役に立てることをしてみたい。
- 子どもの会など、保護者がしていることの手伝いをしたい。
- 地域のイベントのボランティアに挑戦したり、協力したい。

### 【意見】

ボランティア活動などの人の役に立てることをやってみたいです。/ボランティアに参加したい/地域に貢献できるようなボランティアや地域のためになることをしたい/地域の人とボランティアなどに取り組みたい/ボランティアをやってみたい/普段保護者が行う子供の会の手伝いをしたい/外国の人と交流する活動。被災地のボランティア(再掲)/つくば祭りにはこれからも参加したい。また、ボランティア活動も行ってみたい。(再掲) /地域のボランティアをやってみたい/ボランティア活動/ボランティア活動/子供やみんなができる物でのアンケートを取り、多かったもので活動してみたいです。/ボランティア活動をしたりしてみたいです。/保護者が

やっている仕事について/手伝い/地域の方々や様々な学校の人と絵をかいてみたい。ボランティア活動をやってみたい(再掲)/ボランティア活動がしたい/ボランティア/ボランティア活動/ボランティア活動/もっと地域のボランティア活動に参加したいです!/地域のお祭りや自然に関するボランティア。他にも地域のイベントなどでのボランティアをもっとやってみたり、いろんなもののボランティアに挑戦したり、地域の人と関わり協力したいです。/ボランティア活動や美化活動(再掲)/ボランティアなどをもっとおそわりたい

## ■外国語や外国文化など国際交流に関すること

### 【要約】

- 地域で外国人との交流や国際交流に関わることをしたい
- 外国語や外国の文化について教わりたい
- 英語で観光客を案内する活動をしてみたい

### 【意見】

サッカー、英語(再掲)/地域のみんなで国際交流にかかわることをやってみたい。/外国のこと、サッカーのちゃんとした教え/教わってみたいことは、地域の伝統芸能・歴史文化の体験と、スポーツ大会やスポーツ探検、やってみたいことは、外国語や外国文化など国際交流に関することと、職業体験に関することです。(再掲)/外国の人と交流する活動。被災地のボランティア/外国語や外国文化について/英語で観光客を案内する活動/国際交流/国際交流に関することや音楽などの芸術などを学びたい。/外国のことなど/外国のことについて/海外のことを知りたい/外国人との交流/英語を教わりたい/地域の人から教わってみたいことや、地域でやってみたいことは多岐にわたります。以下はいくつかのアイデアです。①教わってみたいこと伝統工芸:地域特有の工芸品の作り方(陶芸、木工、染色など)を学びたい。料理教室:地元の食材を使った郷土料理の作り方を教わりたい。地元の歴史:地域の歴史や文化、伝説について話を聞いてみたい。農業体験:地元の農家さんから農作業や収穫の手伝いを通して、農業のノウハウを学びたい。自然観察:地域の自然(植物や動物)の観察方法や環境保護について教わりたい。②地域でやってみたいこと地域イベントの企画:地域のお祭りやイベントを企画し、参加者を募る活動をしてみたい。ボランティア活動:地元の老人ホームや子どもたちの支援活動に参加したり、清掃活動を行いたい。文化交流:地域の異文化交流イベントを開催し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したい。スポーツ大会:地域の人々と協力してスポーツ大会を開催し、コミュニティの結束を深めたい。エコプロジェクト:環境保護をテーマにしたプロジェクトを立ち上げ、地域の自然を守るための活動に取り組みたい。これらのアイデアを通じて、地域の人々との交流を深めたり、新しいスキルを身につけたりする機会が得られると思います。

## ■交通安全や防犯に関すること

### 【要約】

- 交通安全や防犯に関すること
- 交通安全に関するボランティア活動をしてみたい
- 地域で協力して防犯等の安全面に関するイベントをしたい
- 小中学生が安全に登校できるように通学路を点検し、問題があれば連絡をする。

## 【意見】

自然環境のことや今外国での困りごとや紛争・戦争の解決方法やAIの科学技術工作やものづくりに関すること、伝統芸能・歴史、スポーツに関すること、職業体験に関することなどや学習支援について交通安全や防災に関することを地域の人に教わったり、地域の中でやってみたいです。(再掲) /地域で行われている防災の工夫について教わってみたいです。また、地域の伝統芸能や歴史も知りたいです。さらに、地域で交通安全や防犯に関係することを体験してみたいと思いました(再掲) /みんなを守る人/防災に関することと、交通安全や防犯に関すること/安全に帰ろう/ボランティア活動で交通安全とかをしてみたいです。/交通安全や防犯に関するもの。/地域をみんなで協力して守るために防災や防犯に関係する安全面のイベントを行ってみたい。/交通機関について/交通安全/交通安全や犯罪について教わってみたい。/ゴミ拾いや美化活動・交通安全に関すること(再掲) /ゴミ拾いや小学生や中学生たちが安全に登校できるように通学路も定期的に点検していきたい。(車でも自転車でも徒歩でも)何かあったらすぐに学校に電話する。通学路が汚いなど(再掲)

## ■その他

### 【意見】

何かを一緒に行く/みんなで色々集める/んさい/地域の特色を生かして遊ぶ。/今までに経験して役に立ったこと。/このままで十分/現在の人口はどのようになっているのか?/どうすればもっといい地域になるか?/あなたの生きがいとは/どうやったらもっと地域がよりよく生活できるだろうか/何が有名か/幸せな人生を送ること。/現状で十分/昔から今に至るまでで変わったこと。また変わってほしいことなど。/集中して努力する。/昔の生活。犬の教育。動物とのふれあい(再掲) /ディズニー攻略法/みんなで楽しいことをやりたい/色んなこと/たのしむ/ディズニーいく

### III. 資料

#### 1. 市民意識アンケート調査票

市民意識アンケートへの御協力をお願い

## つくば市の生涯学習について 御意見をお聞かせください



このたび、つくば市では、「学び」を通じて市民の皆様一人ひとりが幸せな人生を送り、また成果をいかして、人と人がつながり、地域を豊かにするため、生涯学習施策の一層の充実を図るべく、(仮称)「第4次つくば市生涯学習推進基本計画」の策定に取り組んでいます。

計画策定にあたり、市民の皆様の生涯学習の現状、生涯学習に対する考えや御要望等を把握し、計画策定や施策の推進に役立てることを目的としてアンケート調査を実施することとなりました。

なお、回答をお願いする方は、地区ごとに人数を割り振り、無作為に3,000名を選ばせていただきました。回答は、無記名で、結果は統計的に処理いたしますので、回答した方が特定されたり、回答内容が漏れたりすることはありません。

皆様の回答は、つくば市の生涯学習を今後充実させるために重要なデータとなります。調査の趣旨を御理解の上、御協力くださいますようお願いいたします。

令和6年11月 つくば市

#### ◆生涯学習とは◆

家庭、学校、職場、地域、TVマスメディア等で行われる全ての学習活動をさし、教養的なものだけでなく、スポーツ・文化芸術・ボランティア・レクリエーション・趣味等も含まれます。

#### 御記入にあたってのお願い

- 1 御回答は、調査票の宛名の御本人がお答えください。御本人が記入することが難しい場合は、御家族や身近な支援者の方などが代わりに御本人の意見を聞きながら記入ください。
- 2 本調査は紙の調査票(本調査票)での御回答とインターネットでの御回答が可能です。
- 3 インターネットで御回答くださる方は、パソコン、タブレット、スマートフォンで下記のURLまたは、右の二次元コードからアクセスをお願いいたします。  
(所要時間およそ10~15分程度)  
アクセス用 URL: [https://enquete.cc/q/tsukuba\\_shogai](https://enquete.cc/q/tsukuba_shogai)
- 4 インターネットで御回答くださる方は、紙の調査票の返送は不要です。  
(どちらかで御回答をお願いいたします。)
- 5 御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、**11月25日(月)**までに、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。(記名や切手は不要です。)  
インターネットで御回答いただく場合は、**12月1日(日)**までに御回答をお願いいたします。
- 6 この調査に関する御不明点や御質問などのお問合せは、下記までお願いいたします。



【問合せ先】つくば市教育局生涯学習推進課 電話:029-883-1111(内線4520)



## この1年間のあなた御自身の「学び」についてお伺いします

問1 あなたはこの1年間に何かを学んだり、身につけたり、技能を高めたりしたことがありますか。どちらか当てはまる番号に○をつけてください。

(講座・教室に参加したり、展示会、演奏会、講演会などに行ったりするだけでなく、先生やコーチについたり、自宅で本を読んだり、テレビやラジオ、動画を見たり聞いたりして学んだことを含みます。)

1. ある

2. ない

① 【「2. ない」方のみ】学習しなかった理由は何ですか。

○はいくつつけてもかまいません。当てはまる番号に○をつけてください。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. そういうことは好きではない       | 8. 近くに学習する場所がない         |
| 2. 興味のわく学習内容がない        | 9. 学習できる場所がわからない        |
| 3. 何をどのように学習してよいかわからない | 10. 家族や職場などの周囲の理解が得られない |
| 4. 一緒に学ぶ仲間がいない         | 11. 特に理由はない             |
| 5. 病気や心身等の不調           | 12. その他 ( )             |
| 6. 費用が高い               |                         |
| 7. 忙しくて時間がない           |                         |

※「7. 忙しくて時間がない」以外を選んだ方は次ページの問2へお進みください。

② 【「7. 忙しくて時間がない」を選んだ方のみ】どうしたら学習をしようと思いませんか。○はいくつつけてもかまいません。当てはまる番号に○をつけてください。

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いつでも学習できる方法があったら   | 5. 子育て等に必要な学習内容があったら |
| 2. どこでも学習できる方法があったら   | 6. 仕事等に必要な学習内容があったら  |
| 3. 簡単にできる学習方法があったら    | 7. 詳しい情報があったら        |
| 4. 親子で一緒に学習できる方法があったら | 8. その他 ( )           |

※この後は、次ページの問2へお進みください。

問1-1 【1. 「ある」を選んだ方のみ】あなたが学んだことはどのようなことですか。3つ選び力を入れたものの順に□に番号を記入してください。(1つや2つだけでもかまいません)

1位

2位

3位

- |   |   |
|---|---|
| 1. 仕事に役立つ学習や資格取得・リカレント教育※<br>(コンピュータなどの技能習得も含む)<br>2. 健康の維持・増進や医療<br>3. 消費・食生活など家庭生活の在り方<br>4. 子どものしつけや教育の在り方<br>5. カウンセリングなど心の悩みを解決すること<br>6. 生活設計や金融教育<br>7. 高齢者や障害者などの福祉分野<br>8. 防災<br>9. ゴミ処理・リサイクル・自然保護などの環境分野<br>10. 外国語・文学・歴史・哲学・法律・科学などの知識・教養の向上や自己啓発 | 11. 人権<br>12. 男女共同参画・ジェンダー平等<br>13. 文化財の理解・保護や活用<br>14. 文化芸術・芸能<br>15. スポーツ・レクリエーション活動<br>16. 自治会・区会などの地域活動<br>17. 子ども会やスポーツ少年団などの青少年の育成活動<br>18. ボランティア活動<br>19. 外国籍の人たちとの交流<br>20. 自然体験や生活体験など<br>21. その他 ( ) |
|---|---|

※リカレント教育とは、社会人になってから自分の仕事に関する専門的な知識やスキルを得るための学びのことです。





問4-4 あなたはそれを何のために学びたいと思いますか。主なものを1つだけ選んで、その番号に○をつけてください。

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 趣味・教養を深めるため             | 7. 展示会、発表会、試合などに役立てるため |
| 2. 健康の維持や体力づくりのため          | 8. 友人を作るため             |
| 3. 生きがいづくりのため              | 9. 老後を豊かに過ごすため         |
| 4. 日常生活に必要な知識・技術を身につけるため   | 10. 講師や指導者として他人に指導するため |
| 5. 職業生活や就職・転職に役立てるため       | 11. その他 ( )            |
| 6. ボランティア活動など、地域づくりに役立てるため |                        |

問4-5 あなたは御自身の学習成果をつくば市のまちづくりに役立てたいと思いますか。どちらか当てはまる番号に○をつけてください。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- ① 【「2. いいえ」を選んだ方のみ】役立てたいと思わない理由は何ですか。○はいくつつけてもかまいません。当てはまる番号に○をつけてください。

  1. 自己の楽しみや自主学習が目的だから
  2. 一緒に取り組む仲間がないから
  3. 自身の知識・技術が未熟だと思うから
  4. 役立てるために必要な情報が手に入らないから
  5. きっかけや機会、場がないから
  6. まちづくりには必要ないと思うから
  7. その他 ( )

※この後は、次ページの問5へお進みください。

問4-6 【「1. 「はい」を選んだ方のみ】あなたは学習の成果を地域や社会でどのような形でいかしたいと思いますか。○はいくつつけてもかまいません。当てはまる番号に○をつけてください。

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 学校での学習支援                   | 9. 子育て支援活動                 |
| 2. 学校での部活動等の支援                | 10. 講座などの講師                |
| 3. 地域美化活動                     | 11. 知識・技能等の伝達、伝承           |
| 4. 交通安全活動                     | 12. 学習やスポーツ、文化活動などの実践や指導   |
| 5. 防災・防犯活動                    | 13. 個人の資格等を活用し、職業を通しての社会貢献 |
| 6. ボランティア活動や地域活動等の実践や指導       | 14. 民間団体（企業含む）への指導・支援      |
| 7. 民生委員児童委員、保護司、人権擁護委員等としての活動 | 15. その他 ( )                |
| 8. 介護支援活動                     |                            |



問8 学校と地域が連携・協働して、登下校の見守りやあいさつ運動、地域資源をいかした体験活動や校外学習のボランティア、職場体験の手伝いなど、様々な活動（地域学校協働活動※<sup>2</sup>）に取り組んでいますが、あなたのお住まいの地域で、このような活動がある場合、参加したいと思いますか。1つだけ選んで、その番号に○をつけてください。

- |                   |                |          |
|-------------------|----------------|----------|
| 1. 現時点で参加したい      | 4. 参加したいが難しい   | 6. わからない |
| 2. 今後参加したい        | 5. 参加したいとは思わない |          |
| 3. 活動内容によっては参加したい |                |          |

1、2、3を選択した方

4、5を選択した方

6を選択した方は、次ページの問9へお進みください。

① 【「4. 参加したいが難しい」、「5. 参加したいとは思わない」を選んだ方のみ】その理由は何ですか。○はいくつつけてもかまいません。当てはまる番号に○をつけてください。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. そういうことは好きではない    | 7. 地域や学校と関わりがない        |
| 2. どんな活動があるか知らない    | 8. 家族や職場などの周囲の理解が得られない |
| 3. 活動への参加方法がわからない   | 9. 特に理由はない             |
| 4. 一緒に活動してくれる仲間がいない | 10. その他 ( )            |
| 5. 病気や心身等の不調        |                        |
| 6. 忙しくて時間がない        |                        |

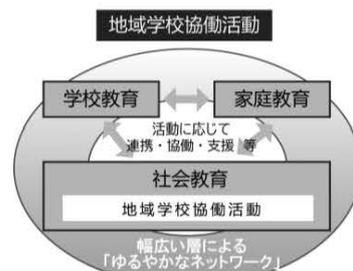
※この後は、次ページの問9へお進みください。

問8-1 【「1. 現時点で参加したい」、「2. 今後参加したい」、「3. 活動内容によっては参加したい」を選んだ方のみ】具体的にどのような活動に参加したいと思いますか。○はいくつつけてもかまいません。当てはまる番号に○をつけてください。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 登下校や休み時間の見守り活動     | 8. ゲストティーチャーとして授業等への協力  |
| 2. あいさつ運動             | 9. 地域・町探検の協力            |
| 3. 学校周辺の美化活動          | 10. 校外学習でのボランティア        |
| 4. 学校行事の手伝い           | 11. 地域資源をいかした体験活動への協力   |
| 5. 図書整備や読み聞かせボランティア   | 12. 職場見学・体験等のキャリア学習への協力 |
| 6. 学習支援ボランティア         | 13. 家庭科の実習サポート（裁縫・調理）   |
| 7. 外国人児童への日本語学習ボランティア | 14. その他 ( )             |

※2 「地域学校協働活動」とは

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等が参画して、「地域全体で子ども達の学びや成長」を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を進めるために、地域と学校がパートナーとなり、相互に連携・協働して行う様々な活動（ボランティア）の事です。本活動は原則、どなたでも参加可能です。コミュニティ・スクールと本活動は、一体的に推進されることが望ましいと考えられます。（もしくは一体的に推進されています。）



## つくば市の生涯学習についてお伺いします

問9 つくば市では、生涯学習や社会教育の充実により、市民一人ひとりの「社会力<sup>※3</sup>」を高めるよう取り組んでいます。あなたは「社会力」という考え方を知っていますか（見聞きしたことがありますか）。1つだけ選んで○をつけてください。

1. 言葉も考え方も知っている      2. 言葉のみ知っている      3. 知らない

問10 あなたのお住まいの地域は、「社会力」がいかされた地域になっていると思いますか。1つだけ選んで○をつけてください。

1. なっている      3. どちらかと言えばなっていない      5. わからない  
2. どちらかと言えばなっている      4. なっていない

問11 あなたは、市民の「社会力」を高めるために、どのようなことをしたらよいと思いますか。提案やアイデアなどを、御自由にお書きください。

### ※3 「社会力」とは

これまで、色々な場所や機会に学んで身につけた知識や技能などを、自分の人生を豊かにするだけでなく、他の人の人生を豊かにするために、お互いを役立て、そうすることで住みよい地域や社会を作ろうとする意識やそれを実行する力のことです。



最後に、あなたのライフステージ（性別・年齢・職業等）の観点から、ここまで伺ってきたような生涯学習全般について自由に御記入ください。

例：社会教育、生涯学習のあり方やアイデア、現状に対する御意見、今後自分自身取り組みたいことなど、どのような内容でも構いません。

質問は以上です。お忙しいところ御協力ありがとうございました。

### ■市民ワークショップ開催のお知らせ■

令和6年11月、12月に「生涯学習のこれからについて考える市民ワークショップ」(全3回実施します。どこに参加いただいても構いません。なお、各回で申込締切日が異なりますので御注意ください。)を実施致します。皆様の御参加をお待ちしております。

詳細については、右下の二次元コードから、もしくは市のホームページから御覧ください。(広報つくば11月1日号でも紹介しています。)



アンケート回答後につきましては、  
お手数ですが、同封の返送用封筒に入れ封をし、11月25日(月)までにポストに投函してください。  
(インターネット回答の方は、12月1日(日)までに入力をお願いします。)  
調査結果は市ホームページなどに公表を予定しております。

生涯学習に関するアンケートに御協力ください。

つくば市では、生涯学習に関するアンケートを行うこととなりました。日本語で回答することがむずかしいときは、生涯学習推進課へ連絡してください。

【問合せ先】つくば市研究学園一丁目1番地1 つくば市生涯学習推進課  
Mail:edc074@city.tsukuba.lg.jp

Please fill out our survey for life-long learning.

In Tsukuba City, we will be conducting a survey regarding life-long learning.

If it is difficult to answer in Japanese, please contact Life-long Learning Promotion Division.

[Contact Information] Policy Section, Life-long Learning Promotion Division,  
Tsukuba City Hall Kenkyu-Gakuen 1-chome 1-1, Tsukuba-shi  
E-mail:edc074@city.tsukuba.lg.jp

请填写终身学习的调查问卷。(Automatic translation)

筑波市决定终身学习有关进行问卷调查。如果您觉得用日语回答有困难,请与终身学习推进科联系。

【询问】筑波市研究学園一丁目1号1 筑波市终身学习推进科  
Mail : edc074@city.tsukuba.lg.jp

평생 교육 대한 앙케이트에 협력해 주세요. (Automatic translation)

쓰쿠바시에서는, 평생 교육에 관한 앙케이트를 실시하게 되었습니다.  
일본어로 회답하는 것이 어려울 때는, 평생 교육 추진과까지 연락해 주세요.

【문의처】쓰쿠바시 연구학원 잇초메 1 번지 1 쓰쿠바시 평생 교육 추진과  
Mail : edc074@city.tsukuba.lg.jp

## 2. 児童生徒 WEB アンケート調査票(WEB 回答画面)

### つくば市生涯学習（しょうがいがくしゅう）に 関する児童生徒アンケート

生涯（しょうがい）にわたる学び※のこと、  
地域との関わりについてお聞きします。  
アンケートに御（ご）協力お願いします。

※このアンケートにおける「学び」とは、勉強をする、何か習い事をする  
ということだけでなく、いろいろな体験をすることや様々な人とふれあって何か  
に気づくこと・学ぶことなどを含みます。

**回答期日：12月13日（金）まで**

回答する

### あなた自身のことについて

#### 問1 学年

\*

1. 小学5年生
2. 中学2年生・義務教育学校8年生

#### 問2 差しつかえなければ性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. 答えない

#### 問3 差しつかえなければ学校名を教えてください。

選択してください

戻る

## 授業の時間以外の学びについて

問4 あなたは現在、学校の授業・部活動以外で学んでいること、取り組んでいることはありますか。

\*

1. ある
2. ない
3. わからない

問5 それはどのようなことですか。(いくつ選んでもいいです。)

\* (複数選択)

1. 学習塾(じゅく)
2. 音楽や美術、書道などの芸術系の習いごと
3. 料理などに関する習いごと
4. 外国語などに関する習いごと
5. 球技や武道、ダンス・バレエなどのスポーツ系の習いごと
6. プログラミングやロボット、パソコンに関する習いごと
7. その他

問6 学校の授業以外でこれから学んでみたいこと、取り組んでみたいことはありますか。(いくつ選んでもいいです。)

\* (複数選択)

1. 音楽や美術、書道、映画など芸術活動に関すること
2. スポーツや健康に関すること
3. 料理や裁縫(さいほう)などに関すること
4. 工作やDIY\*に関すること
5. 自然体験や生活体験に関すること
6. 歴史や文化に関すること
7. 外国語や外国文化など国際交流に関すること
8. 社会問題に関すること(自然環境や福祉(ふくし)、防災など)
9. パソコンやインターネットに関すること
10. AIや科学技術などに関すること
11. その他

※DIYとは、「Do It Yourself(直訳:自分自身でやる)」の頭文字をとった言葉で、プロや専門家でない人が自分で何かを作ったり、修繕(しゅうぜん)したりすることを指します。

問7 問6（ひとつ前の質問）で選んだことを気軽に学んだりすることができる機会があったら参加したいですか。

1. 参加したい
2. 参加したくない

問8 「ない・わからない」と回答した方  
その理由はなんですか。（いくつ選んでもいいです。）

\* 〈複数選択〉

1. 学ぶことや体を動かすことが好きではないから
2. 興味がない・面倒くさい
3. 時間や余裕（よゆう）がないから
4. 学びたいことや取り組みたいことがわからないから
5. その他

戻る

問9 つくば市は、大人になっても自分が学びたいことが学べるまちだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

戻る

## 地域のことについて

\*ここでいう「地域」とは自分が普段の生活で行動する範囲（はんい）くらいを指します。

問10 地域の人たちとよくあいさつしたり、話をしたりしますか。

\*

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問11 地域の行事やボランティアに参加したことはありますか。（いくつ選んでもいいです。）

\*（複数選択）

1. 地域のゴミ拾いや花植えなどの清掃・美化活動
  2. 地域のお祭り
  3. 地域の伝統芸能・歴史文化の体験
  4. スポーツ大会やスポーツ体験など
  5. 子ども会の行事（旅行等など）
  6. お話会や読書会、読み聞かせ会など
  7. 自然や環境に関する体験活動（自然探索（たんさく）・農業体験など）
  8. 防災に関する体験
  9. 参加したことはない
  10. その他
- 
11. わからない

問12 地域の人から何かを教わったり、一緒に取り組んだことはありますか。  
(いくつ選んでもいいです。)  
(学校の授業、課外授業での体験なども含みます。※塾(じゅく)や習いごとはのぞく。)

※ (複数選択)

1. 自然や環境に関すること(自然探索(たんさく)・農業体験など)
  2. 伝統芸能・歴史文化に関すること
  3. スポーツなどに関すること
  4. 学習支援に関すること
  5. 外国語や外国文化など国際交流に関すること
  6. 職業体験に関すること
  7. 交通安全や防犯に関すること
  8. 防災に関すること
  9. AIや科学技術などに関すること
  10. 工作やものづくりに関すること
  11. その他
12. 教わったり取り組んだことはない・わからない

問13 地域の人からこれから教わってみたいことや、地域でやってみたいことはありますか。

0文字

質問は以上です。お忙しいところ御(ご)協力ありがとうございました。  
最後に「送信」ボタンを押して回答を終了してください。

戻る

送信

---

つくば市生涯学習に関するアンケート調査結果報告書

発行：令和7年3月

発行者：つくば市生涯学習推進課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

---